

シエラレオネ共和国
新規事業案件形成のための事前調査報告書



2026 年 4 月

特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース



2026 年 4 月発行

シエラレオネ共和国 新規事業形成のための事前調査報告書

著者

特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース

表紙写真

シエラレオネの女性ダイヤモンド採掘組合によるダイヤモンド選鉱の様子

謝辞

本調査は、外務省 NGO 事業補助金、MIO HARUTAKA による寄付金、及びダイヤモンド・フォー・ピースの法人会員・個人寄付会員の皆様のご支援により実施いたしました。ご協力に感謝を申し上げます。

調査チームは、本調査に関わってくださった皆様に感謝いたします。

特に、時間を割いてインタビューを受けてくださったシエラレオネ共和国鉱物庁本部及びケネマ支部職員の方々、ディーラーや教育機関の方々、現地で類似活動を展開する NGO のの方々、女性採掘組合の組合員の方々にもお礼を申し上げます。

本調査及び報告書に関するお問い合わせ先

info[at]diamondsforpeace.org

Copyright © Diamonds for Peace 2026 All Rights Reserved

目次

背景	5
本調査の目的.....	5
調査対象.....	5
調査概要.....	6
調査フロー	6
調査対象地	7
現地調査日程.....	8
調査結果.....	9
1. 法律・規制.....	9
1.1 シエラレオネ国の手掘りダイヤモンド採掘・取引に関する法律及び規制	9
1.2 採掘免許・取引免許について	10
1.3 新しい法的枠組みにおける組合による採掘	11
1.4 土地所有制度について	12
1.5 考察.....	13
2. 手掘りダイヤモンド採掘関連団体・機関・企業からの情報収集.....	14
2.1 組合化及び組合運営	14
2.2 ダイヤモンドの輸出手続き	15
2.3 ダイヤモンド関連教育.....	16
2.4 ダイヤモンド輸出企業.....	18
2.5 輸出エージェント	21
2.6 NGO.....	23
2.7 考察.....	25
3. 女性採掘組合及び組合員の現状と課題.....	27
3.1 調査対象組合	27
3.2 ダイヤモンド採掘の現状と課題.....	30
3.3 知識と技術.....	33
3.4 組合及び女性採掘者が直面している主要な問題・課題とその解決策	35
3.5 組合に対する満足度、従事活動.....	38
3.6 DFP プロジェクト	40
3.7 写真.....	43

4. 新規事業案.....	45
4.1 事業内容の方針案.....	45
4.2 新規事業案.....	46
付録1	49
組合別グループインタビュー結果	49
付録2	66
組合員対象個別インタビュー結果.....	66
付録3	86
組合対象グループインタビュー質問票.....	86
付録4	91
組合員対象個別インタビュー質問票	91

背景

当会ダイヤモンド・フォー・ピースは2015年にNPO法人設立後、リベリア共和国西部地域で手掘りダイヤモンド採掘村の採掘者や住民を対象に、組合運営能力強化、人権・環境に配慮して行う責任あるダイヤモンド探査・採掘の研修や、ダイヤモンドの価値を理解し販売時の交渉に役立てるためのダイヤモンド原石価値評価基礎研修、養蜂・魚の養殖池・アグロフォレストリー等の収入向上活動、村人の環境意識を高めるための環境教育研修、衛生を向上するための公共トイレ建設・運営管理支援やゴミ拾い活動の支援等を行ってきた。

図：リベリアとシエラレオネの位置関係

リベリアの隣国であるシエラレオネ東部地域でも、ダイヤモンド採掘が盛んであるが、リベリアと同様、極度の貧困、無責任な採掘方法やそれによる環境破壊、搾取、劣悪な衛生状況であると聞いていた。このような状況下、シエラレオネの女性ダイヤモンド採掘者達と共に活動する現地のNGOから当会に技術協力の依頼があった。シエラレオネには女性のダイヤモンド採掘者も存在しており、男性採掘者が直面する課題の他、女性特有の問題（例：レイプ被害、男性主導の活動に参加させてもらえない）もあるとのことであった。



リベリアの採掘活動において典型的に見られる構図は、現地の資金提供者が採掘にかかる費用（道具・機械の提供、労働者の食料の提供等）を負担することである。その見返りとして、資金提供者の低い言い値で採掘者はダイヤモンドを資金提供者に販売する慣習がある。ダイヤモンド販売時に資金提供者は極端に低い価格しか提示しないが、ダイヤモンドの知識が不足しており、かつ資金提供者の支援を受けているという負い目から、価格交渉を行うことが極めて困難であり、交渉を行っても価格は微増する程度である。

シエラレオネでダイヤモンド採掘者が陥っている貧困の罠・悪循環は、リベリアと同様の構図のようである。リベリア西部とシエラレオネ東部は、民族・文化・習慣が類似していることが多い。また、当会がリベリアで実施している活動で最も大きな成果を上げているのは女性採掘者であることから、当会のリベリアの経験をシエラレオネでも大いに生かせると考え、案件形成のため本調査を行う運びとなった。

本調査の目的

シエラレオネの手掘りダイヤモンド採掘に関係する法律や規制及び当会の活動と類する活動を行っている現地の企業・団体の動向を理解する。そして、東部地域（コノ県、ケネマ県）ダイヤモンド採掘村の主に女性採掘者達の現状を理解し、ニーズを抽出する。当会がリベリアで実施した（している）活動のうち、どれが対象者の課題解決にとって好ましく現実的に実施可能かを勘案の上、当会の経験を生かせる分野での新規案件概要案の作成を目的とする。

調査対象

本調査では、シエラレオネにおけるダイヤモンド採掘に関する規制・法律、現地の習慣、課題等を理

解するため、以下を調査対象とした。

調査対象まとめ

分類	調査対象者・機関（英語）	調査対象者・機関（日本語*）
政府機関	- National Mineral Agency - Precious Mineral Trading, National Mineral Agency - Department of Cooperatives, Ministry of Trade and Industry	- 国家鉱物庁 - 国家鉱物庁貴石貴金属取引局 - 貿易産業省協同組合局
現地 NGO	- Network Movement for Justice and Development - RESOLVE - Women on Mining & Extractive	- ネットワークムーブメント・フォー・ジャスティス・アンド・ディベロップメント - リゾルブ - ウイメン・オン・マイニング&エクストラクティブ
現地教育機関	- Diamond Center College	- ダイヤモンド・センター・カレッジ
ダイヤモンド 売買企業	- GemFair - Exporter Agent	- ジェムフェア（デビアスグループ企業） - ダイヤモンド輸出エージェント
受益者候補	- 5 Women Mining Cooperatives	- 女性採掘組合 5 箇所（詳細は後述）

*日本語名は当会による和訳である。

調査概要

本調査は、事前準備、現地調査、結果とりまとめの 3 段階を経て実施した。各段階での実施内容は以下のとおりである。

調査フロー

1. 事前準備（2025 年 11 月）

- ・文献調査：シエラレオネ国のダイヤモンド採掘、免許、売買等に関する法律や、他 NGO が現地で行っている類似案件を調べる。
- ・質問票準備：女性採掘組合訪問時に使用するグループインタビュー質問票及び個別質問票を作成する。
- ・現地調査準備：現地での訪問先にアポイントを取る。

2. 現地調査（2025 年 12 月）

- ・法律や規制：ダイヤモンド採掘、免許、売買、組合組成・運営等に関する規制や法律を確認する。
- ・動向：関連する政府機関、現地で活動する NGO・教育機関、企業が実施している活動や方針を確認する。
- ・受益者分析：女性採掘組合訪問時にグループインタビュー、個別インタビュー、活動の視察を行い、受益者の課題やニーズを分析する。

3. 結果とりまとめ（2025 年 12 月から 2026 年 1 月）

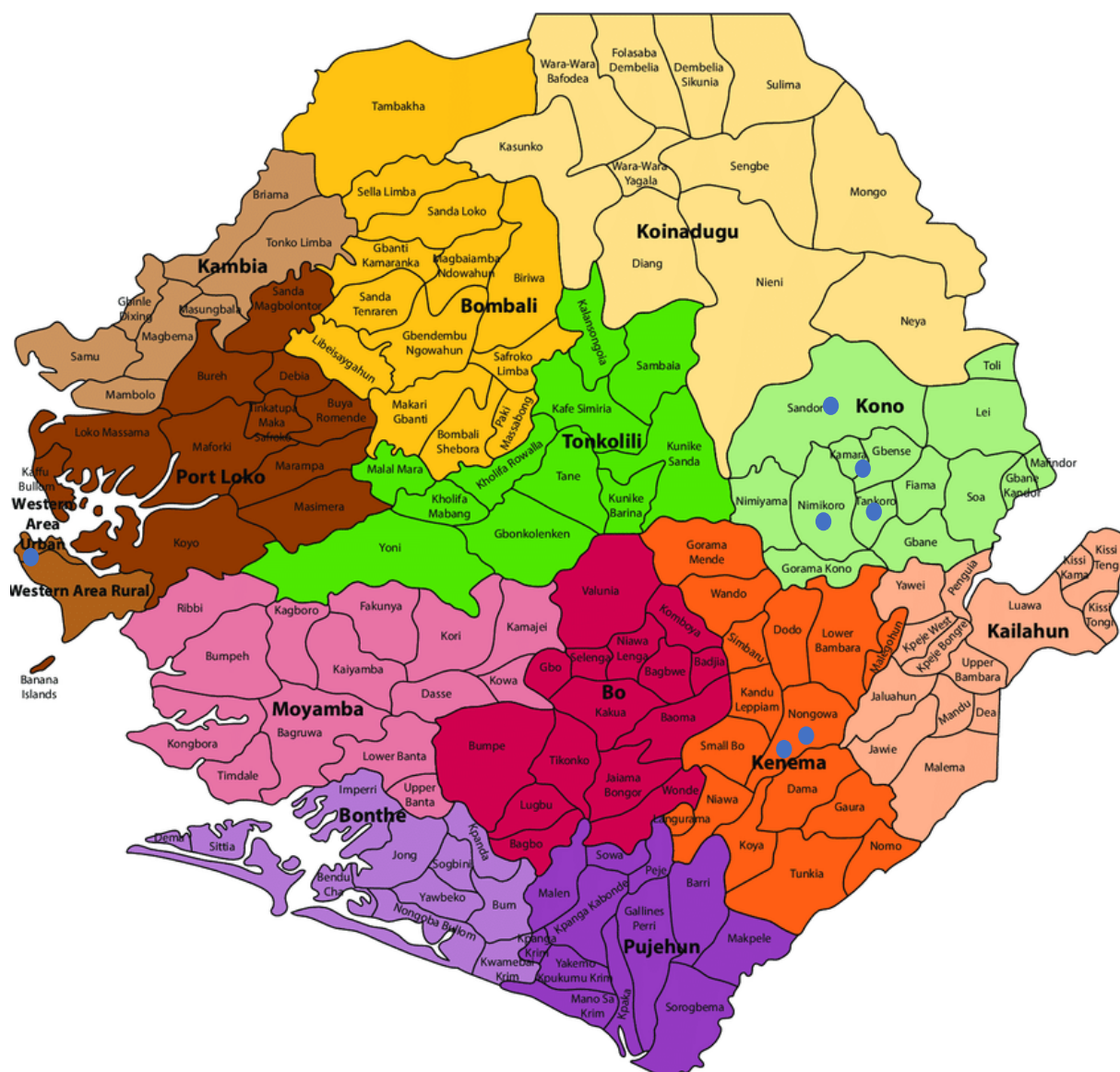
- ・文献調査及び関係機関との議事録を基に重要事項をまとめる。
- ・受益者候補に対して実施したグループインタビュー及び個別インタビューの結果を入力・グラフ化し考察を含めまとめる。
- ・新規案件案を作成する。
- ・上記を報告書にまとめる。

調査対象地

シエラレオネ国のケネマ県、コノ県、首都フリータウンにて現地調査を実施した。

シエラレオネ国の県及びチーフダムを示す以下の地図上に、訪問地を青い円で示す。

シエラレオネ国の県とチーフダム



出典：Political map of Sierra Leone with districts and chiefdoms¹

¹ Political map of Sierra Leone with districts and chiefdoms <https://www.researchgate.net/figure/Political-map-of-Sierra->

現地調査日程

現地調査は以下の日程で実施した。

日付	作業内容
12月1日	・リベリアから陸路でシエラレオネに入国し、ケネマ到着 ・ローカルコンサルタントと合流し、打ち合わせ
12月2日	・National Mineral Agency を訪問し面談 ・ケネマの女性採掘者組合2箇所を訪問しインタビューの実施
12月3日	・ケネマのダイヤモンド輸出エージェントと面談 ・ケネマからコノに移動
12月4日	・GemFair にて面談及び鉱山を視察 ・NGO RESOLVE が実施しているワークショップを視察
12月5日	・コノの女性採掘者組合2箇所を訪問し調査
12月6日	・コノの女性採掘者組合1箇所を訪問し調査
12月7日	・チーム内打ち合わせ ・資料整理
12月8日	・Network Movement for Justices and Development と面談 ・フリータウンに移動
12月9日	・Diamond Center College を訪問し面談
12月10日	・Precious Mineral Trading, National Mineral Agency を訪問し面談 ・Department of Cooperatives, Ministry of Trade and Industry を訪問し面談
12月11日	・Women on Mining & Extractive を訪問し面談。
12月12日	・フリータウンから陸路でリベリアに移動。

調査結果

1. 法律・規制

1.1 シエラレオネ国の手掘りダイヤモンド採掘・取引に関する法律及び規制

シエラレオネの鉱業セクターは、大規模鉱業、小規模鉱業、手掘り採掘、組合による採掘形態で構成される。同セクターは、操業規制、収益創出、環境保護、社会的責任を規定する包括的な法的・制度的枠組みの下で運営されている。

鉱山鉱物資源省（MoMMR: Ministry of Mines and Mineral Resources）は主要な政策立案機関として、鉱業関連法規制・政策の策定を行っている。国家鉱物庁（NMA: National Mineral Agency）は主要な法規制の実施機関として、免許付与、監視、コンプライアンスに関するモニタリングを担当する。

鉱業セクターを管理する主要な法律・政策には以下が含まれる：

制定年	法律・政策名（英語）	法律・政策名（本報告書内で使用する和訳）
2012 年	The National Minerals Agency Act	国家鉱物庁法
2013 年	The Environment Protection (Mines and Minerals) Regulations	環境保護（鉱山・鉱物）規則
2018 年	The Extractive Industries Revenue Act	採掘産業収益法
2018 年	The Artisanal Mining Policy	小規模手掘り採掘政策
2022 年	The Mines and Minerals Development Act	鉱山・鉱物開発法
2023 年	The Mines and Minerals Development Regulations	鉱山・鉱物開発規則
2023 年	The Sierra Leone Mines and Minerals Development and Management Corporation Act	シエラレオネ鉱山・鉱物開発管理公社法

この中で小規模手掘り採掘にとって特に重要である The Artisanal Mining Policy（小規模手掘り採掘政策）の概要を以下に記す。

2018 年 The Artisanal Mining Policy（小規模手掘り採掘政策）の概要

背景	多くの人々が小規模採掘に従事しているが、歴史的に「非公式（インフォーマル）」な活動が多く、密輸、環境破壊、劣悪な労働条件、政府の歳入不足といった課題がある。
目的	非公式な採掘活動を「正規化（Formalization）」し、国の経済発展、地域社会の利益、税収増加につなげる。
採掘活動の正規化と法制度	- 違法な採掘を減らし、すべての採掘者が正式なライセンス（採掘免許）を取得するように促す。 - 採掘免許の取得プロセスを透明化し、簡素化する。
環境保護と土地の修復	- 無秩序な採掘による森林破壊や水質汚染を防ぐ。 - 採掘終了後の土地の埋め戻しや修復（Reclamation）を義務付け、農業など他の用途に再利用できるようにする。

取引の透明性と密輸防止	・採掘された鉱物（特にダイヤモンドと金）のトレーサビリティ（追跡可能性）を確保する。 ・正規のルートでの輸出を促進し、密輸を減らすことで、政府が正当な税収を得られるようにする。 ・国際的な基準（ダイヤモンドに関するキンバリー・プロセスなど）の遵守
労働環境と人権	・危険な労働条件を改善し、安全基準を設ける。 ・児童労働の禁止を徹底する。
地域社会への還元	・鉱山から得られる収益の一部を、採掘が行われている地域社会（チーフダムなど）の開発プロジェクトに還元する仕組みを強化する。
監督機関の強化	・監督官庁である国家鉱物庁（NMA）などの監視・管理能力を強化する。

出典： ARTISANAL MINING POLICY SIERRA LEONE²を基に作成

1.2 採掘免許・取引免許について

通常どの国でも鉱物は政府が管理するものとみなされていることから、鉱物の採掘やその取引にあたっては、免許が必要である。

2022年に制定された **The Mines and Minerals Development Act**（鉱山・鉱物開発法）は、鉱物権の1つのカテゴリーとして手掘り採掘免許を規定している。同法は手掘り採掘を、主に生計目的で、簡易な道具、限定的な機械化、低水準の資本投資を用いて行われる採掘作業と定義している。

同法第84条は次のように規定している「手掘り採掘は、シエラレオネ国民、または国民のみで構成される組合によってのみ行われるものとする。」

手掘り採掘免許の取得方法

ステップ1： 国家鉱物庁(NMA)への 申請書の提出	手掘りダイヤモンド採掘免許の申請は所定の様式に記入し、国家鉱物庁長官に提出しなければならない。申請書には、申請者が手掘り採掘を責任を持って実施する能力を有することを証明する内容を含む。
ステップ2： 必須添付書類の提出	申請書に加え、一連の添付書類の提出を義務付けている。これらの要件は、土地権利が尊重され、環境リスクが評価され、採掘活動が承認前に適切に計画されるためのものである。 ・申請する鉱山の地図 ・申請する手掘り採掘計画 ・土地所有者からの同意証明 ・環境スクリーニング報告書
ステップ3： 事前承認条件の遵守	手掘り採掘免許は、所定の書類が承認されるまで付与されない。第86条(2)項は、環境スクリーニング報告書、土地所有者の同意証明、健康安全計画、地域貢献計画などの承認が得られない限り許可を付与してはならないと明記している。この手順は、手掘り採掘レベルにおいても環境保護、労働者の安全、地域参加を重視する同法の姿勢を反映している。
ステップ4：	申請全書類が提出されると、第87条(2)項は長官に対し、受理後30日

² Republic of Sierra Leone “ARTISANAL MINING POLICY FOR SIERRA LEONE” November 2018

<https://www.nma.gov.sl/wp-content/uploads/2019/05/Artisanal-Mining-Policy-for-Sierra-Leone.pdf>（2025年11月5日閲覧）

国家鉱物庁長官による 審査と決定	以内に申請を許可または却下することを規定している。申請が拒否された場合、理由を提示することを義務付けている。
ステップ 5： 許可の受諾と免許証の 発行	申請が承認された場合、申請者は第 87 条(3)項の規定に基づき、書面による許可通知に対して 30 日以内に正式に応答しなければならない。この期間内に応答がない場合、許可は失効する。受諾後、法律および免許証に記載された条件に従い、手掘り採掘免許証が発行される。
ステップ 6： 操業開始と継続的遵守	免許発行後、免許保有者は 60 日以内に採掘作業を開始しなければならない。作業は、承認された小規模採掘計画、環境スクリーニング報告書、および局長が発行する報告要件に厳密に従って実施されなければならない。継続的な遵守が不可欠であり、義務を履行しない場合、免許保有者は更新資格を失うと規定されている。

出典：The Mines and Minerals Development Act³を基に作成

国家鉱物庁ケネマ局での面談では、以下のことが明らかになった。

- ・採掘免許を申請するのは、基本的に土地所有者である。
- ・土地所有者はチーフダムの首長に土地使用料を支払い、領収証及び許可を首長から得る。これらの書類を申請書に添付する必要がある。
- ・手掘り採掘免許申請料は 2025 年 12 月現在 400 レオン（約 2,676 円）である。
- ・取得した免許は 1 年間有効で、3 回更新することが可能である。
- ・申請者の最寄りの NMA 支部が採掘免許を発行する。
- ・免許には 3 人分の許可証が付属する。土地所有者用、資金提供者用、鉱山管理者用であり、それぞれの人物の写真が許可証に貼り付けられている。
- ・利益の配分について、資金提供者が 70%、土地所有者が 30%が慣習である。鉱山管理者及び採掘者は、資金提供者が得る金額の中から交渉の上、配分を得る。

1.3 新しい法的枠組みにおける組合による採掘

2023 年に制定された The Mines and Minerals Development Regulations（鉱山・鉱物開発規則）は、組合が完全にシエラレオネ国民で構成されていることを条件として、組合を手掘り採掘免許の適格な保有者として明確に認めている。この認識は、第 84 条「手掘り鉱業は、国民、または完全に国民で構成される組合によってのみ行われるものとする」に根拠がある。この規定は、シエラレオネの鉱業の法的な枠組みの中で、女性が主導する組合を含む、グループにより行われる鉱業を正式に合法化し、手掘り採掘経済に参加する権利を確認できるという点で重要である。

しかし、同法は組合型採掘事業体に特化した独立した免許枠組みを確立していない。第 85 条では、組合も個人申請者と同様の申請要件を遵守することが義務付けられている。同法は、組合内の集団所有構造、内部統治体制、労働責任の分担、共同財務管理が許可プロセスにおいてどのように評価されるべきか等についての指針を述べていない。

この手続き上の明確さの欠如は、特に女性採掘組合にとって実務上の課題をもたらす可能性がある。多くの女性採掘組合は、法的な組合資格を有してはいるが、組合運営能力が十分ではないためである。

³ The Mines and Minerals Development Act 2022 https://www.nma.gov.sl/wp-content/uploads/2024/08/The_Mines_and_Minerals_Development_Act_2022.pdf（2025 年 12 月 2 日閲覧）

1.4 土地所有制度について

当会が活動を実施している隣国リベリアでは、市民が都市部の土地を購入し所有することができるが、地方では村が土地を所有しており、市民が所有することはできない。ほとんどのダイヤモンド採掘地は地方にあり、採掘をしたい国民は村の許可を得れば採掘免許を申請することができる。村にもよるが、皆、比較的自由に採掘地を選んでおり、土地使用料を払う必要はほとんどない。

一方、シエラレオネでは「土地所有」がほとんどの面談で話題にのぼり、重要な点であると判明したため、土地所有制度についても調べ、以下の情報を得た。

土地所有の基本的なシステム

首都を含む西部地域と、それ以外の地方で全く異なる法律が適用されてきた。

● 西部地域（フリータウン周辺）

制度: 自由売買制

内容: 土地の「私的所有（売買・譲渡）」が完全に認められている。登記所で土地の権利を登記し、個人が自由に土地を売買することが可能である。

● 地方

制度: 慣習的土地保有制

内容: 土地は地域社会（コミュニティ）や家系（ファミリー）の共有財産とみなされている。

管理: 伝統的なパラマウント・チーフ（最高首長）や家長が「管理・信託」しており、基本的には売買されず、使用权が割り当てられる形である。

2022 年の新法制定

2022 年 8 月、Customary Land Rights Act 2022（慣習的土地権利法）と National Land Commission Act 2022（国家土地委員会法）という 2 つの重要な法律が成立した。これらの法律は以下を定めている。

2022 年に制定された土地に関する新法の重要点

重要点	内容
クリオール（非原住民）に対する差別撤廃	これまで、首都の西部地域出身者（主に解放奴隷の子孫であるクリオールなど）は、地方の土地を所有することを法律で禁じられていた。新法によりこの差別が撤廃され、シエラレオネ国民であれば、民族や出身地に関わらず地方の土地を所有できるようになった。
女性の権利の明文化	伝統的な慣習法の下では、女性が土地を相続・所有することが難しかった。新法では「女性の土地所有・相続・使用の権利」が法的に保証され、差別的な慣習は無効とされた。また、土地管理委員会委員の少なくとも 30% を女性にすることが義務付けられた。
投資開発と住民の同意（FPIC）	企業が鉱山開発や大規模農業を行う際、これまでは首長との交渉だけで話が進んだが、新法では「自由意思による、事前の十分な情報に基づく同意（FPIC）」が地域住民から得られない限り、開発を行ってはならないとされている。

出典：Customary Land Rights Act 2022⁴及び National Land Commission Act 2022⁵を基に作成

⁴ Customary Land Rights Act 2022 <https://faolex.fao.org/docs/pdf/sie212374.pdf>（2026 年 1 月 10 日閲覧）

⁵ National Land Commission Act 2022 <https://www.nma.gov.sl/wp->

これらの法律は全国的に有効ではあるものの、一部のパイロット地区でのみ 2025 年 12 月現在施行されている。理由は、新制度を運用するための組織やシステムを作る必要があることに加え、これまで土地の管理・信託者であったパラマウントチーフ（最高首長）の影響力が新法では低下しており、各地のパラマウントチーフが新法の施行に反対しているためである。

1.5 考察

インフォーマル経済からフォーマル経済に移行するためにも、採掘免許の取得は重要である。手掘りダイヤモンド採掘免許取得に関し、得られた示唆及び考察は以下のとおりである。

a) 採掘者の弱い立場から脱却する必要性

シエラレオネの採掘免許に採掘者氏名は掲載されない。免許に添付される 3 つの許可証は、土地所有者、資金提供者、鉱山管理者の 3 名分である。利益の配分も、土地所有者 30%、資金提供者 70% とするのが現地の慣習であり、採掘者達は資金提供者への配分の一部をもらう。免許の面でも利益においても採掘者は弱い立場に置かれている。

この弱い立場を脱するには、採掘者自身が持つ土地を採掘に使用する、または自らが資金提供者となる手が考えられる。

b) パラマウントチーフ（最高首長）との関係づくりと交渉

土地に関する新法が制定されたとは言え、現時点ではまだ旧法が多く地域で通用しており、女性が土地を所有するのは困難なケースも多い。訪問した女性採掘組合の多くが、土地を所有していないことを問題に挙げており、村長に土地を使わせてくれるよう頼んだが断られたという話も聞いた。また、土地の表面は農業に使ってよいが、採掘はするなと言われたというケースもあった。

一方、土地の管理・信託者であるパラマウントチーフが使ってよいと言えば、その配下にいる村長達は反対できない。女性採掘組合が採掘免許を申請する前に必要な土地使用許可を得るには、パラマウントチーフとのよい関係づくりや粘り強い交渉が必要である。

2. 手掘りダイヤモンド採掘関連団体・機関・企業からの情報収集

ここでは、手掘りダイヤモンド採掘・売買、採掘者の組合化・組合運営に関連する事業を実施している団体・機関・企業から調査チームが収集した情報を記述する。

2.1 組合化及び組合運営

シエラレオネ国における協同組合の認可、モニタリング、監督は、Ministry of Trade and Industry（貿易産業省）の中の Department of Cooperatives（組合局、DoC）が担当している。局長及び職員から、組合の設立方法等について以下の情報を得た。

2.1.1 組合の登録プロセス

- 必要書類: 定款案、直近の会議議事録、会員名簿、設立決議書
- 申請様式: 一般組合用の「Form A」と、連合会組織用の「Form B」がある。
- 登録料と必要期間:
 - 登録料は 250 レオン（約 1,672 円）
 - 最長 5 日で完了・認証される
- 定款:
 - 定款に不備がある場合、DoC が修正を支援する。その場合、コンサルティング料 200 レオン（約 1,338 円）が必要。
 - 不正防止のため、完成した定款の全ページに DoC がスタンプを押印する。

2.1.2 研修と運営指導

- 研修内容: 組合からの依頼に応じ、組合の原則、ガバナンス、財務管理、記録作成、マーケティングなどを指導する。
- 期間・対象者: 最長 3 日間とし、まず役員層、次に一般組合員を対象とする。
- 費用負担: DoC には予算がないため、職員の交通費、食費、宿泊費は組合側が負担する。
- 認証後の手続き: 事務所の確保、看板の設置、銀行口座の開設などを DoC が確認する。

2.1.3 モニタリング・監督体制と現状

- 監査: 「組合検査官」が四半期ごとに、事前通告なしで訪問監査を行うことになっている。主に帳簿や会員名簿の不備をチェックする。
- 現状の傾向: 金融協同組合（信用組合）が最も進展しており、しっかりとした組織構造を持っている。
- その他:
 - 組合役員の任期は 3 年。
 - 世界銀行からの依頼で責任ある採掘を推進するため、手掘り採掘者の組合化を進行中。
 - オンライン登録プロセスの導入を進めている。

2.1.4 主な課題：法改正の必要性

- 法律の陳腐化: 現行の Co-operative Societies Act⁶（1977 年制定）が現状に即していないため、改正作業を進めている。
- 幽霊組合の問題: DoC のデータベースには 2,000 以上の組合が登録されているが、大半は活動していない幽霊組合である。しかし現行法では組合の有効期限の規定がないため、登録を抹消できない。
- 改正の方向性: ケニアや南アフリカなどの国際的なベストプラクティスを参考に、より良い法律を目指している。

2.2 ダイヤモンドの輸出手続き

ダイヤモンドの輸出に関する具体的な手続き National Mineral Agency（国家鉱物庁）の Precious Minerals Trading（貴石貴金属取引局、略称 PMT）の局長から聞き取りを行った。その内容を以下に示す。

2.2.1 ダイヤモンドの輸出プロセスと規制

PMT はシエラレオネで採掘された全ダイヤモンドの指定政府輸出窓口である。

- 輸出企業（Exporter）と代理人:
 - 輸出企業は登録と免許取得が必要である。
 - 代理人が輸出を行う場合は、免許を持つ輸出企業が発行した書類が必要である。
 - 輸出企業は手掘り採掘者から直接ダイヤモンドを購入できる。
- ダイヤモンドの価値評価と管理システム:
 - すべての出荷には、領収書や銀行明細などの取引証明が必要である。
 - 価値評価は PMT、輸出企業、独立評価者の 3 者が独立して行う。評価額の差は 5%以内でなければならない。
 - 輸出には鉱山鉱物省大臣、税関局長、PMT 局長の 3 名の署名が必要である。
 - 国外への持ち出し時、ルンギ国際空港で全書類と関税支払証明が再確認される。
- 最低輸出額の変更:
 - 世界的なダイヤモンド価格の下落を受け、最低輸出額の基準が従来の 30,000 米ドルから 15,000 米ドルへ一時的に引き下げられた。この変更は文書化されていないものの、既に施行されている。
- 輸送について
 - 有効な免許を持つ輸出企業の許可（書類）があれば、第三者がダイヤモンドを輸送（ハンドキャリー）して輸出することが可能である。
 - 現在、手掘り採掘によるダイヤモンドはすべて人が運んで輸送している。
 - 大手採掘企業の Koidu Diamond Holdings は、セキュリティ会社 G4S と特別なアレンジを行い、G4S を利用して空輸している。以前シエラレオネで営業していた BRINKS は撤退した。

⁶ CO-OPERATIVE SOCIETIES ACT <https://www.sierra-leone.org/Laws/Cap253.pdf>（2025 年 12 月 16 日閲覧）

2.3 ダイヤモンド関連教育

ダイヤモンド原石評価の教育機関であるダイヤモンド・センター・カレッジ（DCC）を訪問し、以下の情報を収集した。

2.3.1 組織の概要と実績

- 西アフリカ初の認定機関:
DCC は西アフリカで初めて認定されたダイヤモンド関連の機関であり、政府から認知されている。
- 活動実績:
設立から 3 年間で約 57 名（大半は外国人、残りがシエラレオネ人）に対し、ダイヤモンド原石のグレーディング（評価）コースを開講した。
- 地域との関わり:
当初はコミュニティサービスという会社として、手掘り採掘者に無料の原石評価を提供していた。現在はシエラレオネ全土で約 400 人の手掘り採掘者と連携している。

2.3.2 目的とビジョン

- 知識ギャップの解消:
西アフリカでは 70 年以上採掘が行われているが、原石評価を教える機関がなかった。DCC はこの知識不足を補うために設立した。
- ハブ化構想:
今後 5 年間で、シエラレオネとリベリアを含む西アフリカで、世界中で活躍できるダイヤモンド原石評価者のハブになることを目指している。

2.3.3 教育プログラムと課題

- 卒業生:
2025 年 12 月 1 日の週に、21 名の学生（女性 20 名、男性 1 名）が原石グレーディングコースを卒業した。
- 資金的な課題:
受講を希望する女性が 50 名ほどいるが、学費（後述）を払えず参加できない。そのため、支援してくれるパートナーや NGO を探している。
- 対象者: 現在は識字能力のある人を対象としているが、将来的には読み書きができない人々への教育プログラム提供も計画している。

2.3.4 拡大計画と技術的な課題

- リベリアへの拡大:
リベリア鉱山局長の招待を受け、現地へのプログラム拡大について協議中である。
- トレーサビリティ:
ダイヤモンドの原産地をエンドユーザーに開示するためのトレーサビリティに取り組んでいるが、必要な機材が不足しており、まだ十分な体制が整っていない。

2.3.5 学費

入手したパンフレットに記載されている主な3コースの概要は以下のとおりである。

コース	受講期間	学費 (シエラレオネ人)	学費 (外国人)
ダイヤモンド原石グレーディング評価	10 日間	13,000SLL (約 86,970 円)	USD1,300 (約 20 万円)
マーキング (カット・研磨に必要な知識)	2 週間	10,000SLL (約 66,900 円)	USD1,000 (約 15 万円)
カット・研磨*	6 ヶ月間	45,000SLL (約 30 万円)	不明

*カット・研磨コースのパンフレットはあるものの、カット・研磨に使用する機材がないため、実際には開講されていない。

2.3.6 ダイヤモンド原石グレーディング評価コース概要

DCC が現在注力しているコースは、ダイヤモンド原石グレーディング評価である。同コースの教育内容は以下のとおりである。

- **目的:** ダイヤモンド原石の 4C (カラー、クラリティ、カラット、形状) を識別し、原石の価値を正確に評価・査定できるようになること。
- **特徴:** 天然のダイヤモンド原石を使用した実践的な訓練。
- **主なカリキュラム内容**
 - **基礎技術:** ルーペの正しい使用方法。
 - **識別と分類:**
 - ・実際のダイヤモンド、木製・プラスチック模型を使用した結晶構造の理解。
 - ・模造品 (偽物) の識別。
 - ・宝石用ダイヤモンドと産業用ダイヤモンドの分類。
 - **評価技術:**
 - ・内部構造や欠陥 (インクルージョン、マーク等) の特定。
 - ・天然および人工的な色の判定と、それが売買価格に与える影響の理解。
 - ・透明度、色、サイズ、形状に基づく選別 (ソーティング) 。
 - **加工計画:**
 - ・原石をそのまま維持するか、分割 (へき開)、切断 (ソーイング) すべきかの判断。
 - ・ファンシーシェイプへの選別と仕上がり形状の決定。
 - ・歩留まりの予測 (Moe ゲージの使用) 。
 - **専門機器の使用:**
 - ・ポラリスコープ (偏光器) を使用した内部歪みの分析。
 - ・OGI プランニングスキャナーとコンピュータの使用。
 - **価格算定:** ラパポート (Rapaport) 価格表や DRC ADTEC ガイドラインを使用した原石の価格評価。

2.4 ダイヤモンド輸出企業

世界最大手のダイヤモンド採掘企業デビアス社のグループ企業である GemFair が、コノ県で手掘りダイヤモンド採掘者からダイヤモンドを買い入れ輸出する事業を展開している。GemFair の事務所で説明を受けた後、契約鉱山を訪問・視察し、その後ダイヤモンドの査定やトレーサビリティ等に関する説明を受けた。その概要は以下のとおりである。

2.4.1 事業開始時期、目的、理念

- **活動開始:**

2018 年からシエラレオネで活動しており、主にコノ県の複数のチーフダム（Tankoro, Gbense, Kamara, Nimi Yama, Nimi Koro, Ngorama）を拠点とする。

- **シエラレオネを対象国として選定した理由:**

- DDI（Diamond Development Initiative、後に NGO リゾルブに吸収された）が策定した基準（Mandaleo Standard：マンダレオ・スタンダード）が存在していたため。
- 政府の免許制度が明確であったため。
- 産出されるダイヤモンドが高品質であるため。

- **事業目的:**

ビジネスおよび環境基準の設定、トレーサビリティの確保、採掘者へのより良い価格提供、採掘後の土地回復、そしてダイヤモンド産業のイメージ改善を目指す。

- **理念:**

利益主導ではなく「正しいことを行う」という原則に基づいている。人工ダイヤモンド（ラボグロウンダイヤモンド）に対抗するためにも、天然ダイヤモンド産業の改善と保護が必要である。

2.4.2 会員制度と採掘者との契約

- **会員資格:**

有効な採掘免許を保有していることが第一の資格である。契約希望者は、GemFair のバックグラウンドチェックを受け、審査に通った後、手掘り採掘の基本的な研修を受ける。これで登録完了となる。登録金・入会金等は不要。

- **買取システム:**

GemFair は「買い手の候補（willing buyer）」という立場であり、採掘者はより高い価格を提示する他社に売ることも可能。GemFair が提示した査定額は 3 日間有効。

- **資金援助（FPA）プログラム:**

- Forward Purchase Program（FPA）と呼ばれる低金利融資制度がある。
- GemFair が操業資金を融資し、もしダイヤモンドが見つからなかった場合、GemFair に返済しなくてよい。
- 対象者は GemFair の予算や前年のダイヤモンド採掘実績等に基づいて選定される。
- 採掘者にとってはありがたい制度だが、GemFair 側からすると融資額を十分回収したとは言えない様子であった。

- **契約対象:**

契約は個々の免許保有者と結ぶため、GemFair は組合などのグループ組織には関心を持っていない。

- **契約済採掘者が遵守する基準:**

基準はコア・スタンダード（必須基準）とジェネラル・スタンダード（一般基準）の2種類ある。コア・スタンダードは絶対的に守るべき事項（免許を有する、児童労働をさせない等）で、ジェネラル・スタンダードは時間をかけて守るようになればよい事項（鉱山の埋め戻し等）とのことである。採掘者が基準を守る程度とダイヤモンドの価格に相関関係はない。一方、ジェネラル・スタンダードでより多くの基準を満たすと、FPA 参加を承認され融資を受けられる可能性が高まるとのことであった。

2.4.3 契約鉱山の視察

- **場所:** コノ県 Wundidu
- **位置づけ:** GemFair が契約する中で最良の鉱山のひとつと推測する。



視察した鉱山

- **環境への配慮:**
 - トレンチ（溝）は見当たらなかった。
 - 埋め戻しを容易にするため、ピットの周囲に土が積み上げられていたが、表土（topsoil）が分別されている様子は確認できなかった。
- **女性の参加:**

女性の現場マネージャーが積極的に現場運営管理を行っており、採掘活動における女性の参加が示された。訪問時には砂利の洗浄やダイヤモンド選鉱の各段階の実演が行われた。
- **安全への配慮:**

鉱山の中で坂になっている箇所には簡易的な柵が取り付けられ、人の落下を予防している。また、その柵には同鉱山が安全に配慮して操業していることを示すポスターが掲示されていた。
- **注目すべき機材・道具:**

効率的な選鉱に適していると思われる2つの機材・道具を確認した。

リベリアでは四角のふるいが使用されているが、同鉱山では円形のふるいが使用されていた。理由を尋ねたところ、盗難対策に効果があり（四角だと死角ができるため盗難の可能性が高まる）、ふるいを振るとダイヤモンドが真ん中に集まるため見つけやすいとのことであった。特に円形のふるいは簡単に製作可能である。また、選鉱前に砂利を洗浄するロッカーと呼ばれる機材があり、固い土・砂利をここで洗浄後、その土・砂利をふるいにかけていた。

使用されていた機材・道具



ロッカー（砂利洗浄機）



円形のふるいを使用する様子

2.4.4 査定と購入プロセス

- **記録と追跡:**

ダイヤモンドを見つけた後、契約採掘者は配布されているツールキットに含まれるタブレットに入っているトレーサビリティ・ソフトウェアを使用して全ダイヤモンドを記録し、開封防止袋にダイヤモンドを入れて写真を撮影する。これらの情報はインターネットを介して GemFair に送信される。ソフトウェアは現地語で書かれており、音声読み上げも可能で、使い勝手がよさそうであった。トレーサビリティ技術は Tracr（トレイサー）を使用している。

- **査定基準:**

GemFair が 4C（色、透明度、カラット、形状）およびデビアス社のダイヤモンド原石価格表に基づいて査定する。

- **販売の自由:**

採掘者は GemFair に売るか、他社に売るかを選択可能。GemFair の提示価格は 3 日間有効。

- **支払い:**

記録されたダイヤモンドが GemFair オフィスに持ち込まれ、価格に合意した場合、その場で米ドルまたはレオンのうち、希望する通貨で支払う。その後、GemFair 側が輸出用の開封防止袋にダイヤモンドを入れる。

2.4.5 価格設定方針

- **デビアス原石価格表の利用:**

市場価格を反映し頻繁に更新されるデビアスの価格表を使用しているが、この価格表は外部には非公開であり、価格設定の計算方法も開示しない。

- **採掘者の学習:**

明確な開示はないものの、何度も取引を行ううちに、採掘者自身がダイヤモンドの種類毎の概算価値を学んでいく。

- **逆算方式への否定:**

研磨済みダイヤモンドの価格から原石価格を割り出す「リバース・エンジニアリング手法」には否定的な見解を示していた。

- **公平性:**

小さなダイヤモンドの最初の数回の取引で高い値をつけ信用させ、その後の大きなダイヤモンドに低い価格をつけて利益を搾取するような他社バイヤーの手法とは異なり、GemFair は常に適正価格を提供していると述べた。

2.4.6 研修・鉱山の埋め戻し

- **研修:**

2 日間 10 人未満の少人数グループを対象とした、基本的なダイヤモンド評価技術の研修を開催したことがある。

調査チーム訪問時には、別会場でマネーロンダリングに関する研修を実施していた。この研修は NGO RESOLVE に委託し開催されていた。

- **鉱山の埋め戻し:**

以前から存在する放棄鉱山の埋め戻しを村が希望した場合、GemFair の費用負担で埋め戻し、その後の農業（合計 1 年間）まで費用負担するとのことである。埋め戻しは男性を雇用、その後の農業では女性を雇用する。農業ではお米をまず植え、その後野菜を植え、収穫するところまで面倒を見るそうである。

2.5 輸出エージェント

ケネマ県ではダイヤモンドの輸出エージェント免許を持つ人物と面談をすることができた。そこで収集した情報の概要は以下のとおりである。

2.5.1 輸出エージェントとは:

輸出関連免許には、輸出免許（Exporter License）と輸出エージェント免許（Exporter Agent License）がある。輸出エージェント免許保有者は、ダイヤモンドを採掘者から仕入れた後、輸出免許保有企業にそれらのダイヤモンドを販売し、輸出免許保有企業が正式に輸出を行う。面談した輸出エージェントはいつも同じ輸出企業と取引を行っているとのことである。

採掘者がダイヤモンドを事務所に持参し、ダイヤモンドを購入する際、輸出エージェントは必ず領収書を発行する。領収書には採掘者、購入企業の免許番号を記入する欄があり、フォーマル（正規）セクターでの取引であることを確認する。これは 3 枚綴りになっており、1 部は採掘者（売却者）、1 部は輸出エージェント、もう 1 部は国家鉱物庁むけである。国家鉱物庁は定期的にこの領収書を回収し、輸出されるダイヤモンドの情報と突き合わせる。

輸出エージェントが使用する領収書様式

National Minerals Agency
NMA

NATIONAL MINERALS AGENCY
MINES AND MINERAL ACT, 2009
Artisanal/Small-Scale Mining
Licences
Precious Minerals Dealer's

Diamond Receipt Book

NMA/PMB No. 0003999

Date:

Dealer's Licence No.

Dealer's Name

Seller's Licence No.

Seller's Name

WEIGHT (CARAT)	VALUE (Le/\$)

GRAND TOTAL Le/\$

SIGNATURE OF DEALER

写真：Diamond Receipt Book（調査チーム撮影）

2.5.2 採掘現場への資金提供:

面談した輸出エージェントは、5つの鉱山に資金提供をしているとのことであった。負担している具体的な内容は以下のとおり。

- 食料: 米、油、調味料。
- 道具: シャベル、選別用のふるい、つるはし等。
- 医療費: 作業員が病気や怪我をした場合の治療費。

2.5.3 ダイヤモンド採掘後の利益配分:

- 発見と持ち込み:
 - ・採掘者がダイヤモンドを見つけたら、資金提供者である輸出エージェント事務所に持参する。
 - ・輸出エージェントはその場で計量し、評価額を提示する。
- 経費の精算:
 - ・提示したダイヤモンドの価格から、これまでにかかった経費（食料、道具、医療費など）を差し引く。
- 利益の分配:
 - ・経費を引いた残りの利益を関係者（採掘者達）が分配する。
 - ・もし十分に利益のあがるダイヤモンドが見つからなかった場合、前払いした経費は資金提供者の損失になる。

2.5.4 課題と現状:

- **信頼関係:** 採掘者がダイヤモンドをこっそり他へ売ってしまうリスクがあるため、現場に信頼できる監視役（マネージャー）を置くか、強い信頼関係が必要である。
- **市場の変化:** 以前に比べてダイヤモンドの産出量が減っており、ビジネスが厳しくなっている。ケネマには以前他にも輸出企業や輸出エージェントがいたが、廃業した企業が多い。面談した輸出エージェントも機会があれば他の仕事をしたいとのことであった。

2.6 NGO

シエラレオネでは多くの NGO が活動している。その中でダイヤモンド採掘地域として特に有名なコノ県で活動している団体や、鉱物採掘者を対象として活動している NGO の数は限られている。中でも目立つ活動をしている団体の活動内容を調査し、以下に記述する。

2.6.1 Network Movement for Justice and Development (NMJD)

NMJD はフリータウンに本部を置き、シエラレオネに 5 支部がある。1) 採掘者、採掘地域対象の活動と 2) 監視・提言活動を活動の両輪とし、コノ県では住民が資源の恩恵を受けられる公正な社会を目指して活動している団体である。

● 採掘者、採掘地域対象の主な活動

- 採掘者への教育: 知識向上のための教育プログラム。
- 融資へのアクセス: 採掘者が資金を得られるような仕組みづくり。
- 採掘機材の提供: 手掘り採掘に必要な機材の支援。
- ダイヤモンド価値評価基礎研修 適正な価格で取引できるよう、価値評価の基礎技術を指導（実施済）。
- 採掘跡地の環境修復: 採掘が終わった土地を元の状態に戻すための埋め戻し活動。

● 監視・提言活動（アドボカシー）

市民社会団体として、採掘企業や政府に対する監視と問題提起を行っている。

➤ 企業の社会的責任（CSR）の監視:

大規模採掘企業が情報を開示しないため、納税義務や環境基準、人権配慮が守られているか市民社会が監視できないと指摘している。

➤ 環境破壊への警鐘:

企業の環境アセスメント軽視や、それによる地域住民の健康被害、不十分な再定住計画について批判的に分析している。

➤ 制度の運用改善:

シエラレオネ政府が 2001 年に設立した、ダイヤモンド採掘地域への資金還元及びそれによる発展を促進する基金である Diamond Area Community Development Fund（ダイヤモンド地域社会開発基金、DACDF）などの既存制度が、監視メカニズムの欠如により本来の目的を果たしていないと指摘している。

● 活動の焦点：コノ県の貧困問題

NMJD は、ダイヤモンド産地であるコノ県の「豊かさの中の貧困」を強く問題視している。

➤ **現状認識:**

コノ県は巨大ダイヤモンドが発見されるなど富を生み出してきたはずの地域だが、住民は最貧困層であり、医療、学校、道路、水などのインフラが欠如している。

➤ **社会問題への対応:**

採掘地への労働力流入による HIV/AIDS の増加や、子どもが学校に行かず採掘に従事する児童労働問題などに取り組んでいる。

2.6.2 RESOLVE

RESOLVE はワシントン D.C.に本部を置く国際 NGO であり、世界 25 カ国で事業を展開している。元々コノ県に Diamond Development Initiative (DDI) という NGO があり、現在 GemFair が使用しているマンデレオ基準を策定し、責任ある採掘を推進していたが、2020 年に NGO RESOLVE が吸収した。

- **ピース・ダイヤモンド復元イニシアチブ (Peace Diamonds Restoration Initiative)**

- 採掘跡地の埋め戻し: 手掘り採掘後に放置された人工池を埋め戻す。これにより、子どもの転落事故や、マラリア蚊の増加を防ぐ。
- 農地への再生: 埋め戻した土地を耕作可能な状態に戻し、村人に返還する。
- 代替生計の支援: 再生した土地で、米、野菜、カカオ、パーム油などを栽培できるよう支援し、ダイヤモンドに依存しない収入源を作る。

- **正規化支援**

違法な採掘を減らし、採掘者が正規のルートで適正な価格でダイヤモンドを販売できるよう支援している。主に GemFair と連携して活動している。

- **紛争解決と政策対話**

RESOLVE はもともと「環境紛争解決」を専門とする団体であるため、採掘企業、政府、地域住民の間に入り、対立を解消して協力関係を築く調整役も担う。

2.6.3 Women on Mining and Extractives (WoME)

2013 年にシエラレオネで設立され、シエラレオネ全土で鉱物を採掘する女性グループと連携して活動している現地 NGO。本部をフリータウンに置く。シエラレオネの採掘地域では、女性は多くの場合、労働の中心にはいながらも意思決定権や収益配分、資源へのアクセスにおいて不利な立場に置かれている。そのため、WoME は女性の社会的地位向上、経済的自立、政策参加の実現に向けた包括的な支援を行っている。

- **政策提言とアドボカシー**

- 鉱業政策や法制度に女性の視点を反映させるための政策提言活動を行っている。
- 鉱業関連法の改正や男女平等を進める議論の場で意見を発信し、政府機関・地方議会・企業・伝統的リーダーとの対話も進めている。
- ラジオやテレビを使い、女性の権利や鉱業における不平等問題を広く社会に伝える取り組みを行っている。

- **教育・研修**

- 鉱業に従事する女性向けのリーダーシップ研修、金融リテラシー研修、法的権利に関する研修を実施。
- 地域社会内で意思決定に関わる力を育てるためのスキル開発も行う。

- **自立支援**

- 女性が採掘だけに依存せずに収入を得られるように、小規模ビジネスや代替生計手段の支援を行う。例) 動物飼育プロジェクト、農業機械の提供、マイクロファイナンスの推進。

- **調査研究とドキュメンタリー**

- 鉱業現場での女性の実態や不平等の実例を明らかにするため、調査研究や映像制作にも取り組む。例) 透明性と説明責任をテーマにした調査報告や、女性の声を伝えるドキュメンタリーを制作した。

- **環境・気候変動への対応**

- 気候変動や環境問題が鉱業地域の女性に与える影響についての学習会や会議を開催し、対応策を模索している。

- **心理社会的支援**

- 性的暴力やトラウマを受けた女性への心理的なケアや相談支援を提供し、差別撤廃や司法支援の促進も行う。

2.7 考察

本章に記載した情報からの示唆・考察を以下に示す。

a) 組合化・モニタリング

貿易産業省協同組合局のキャパシティが限られており、四半期に一度組合をモニタリングすることだったが、実際には旅費等の制限でほとんどモニタリングができていない様子であった。また、経済的な制限により資金が手当されない限り研修を開催できない。一方、潤沢な資金を持つ初期段階の組合はほとんどない。それらの理由から、組合とは何かという基本コンセプトを知らずに組合化された組合も多く存在していると推察する。

b) GemFair とのデマケーション

GemFair が連携する採掘者は既に採掘免許を持っている者のみを対象としている。また、個人と契約するので組合との協働には興味がない。一方、当会が対象とするのは多くの場合、採掘免許をまだ持っていない層（持てない貧困層）、かつ個人ではなく組合などのグループである。推進している活動は似ているが対象が異なるため、当会がシエラレオネ（特にコノ県）で事業を実施する場合、活動がオーバーラップすることはなさそうである。

c) ダイヤモンド採掘量の減少

輸出エージェントとの面談の中で、ケネマ県のダイヤモンド産出量が減少しているという話があった（シエラレオネ政府は県毎の産出量を公開していないため、確認はできない）。村人は土の中にダ

イヤモンドがあると思う限り採掘を続けるが、鉍物は採掘すれば将来的になくなるので、彼らがダイヤモンドを掘り尽くした後も持続的に生計を維持していける方法が必要である。

d) ダイヤモンド・センター・カレッジの教育プログラムの精査

同センターではコース概要は教えてもらえたが、より詳細の内容は教えて頂けなかった。もし当会が将来的に同センターと協働することを検討する場合、まず教育プログラムの内容を精査する必要がある。

3. 女性採掘組合及び組合員の現状と課題

調査チームはダイヤモンド採掘が盛んなケネマ県及びコノ県に所在する女性採掘組合の中から5組合を選出し、訪問、グループインタビュー、個別インタビュー、時間が許した場合は活動の視察も行った。インタビュー結果の詳細は付録を参照されたい。本章ではインタビューや視察で得られた重要事項や示唆・考察を述べる。

3.1 調査対象組合

3.1.1 調査対象組合の基礎情報

調査対象のロングリストにあった15組合から、2025年11月時点で活動を継続している5組合を選出した。本調査の対象とした組合の基礎情報は以下のとおりである。女性採掘組合のため、組合員は全員女性である。

No.	組合名	和文短縮名	所在県	設立年	組合員数*	事業分野
1	Muamuma Female Miners Cooperative Society	ムアムマ	ケネマ	2022年	30名	鉱業、農業
2	Tegloma Female Miners Cooperative Society	テグロマ	ケネマ	2021年	20名	鉱業、農業
3	Kwedondonyah Association in Artisanal Mining Cooperative Society	クウェドンド ンヤ	コノ	2021年	25名	鉱業、農業
4	Tankoro Female Miners Cooperative Society	タンコロ	コノ	2012年	42名	鉱業、農業
5	Cho-Chendeh (Fine Dream) Women's Association in Artisanal Mining	チョチェンデ	コノ	2021年	25名	鉱業、農業

*組合員数は2025年12月時点の人数である。

3.1.2 個別インタビュー対象者

基本的に各組合から10名ずつとしたが、テグロマのインタビューには常に共に活動しているテウォというグループの女性メンバーも混ざっており、彼らもインタビューを受けたいと主張したため、テグロマに割り当てていた10名のうち3名をテウォのメンバーに割り当てた。各組合の10名には、役職付きと役職のない組合員及び年齢が低い組合員と年配の組合員の両方を含めることとした。結果、個別インタビューを受けた42%が役職付き、58%が役職のない組合員であり、年齢は18歳から70歳までの範囲となった。

3.1.3 個別インタビュー対象者の基礎情報

宗教は、50名のうち42%がキリスト教徒、58%がイスラム教徒であった。各組合にキリスト教徒とイスラム教徒が混ざって活動している。配偶者については、20%が独身、44%が既婚、18%が死別、18%が離婚したとのことであった。受けた教育については、56%が教育を一切受けたことがなく、26%が義務教育中退、4%が中学校卒業、8%が高校中退と、1991年から2002年まで続いた内戦の影響もあり、読み書きできる組合員が少ない。

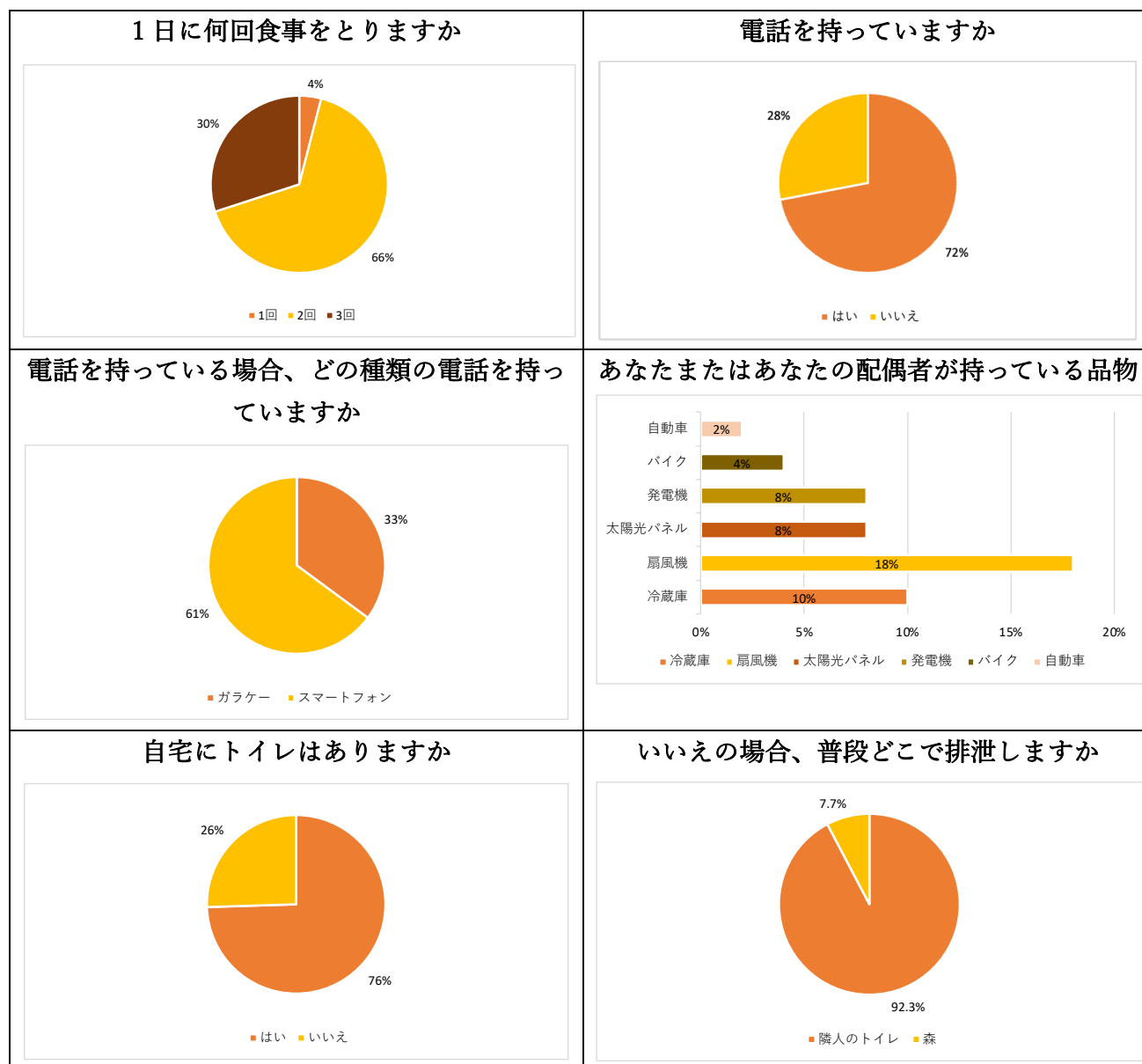
子どもの数は最もよくある人数（中央値）が4人であり、0人から9人の範囲であった。学齢期（18歳以下）の子どもがいる回答者は79%であり、多くの組合員が資金需要の高い時期にいることがわかる。

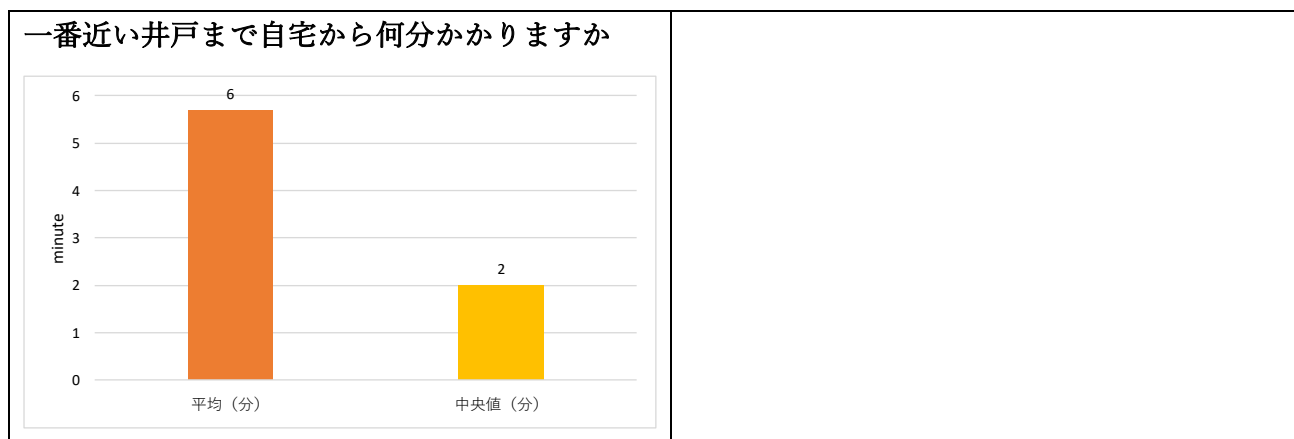
3.14 生活の実態

個別インタビューで回答した組合員の生活状況を尋ね、主要質問と回答を下の表にまとめた。

食事の回数は1日2回が最も多く、電話を持つ者も多い。調査チームが見たところ、安価なアンドロイドのスマートフォンを持つ者が多いようであった。所有物については扇風機を持っている回答者が18%と多かったが、それ以外の品物は所有率10%以下であった。また、隣国のリベリアとは異なり地方の村まで電気が通っていることが多いので、発電機やソーラーパネルがなくても電気を使用できる様子であった。

組合員の生活の実態（n=50）





3.1.5 収入

回答者の 2025 年の収入について質問し、以下の回答を得た。金額の範囲は 300 レオンから 5 万レオンと幅広いが、最もよくある金額（中央値）は 500 レオン（約 2,280 円）と少なく、少数の収入が高い回答者が平均額を引き上げている。収入が比較的多い回答者は、飲み物や雑貨等を販売し収入を得ていた。

回答者の 2025 年の収入額

分類	レオン	米ドル換算額*	日本円換算額**
平均額	8,907	387.27	59,587
中央値額	500	21.74	3,345
最少額	300	13.04	2,007
最大額	50,000	2,174	334,500

*1 レオン=0.04348 米ドル

** 1 レオン=6.69 円 で算出

出典：個別インタビュー結果より

2024 年シエラレオネ国の一人あたり国民総所得（GNI）は、世界銀行の Atlas 法で 820 米ドル⁷であった。これは世界ワースト 10 位にあたる。さらに、インタビュー回答者の平均所得額はその 47%、中央値額はその 2.6%にすぎない。回答者の所得がシエラレオネの基準から見ても、相当に低いことが示された。

3.1.6 組合の事業分野

全組合が鉱業と農業を行っているとは回答した。鉱業の中でも全組合がダイヤモンド採掘をしていると回答し、3 組合が金採掘も行っていると回答した。また、1 組合はコルタン等その他の鉱物も見つかるかと答えた。

3.1.7 組合を組織した理由、組合法的地位取得手続き

組合を組織した理由としては、「個人では成功が難しいので他者と協力する必要がある」「資金提供者に長年騙されてきたのでそれを止めたい」という他地域でも見られる理由の他、女性ならではの

⁷ 世界銀行 GNI per capita, Atlas method (current US\$) – Sierra Leone

https://data.worldbank.org/indicator/NY.GNP.PCAP.CD?utm_source=chatgpt.com&locations=SL（2025 年 12 月 23 日閲覧）

問題（権利の侵害）や子どもたちの問題（虐待・レイプ）を解決するためという理由が挙げられた。組合の法的地位取得に関する手続きを知っていたのは1組合のみであった。これは、2021年から2022年に組織された4組合は、当時の鉱山鉱物省大臣であったカバ氏が女性採掘者達が自らを組合化したいと言ったことに感銘を受け、組合化の全費用を負担し手続きを行ったことによる。つまり、組合自体が手続きをしなかったため、どのような手続きが必要かを知らなかった。この事実は、組合化の初期に必要な学習事項、例えば組合とは何か、普段どのような記録をつけなければならないか、法的地位を維持するために何が必要か等の知識をほとんど持っていないことを示唆する。事実、組合化後、政府からモニタリング等に来たことはないほとんどの組合が述べていたことから、組合監督担当局との連携が全くないことが示唆される。

3.1.8 組合の目標や夢

組合の目標や夢を質問したところ、「貧困から脱し子どもたちを養育・教育する」「そのために大きなビジネスを行う」「自分達が成長し他の女性達を支援する」という声が多く聞かれた。自分自身のことより、子どもたちの養育・教育を優先している発言が多かった。

3.2 ダイヤモンド採掘の現状と課題

全組合が「組合として採掘する」と答えた。採掘の方法は、男性作業員を雇用し掘削を行い、掘削された土砂を組合員が選鉱（ふるいにいれ、水の中で回しダイヤモンドを探す作業）を行うのが主流である。選鉱を組合員自身が行うのは、ダイヤモンドの窃盗を防ぐためである。

女性組合員達の身体的限界から男性作業員を雇用するとのことだが、これに関する問題も挙げられた。雇用にあたっては賃金その他、食事を提供することが現地の慣習であるが、作業員がお金だけ受け取って作業をしない等の問題が聞かれた。現在は作業後に賃金を支払うことでこの問題を予防しているとのことである。

3.2.1 採掘免許

採掘免許については、全組合が「有効な採掘免許を持っていない」と回答し、違法採掘をしている事実が浮かび上がった。有効な採掘免許を持っていない理由は、資金の欠如、首長・村長による土地使用の拒否が二大理由に挙げられた。

3.2.2 採掘及び採掘免許に関する主要課題

採掘及び免許取得に関する1つの大きな課題は土地である。シエラレオネでは基本的に土地所有者・土地使用者を持つ者が採掘免許を申請する。地方では土地を地域社会が所有しており、パラマウントチーフ（最高首長）が土地の管理人という位置づけである。首長の下で働く村長は首長の命を受けて活動している。また、特定の土地の使用が認められている家系では家長が土地の管理人であり、その土地使用者は代々受け継がれている。採掘免許申請時に首長がその土地の使用を許可したことを示す資料を添付する必要があるが、（首長ではなく）村長にそれを拒否されたという声も聞かれた。首長やその下の村長は多くの場合男性であり、女性にダイヤモンド採掘をさせたくないため、女性達に土地を利用させない傾向があるようである。中には、村長から「土地の表面は農業に使用してよいが、採掘はするな」と言われたという組合もあった。

一方、村長に拒否されても、首長が許可すれば村長は首長に従う他ないため、組合は首長と交渉す

ることも検討すべきである。村長に拒否された組合は首長と交渉していないとのことだったため、調査チームが首長の妻に連絡し、彼女を通して交渉する段取りをつけた。

2022 年に制定された土地の新法では、女性も土地を所有でき、首長の土地管理に関する影響力が低くなっている。新法は全国で有効であるものの、2025 年 12 月時点ではパイロット地区のみで施行されており、他の地域では施行されていない状況だった。つまり、慣習的に現在でも首長が土地の管理人であるため、組合は首長とよい関係を築き許可を得られるよう交渉を重ねる必要がある。また、組合のみの交渉で土地使用許可が得られない場合、外部の団体が交渉に同席して首長や首長の妻に働きかけることも有効な手法であると考える。

資金提供については、全組合が資金提供者からの支援を受けていないと回答した。男性ダイヤモンド採掘者の場合、資金提供者の支援を受けて採掘活動を行うことが通例であるが、少しでも支援を受けると、採掘した全ダイヤモンドを資金提供者の低い言い値で売らざるを得なくなり、利益が出ないため、永久に資金提供者に依存しなくてはならない負の連鎖に陥る。

本調査対象の全女性採掘組合は、資金提供者からの援助がないため資金的には苦しいものの、資金提供者に搾取されずに済み、資金提供者への依存を断ち切る必要がないという点では好都合と言える。

3.2.3 採掘量

2025 年 1 月から 12 月にかけて、組合が採掘・発見したダイヤモンドの個数、総カラット数、販売額の平均値及び中央値をまとめたのが下の表である。

2025 年調査対象組合が採掘したダイヤモンドに関する情報の平均値と中央値

	個数	総カラット	販売額（レオン）	販売額（円）
平均値	6.2 個	2.18ct	3,250SLL	21,742 円
中央値	2 個	1.5ct	2,800SLL	18,732 円

出典：グルーピングインタビュー結果から作成

採掘量は組合によってばらつきがあり、個数では 0 個から 25 個、総カラットは 0 から 4.3 カラット、販売額では 0 SLL（0 円）から 6,000SLL（約 40,140 円）の範囲であった。組合がインタビューに帳簿を持参しなかったため、覚えているものだけを回答した可能性が高い。

また、採掘量が低い原因として以下の理由が挙げられた。

- 村に誰でも採掘してよい共有地があり、そこで採掘している。既に 1 度採掘された土地なので、多くのダイヤモンドを見つけれない。
- ダイヤモンドを採掘しようとしたら、金と他の鉱物が見つかり、ダイヤモンドは見つからなかった。
- 以前他者に採掘された土地を採掘した。

ま

た、調査チームが事前に探査（ダイヤモンドが埋まっている可能性が高い場所を調べること）を行ったか質問したところ、全組合が「探査方法を知らないのではなかった」との回答であった。

シエラレオネのダイヤモンド産出量

世界のダイヤモンド原石産出国の中で、シエラレオネは毎年 9 位または 10 位の産出量である。シエラレオネ政府が発表した 2024 年の大規模採掘・手掘り採掘別の産出量を下の表にまとめた。

2024 年シエラレオネの規模別ダイヤモンド産出量

採掘分類	カラット数	輸出総額 (USD)	輸出総額 (円) *
手掘り	60,567.61	18,409,817.61	2,836,400,599
大規模	513,415.30	84,678,280.89	13,046,382,737

*円貨は 1 米ドル 154.07 円を用いて算出。

出典：Sierra Leone Annual Report 2024⁸を基に作成

政府が把握している産出量は、正規採掘免許保有者が正規ルートで販売したダイヤモンドの重量及び輸出企業の輸出時の価格である。シエラレオネ国内で有効な手掘り採掘免許数は、年間約 1,200 件から 1,700 件と推定されており、うち約 7 割がダイヤモンドであると考えられている⁹。つまり、手掘りダイヤモンド採掘免許は年間 840 件から 1,190 件発行されていると推定できる。

手掘りダイヤモンド採掘免許 1 件あたりの年間推定平均産出量

分類	手掘り免許推定数	免許 1 件あたりの平均 総カラット数	免許 1 件あたりの平均 輸出額 (USD)
最少の場合	840	72.10	21,916.45
最大の場合	1190	50.90	15,470.43

出典：Sierra Leone Annual Report 2024⁶ 及び IMF Country Report Sierra Leone2024⁷ の数値を基に作成

上の「免許 1 件あたりの平均輸出額」は、輸出企業の販売価格であり、この金額を手掘り免許保有者が得るわけではない。しかし、探査を行った上でダイヤモンドが見つかる見込みが高い土地で、資金提供者に依存せず、ダイヤモンドを輸出企業に直接販売し、かつダイヤモンドの価値を理解した上で価格交渉を行えば、販売価格を上げ、輸出額に近づけることは可能であると考ええる。

免許 1 件は 1 鉱山を指すため、そこでは何人もの採掘者（組合員）が働いている。組合が免許を持つ場合、作業員雇用・道具・免許等の費用を差し引いた利益を組合員に分配することになるが、上表で示す平均輸出額の 8 割を組合が得られれば、生活し子どもを養育する資金の大きな足しになるであろう。

3.2.4 販売先

全組合が資金提供者の支援を受けていないため、資金提供者ではないバイヤーにダイヤモンドを販売すると回答した。現在、全組合が有効な採掘免許を保有していないため、彼らが採掘したダイマ

⁸ Sierra Leone Annual Report 2024 <https://www.kimberleyprocess.com/documents> （2026 年 1 月 15 日閲覧）

⁹ International Monetary Fund, Country Report Sierra Leone 2024 <https://www.imf.org/-/media/files/publications/cr/2024/english/1sleea2024002-print-pdf.pdf> （2026 年 1 月 15 日閲覧）

ンドは闇市場に流れている。また、バイヤーが有効な売買免許を持っているかを確認したことがないと全組合が回答した。

組合の回答時の反応を見ると、バイヤーが売買免許を持っているかどうかを確認する必要があるという認識がそもそも欠如していた。組合員の意識向上が必要である。

3.2.5 価格交渉

全5組合のうち4組合が「販売時に価格交渉をする」、1組合が「交渉しない」と回答した。価格交渉をする場合、交渉によって価格が上がったかとの質問には、「微増することはあるが、大幅には上がらない」との返答であった。個別インタビューでも明らかになったが、ダイヤモンドの価値をほとんど知らないため、有効な交渉ができないことが示唆される。

3.2.6 採掘時期

全5組合のうち3組合が1年中採掘する、2組合が乾季のみ採掘すると答えた。雨季は雨量がかなり多いため採掘を行わず、農業やビジネスなど他の事業を行うことは、他国でも同様である。

3.3 知識と技術

グループインタビュー及び個別インタビューで、組合員のダイヤモンド（採掘）に関する知識を以下のとおり確認した。

3.3.1 責任ある採掘

「責任ある採掘の十分な知識を持っていますか」という問いに、インタビュー参加者全員が「いいえ」と回答した。また、責任ある採掘とは何かという問いを投げかけたところ、「資金提供者を得て、必要な機材・装備を購入すること」「労働者を手配し、食事を提供し、健康管理を行うこと」「採掘免許を取得すること」という回答が挙がった。回答の一部は責任ある採掘に必要なものであるが、これらの回答のみでは責任ある採掘のコンセプトを知っているとは言えない。この後、調査チームは責任ある採掘のコンセプトを説明し、責任ある採掘を行うことで、効率よい採掘かつ人権・環境に配慮した採掘になる利点があることを強調した。

それを理解した上で、「責任ある採掘を実践しているか」との問いに、99.3%が「いいえ」と答え、75%が責任ある採掘を学びたいと回答した。学びたい主な理由として、「適切な知識を得たい」「労力、費用、労務を削減し、採掘量を増やしたい」「良き採掘者になりたい」「収入を増やしたい」が挙げられた。

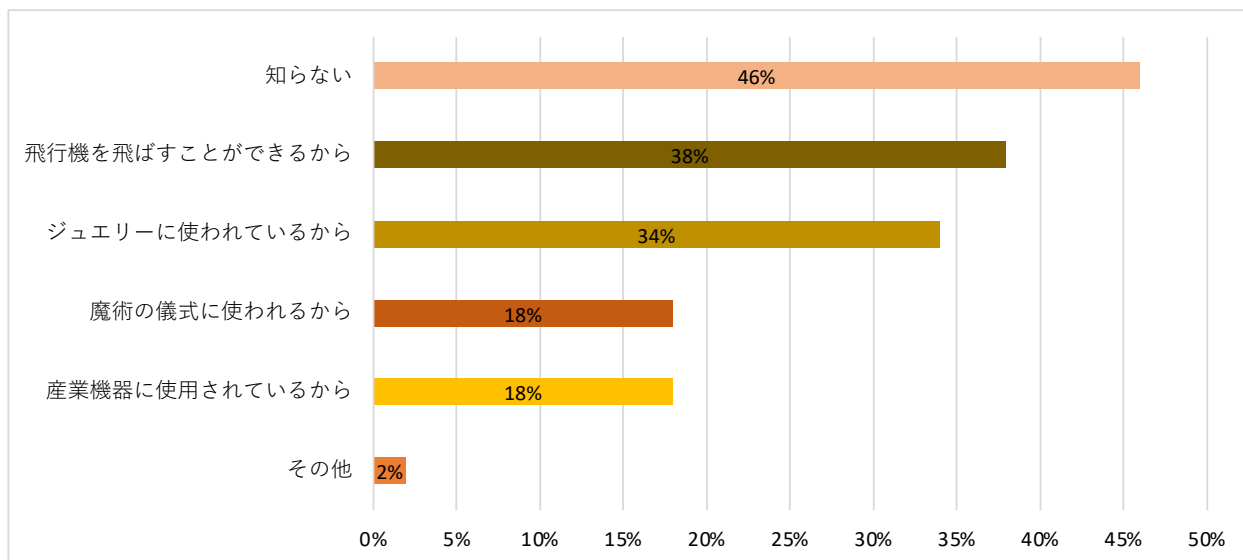
3.3.2 ダイヤモンド原石価値評価

「ダイヤモンド原石の評価について十分な知識がありますか」という問いに「はい」と答えたのは、参加者のうち2%のみで、98%が「いいえ」と回答した。調査チームは、「はい」の回答者にどのように評価しているか質問したが、結局は勘で評価しカラット数等が偶然当たることがあるということが判明した。そして71%がダイヤモンド原石価値評価を学びたいと挙手した。その主な理由として、「長年騙されてきたので、これ以上騙されたくない」「価格設定や販売時に有利になる」「相談した兄弟が、勝手にバイヤーから取り分を取ることがあるのでそれをやめさせたい」等が挙がった。個別インタビューでは、正しい知識を有しているかを確認するための質問をした。「なぜダイヤモンドには価値があるのですか」「ダイヤモンドはどのように形成されましたか」「ダイヤモンドの中には水が入っていますか」「色がついているダイヤモンドに高い価値はありますか」の質問をしたところ、

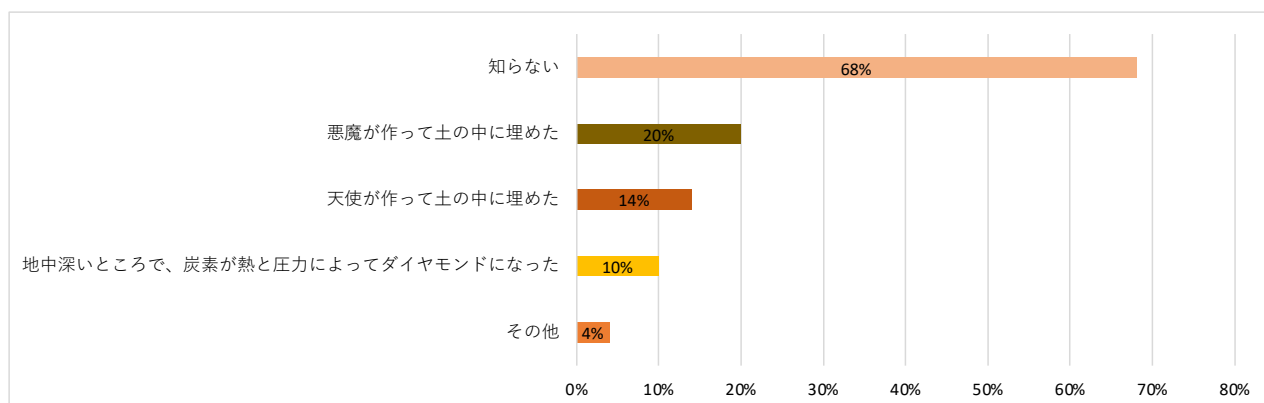
正解を選んだ人数の割合はどれも低かった。ダイヤモンドの価値が高い理由として「ジュエリーに使われているから」という正解を選んだ人は 34%いたが、同時に他の選択肢を選んだ人も多く、正しい理解の上に回答したとは言い難い。

ダイヤモンドの評価に関する基礎的な質問とその回答結果（n=50）

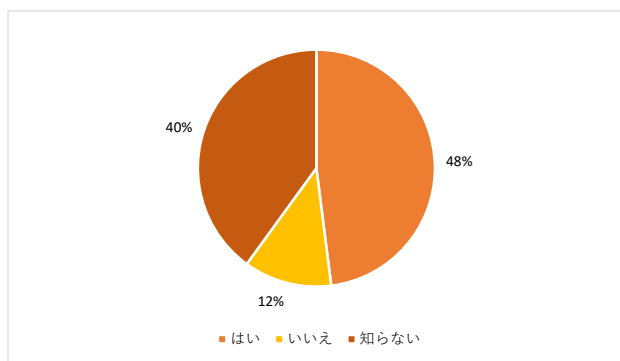
なぜダイヤモンドには価値があるのですか（複数回答可）



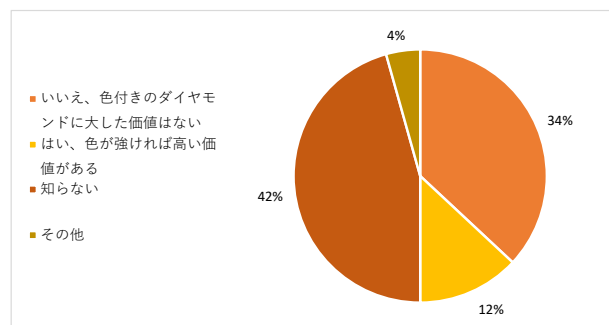
ダイヤモンドはどのように形成されましたか（複数回答可）



ダイヤモンドの中には水が入っていますか



色がついているダイヤモンド（レッド、ブルーダイヤモンド等）に高い価値はありますか



出典：個別インタビュー結果より

グループインタビュー時に 2 名、ダイヤモンド原石評価基礎研修を他で受講したことがある参加者がいたが、両名とも学んだ内容をあまり覚えていない様子であった。研修後にモニタリングや復習

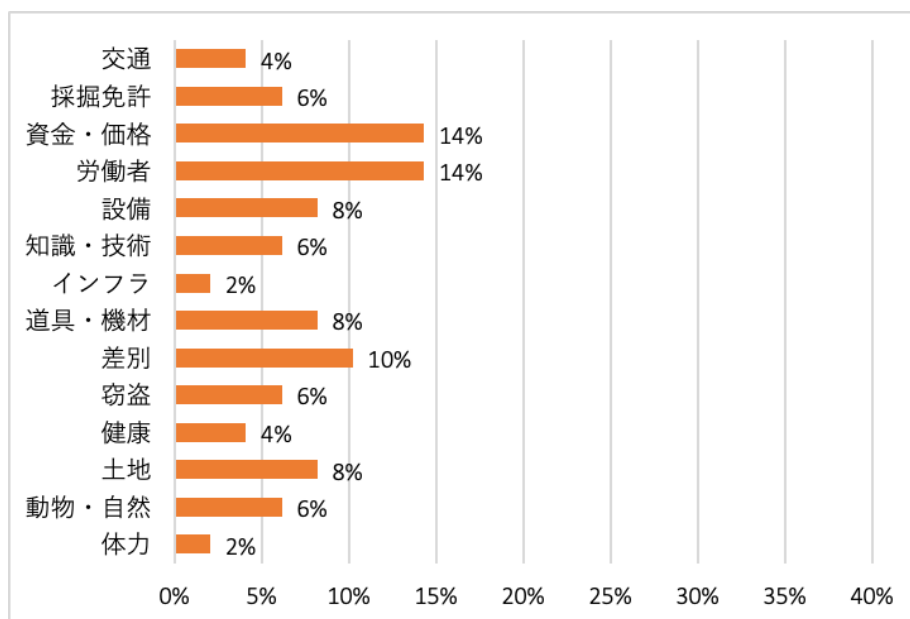
セッションを設ける等して、学んだ内容を定着させる活動が必要であることを示唆している。

3.4 組合及び女性採掘者が直面している主要な問題・課題とその解決策

3.4.1 主要な問題・課題

女性ダイヤモンド採掘者として、または組合が直面している主な問題・課題を質問したところ、最も多かった回答の種類は「資金・価格」(14%)、次いで「労働者」(14%)であった。

主な問題・課題（分類別）



出典：グループインタビュー結果より

問題・課題の具体的な説明として多かったものは以下のとおりである。

分類	挙げられた問題・課題
採掘免許	- 免許なしで採掘すると、鉱山当局に逮捕される可能性がある - 免許なしで採掘すると、採掘作業を停止させられ、道具を没収される
資金・価格	- ビジネス（農産物販売）における価格下落。需要予測が難しいため、町に持ち込んだらとにかく売らざるを得ない。 - 資金がない。 - 採掘プロジェクトの資金調達は最大の課題の一つであり、時には自宅にあるものを手放して資金を工面しなければならないこともある。 - 採掘を依頼して男性たちに支払うことが頻繁にあり、これが利益を減らしている。
労働者	- 労働の対価として男性たちに支払うが、彼らは働かない。 - 採掘や農地の草刈りを依頼して男性たちに支払うが、大抵の場合、男たちはお金を受け取るだけで仕事をしない。
設備	- 種子の適切な保管場所がない。 - 農場に柵がない。 - 水問題：村全体で手動ポンプ（井戸）が2基しかない。
知識・技術	- ダイヤモンドの価値がわからない。

	- カカオ栽培のスキルや知識が限られている。カカオを植えたが、すべて枯れてしまった。
インフラ	- キャッサバなど農産物の信頼できる市場が存在しない。
道具・機材	- 作業用具（ナタ、鍬）が不足しており、作業員は常にナタを要求してくる。 - 十分な作業用具がない。
差別	- 私たちは茂みの中で一人で採掘していたから、暴行や性的嫌がらせを受けた。 - 女性が採掘など特定の分野で働くことを認めない差別。女性は従うしか選択肢がない。 - 男性は女性を搾取し、自分たちが土地の所有者だと主張して採掘現場から私たちを追い出す。
窃盗	- 人々が私たちの作業道具や農産物を盗む。
健康	- 採掘作業中は長時間水の中で作業するため、風邪やその他の病気にかかりやすい。
土地	- 既に一度採掘済みの地域で採掘しているため、あまりダイヤモンドが見つからない。 - この村の女性は、首長や当局と協議した上で、村から直接土地を借り受けることができるはずだが、実行していない。
動物・自然	- 野生動物が農場の作物を荒らす。 - 雨が多すぎたことによる不作、落花生など植え付けの遅れ。
体力	- 多くのダイヤモンドを得るには深く掘らねばならず、これは女性採掘者にとって困難な作業である。
交通	- 村の中心部から農場まで12マイル（約19km）あり、農場への移動や道具の輸送は深刻な課題である。

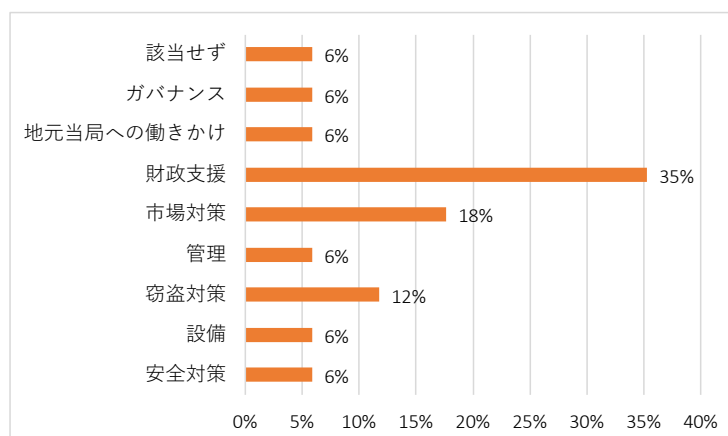
出典：グループインタビュー結果より

個別インタビューでも回答者が思う主要な問題・課題を質問したところ、グループインタビューと類似する回答が挙げられた。

3.4.2 問題・課題の解決策

上述した問題・課題を解決するため、組合はどのような対策をしているかという質問に対し、様々な回答が挙がった。それらを分類したのが以下のグラフである。

問題解決のために組合が実施している努力



出典：グループインタビュー結果より

具体的には以下の対策を実行している（した）とのことであった。

分類	組合が実行している（した）解決策
財政支援	- 地域の採掘パトロール委員会に金銭を渡すことで、委員が私たちの道具を没収したり採掘作業を妨害したりするのを防いでいる。 - 労働者への賃金は、（前払いではなく）作業完了後にのみ支払う。 - 毎週日曜日、採掘用のシャベルや必要な道具を購入するため、各組合員から 5 レオン（約 33 円）を集金する。
ガバナンス	- 農業については、田舎の方の村の方が窃盗に対する厳しい規則があるため、盗難防止のため村へ移動して耕作することにした。
市場	- 利益が上がらない事業をしていると気づいた時、私たちは行う事業を変える。 - パーム油は安価な時期に買い付け、品薄で価格が高騰した時に販売する。
管理	- 農業：私たちは全収穫物を販売するのではなく、次の農期に植える種をとっておくようにしている。
窃盗対策	- 伝統的なお守りを農場に設置したが、泥棒が尿をかけてお守りの効果を無効化した。盗難を防ぐのは容易ではない。
設備	- 野生動物の畑荒らしを予防するため、農作業時に柵の設置作業をしている。
安全対策	- 採掘時に、チームで行動することでハラスメントやレイプを予防している。

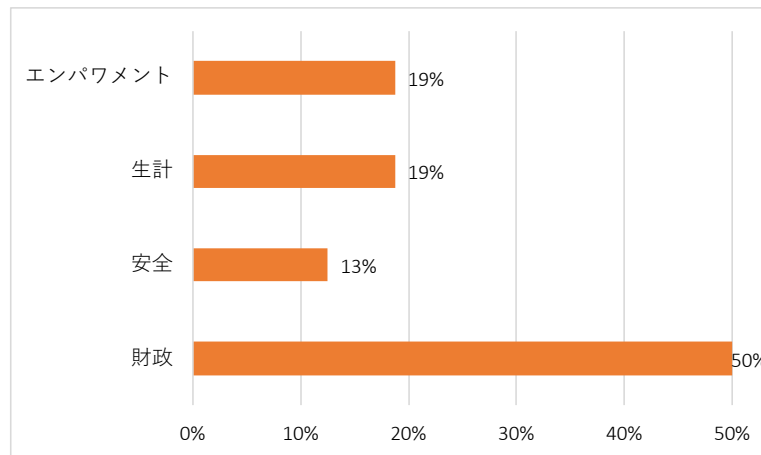
出典：グループインタビュー結果より

個別インタビューでは、問題・課題解決のために回答者自身がしていることと、組合がしていることを質問した。回答は、上の結果を裏付ける内容であった。一方、個別インタビューで組合の努力は十分だと思うか質問したところ、62%が「いいえ」と答え、組合の努力に改善の余地があることを示唆している。

3.4.3 対策による効果

これらの対策の結果、どのようなよい効果があったかを質問したところ、多くの回答が挙がった。それらを分類したものが下のグラフである。

対策の効果



出典：グループインタビュー結果より

具体的に挙げられた効果は以下である。

分類	解決策の実行によるよい効果
財政	- 利益を分配して子供の学費を支払い、一部を採掘に投資し、組合員に融資する。 - 利益を組合員に分配し、子どもの学費を支払い、その他の問題を解決する。 - 組合員家族の死亡・事故・卒業時などに、組合が組合員を支援する。 - 結束し、収益の分配後、子どもの学費を支払う。 - 採掘による収益を組合の貯金箱に入れ、子どもが学校に入学する際にお互いを支援する。
エンパワメント	- 組合は組合員に融資を行う。これにより、すべての組合員が個々の問題を解決できるよう支援している。 - 私たちは各自の問題を解決している。
生計	- 農産物を売って、子どもを養うお金を稼ぐ。 - 農業により十分な食料を得ている。
安全	- 私たちが立ち向かったおかげでレイプは止んだ。今は組合でチームとして活動している。

出典：グループインタビュー結果より

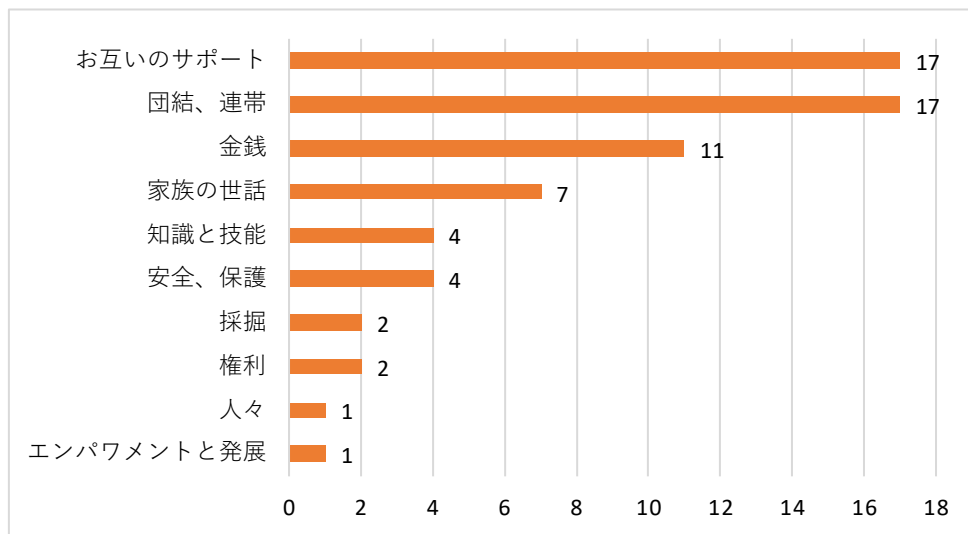
どの組合も、定期的に少額を組合員から集金し、その資金を事業に投資したり、組合員に融資したりしている。大きな金額ではないが、組合員達が結束してお互いを支え合っていることが窺える。

3.5 組合に対する満足度、従事活動

3.5.1 組合に対する満足度

個別インタビューでは、組合に入ってよかったと思うかを質問したところ、全員が「はい」と答えその理由を述べた。理由を分類したグラフを下に掲載する。

組合に入ってよかった理由の分類



出典：個別インタビュー結果より

具体的な理由として挙げられた主な回答は以下である。

- 私は安全がなかったためにレイプされたが、今は組合のおかげで安全で守られていると感じるから。
- 互いに助け合っているから。
- 組合を通じて、私はダイヤモンド採掘業から経済的な利益を得ることができ、問題も解決することができたから。
- 組合は、農業活動の拡大や女性間の団結の促進に役立っているから。
- 家族や採掘について多くのアイデアを得ることができるから。
- 組合は団結して、組合員をサポートしているから。

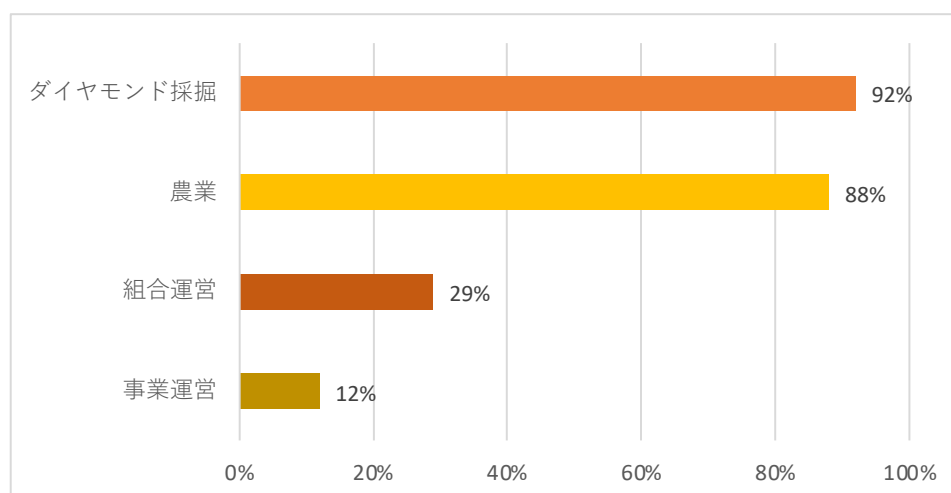
出典：個別インタビュー結果より

グループインタビュー中に、組合員の子どもが大学に行くための資金を他の組合員達が協力して集めた話、組合員が交通事故に遭った時に治療費を他の組合員達が協力して工面した話を、支援を受けた本人が語る場面もあった。

3.5.2 組合員の従事活動

個別インタビューで、組合のどの活動に従事しているか質問したところ、92%が「ダイヤモンド採掘」、88%が「農業」と回答した。どの組合も採掘と農業の両方を実施しており、ほとんどの組合員が両方の活動に従事していることを確認した。

従事している活動



出典：個別インタビュー結果より

具体的に行っている主な作業として、以下が挙げられた。

ダイヤモンド採掘	- 砂利の洗浄 - 砂利の運搬 - 砂利の加工
農業	- 食料の準備 - 苗、稲、作物、キャッサバの植え付け
組合運営	- 毎週、組合員から貸付金を回収する - 会議を主催し、組合員に結束を保つよう助言する - 組合の規則や規定を教える
事業運営	- お金を貯める箱の管理を行い、資金が安全に保管されるようにする - 事業全体の監督

出典：個別インタビュー結果より

3.5.3 組合活動の資金源

全5組合が、外部者・外部団体、NGO、政治家等の支援を受けて実施した活動やプロジェクトがあるかとの質問に対し、「いいえ」と回答した。「いいえ」と回答したものの、その後の会話の中で、小規模の研修や支援を外部から受けたことがある組合が2組合あることが判明した。

2組合が受けた支援は、女性対象の心理社会的研修、組合の法的地位の取得、アイルランド政府機関による資材（貯金箱、帳簿、電卓、定規）の寄付であった。

3.6 DFP プロジェクト

3.6.1 DFP プロジェクト実施希望の有無

リベリアにおける DFP のプロジェクトと活動方針の説明を行った後、このようなプロジェクトの実施に興味があるかを尋ねたところ、全5組合が、理由を添えて自村でも同様のプロジェクトを実施することに関心があると回答した。個別インタビューでも同じ質問をしたところ、全員が「はい」と回答した。プロジェクトを実施したい理由として以下が挙げられた。

DFP プロジェクトを実施したい理由

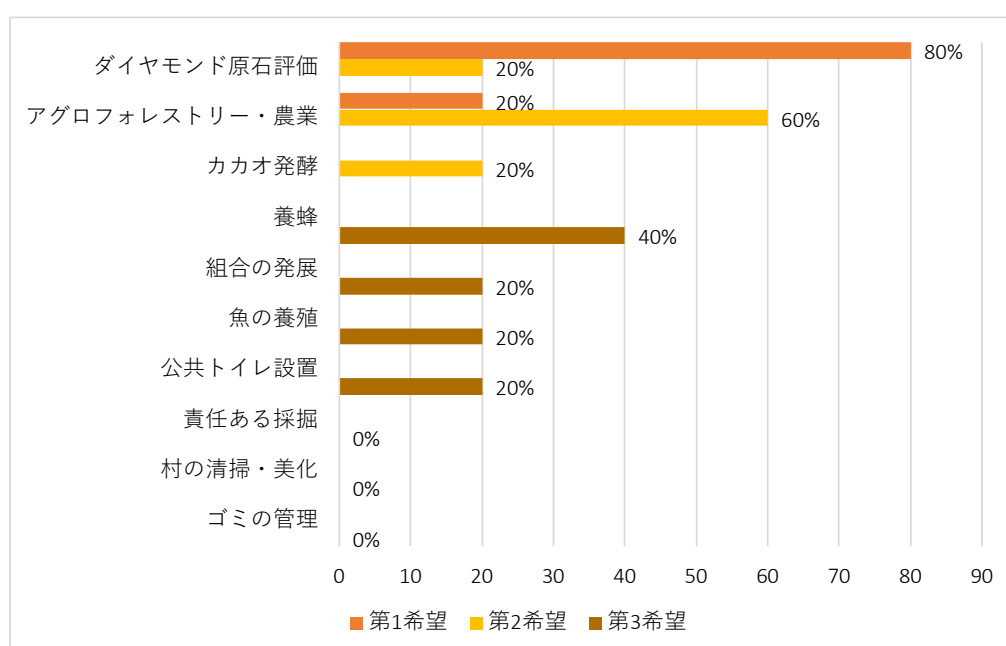
- 責任ある採掘やダイヤモンド原石評価に関する知識を得たい。経済的機会やエンパワーメントを向上させ、正しい方法で活動したい。
- 地域にトイレがないから。
- ダイヤモンド原石評価や採掘の仕組みを理解し、騙されないようにしたい。
- 貧困を減らし、経済的自立力を高めたい。
- 私たちはエンパワーメントされ、他の女性達をエンパワーできるようになりたい。そうすれば、ダイヤモンドを評価できるようになる。採掘は私たちの生計を立てる仕事だからだ。さらに、カカオ畑の雑草を駆除するために使う化学薬品がカカオの木も枯らすという情報を得た。そのため、責任ある農業を学びたい。
- DFP のプロジェクトは、ダイヤモンド採掘と農業ビジネスへの理解を深める助けになると信じているから。
- 自分の人生を発展させ、子供たちを支える方法について、より多くのアイデアを得たい。
- 女性たちが労働から収入を得て、収入源を創出できるようになりたいから。
- 組合に関する基本的なスキルや知識が不足しているから。

出典：グループインタビュー結果及び個別インタビュー結果より

3.6.2 興味のある DFP プロジェクト

5 組合は、最も関心のある DFP プロジェクトの優先順位トップ 3 とその理由を回答した。80%（4 組合）が「ダイヤモンド原石評価」を第 1 優先に選択し、20%（2 組合）が第 2 優先に選択した。次に、「アグロフォレストリー・農業」を第 1 優先事項として選択したのは 20%（1 組合）、第 2 優先事項として選択したのは 80%（4 組合）だった。「カカオ発酵」は 20%（1 組合）が第 2 優先事項として選択した。40%（2 組合）が「養蜂」を第 3 優先事項として選択し、「組合の発展」、「魚の養殖」、「公衆トイレ」は 20%（1 組合）が第 3 優先事項として選択した。

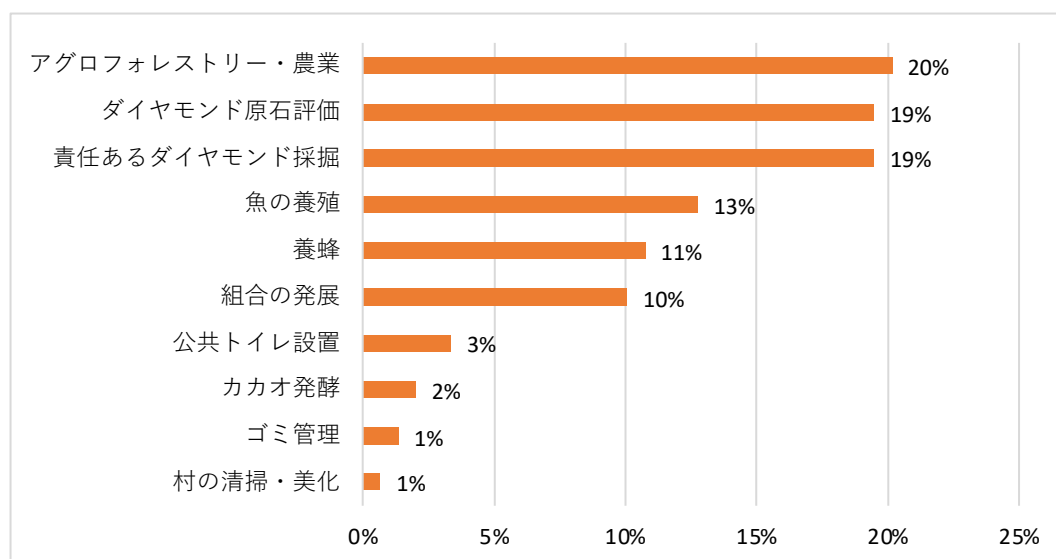
興味のある DFP プロジェクト



出典：グループインタビュー結果より

個別インタビューでも同様の質問をしたところ、アグロフォレストリー・農業が 20%、ダイヤモンド原石評価と責任あるダイヤモンド採掘がそれぞれ 19%と上位に挙げた。副収入となる魚の養殖や養蜂も人気があり、多くの回答者がどちらかを選んだ。また、組合の発展も一定の支持を集めた。

実施したいプロジェクト最大3件



出典：個別インタビュー結果より

これらのプロジェクトを実施したい理由として、以下が挙げた。

プロジェクト	実施したい理由
ダイヤモンド原石評価	- 価格交渉を有利に進め、十分な利益を得たいから。 - 継続的に騙されたくないから。 - 買い手による長年の搾取から解放されたい。 - ダイヤモンドの評価方法を理解したい。 - 貧困削減を実現するため。 - 採掘方法について適切な意思決定を行いたいから。
アグロフォレストリー・農業	- 知識を得るためのアイデアが欲しい。 - 農業の生産性を高めるため。 - より多くの食料や作物を育て、収入を増やし、子どもたちを支え続けられるようにするため。 - 農業は収益性が高く、常に確実な収入が見込めるから。
カカオ発酵	- 当組合の中にはカカオ栽培に携わる者もいるため、今知らないカカオ発酵について学びたい。
養蜂	- ハチミツを生産し、収益を得たい。
組合の発展	- 土地の利用が恒久的でないため。
魚の養殖	- 魚の養殖により収益をあげたい。また、魚を買わなくても食べることができるから。
公衆トイレの設置	- トイレがないことによる屋外排泄をやめるため。

出典：グループインタビュー結果より

グループインタビューで責任ある採掘を選択した組合がなかったのは、責任ある採掘とダイヤモンド原石評価の違いをあまり理解しておらず、どちらも同じプロジェクトに入るといった組合が多かったためである。その後の個別インタビューでは違いを再度説明したため、責任ある採掘を選んだ回答者も多い。

どの組合も採掘と農業の両輪で活動しており、それを反映する結果となった。

3.7 写真

調査対象組合への訪問・視察の様子を以下にまとめた。



ムアムマ組合グループインタビューの様子



ムアムマ組合のパイナップル畑



テグロマ組合ダイヤモンド選鉱の様子



クウェドンドンヤ組合グループインタビューの様子



タンコロ組合グループインタビューの様子



チョチェンデ組合グループインタビューの様子



クウェドンドンヤ組合の田んぼ



チョチェンデ組合が収穫した落花生



テグロマ組合のキャ
ッサバ畑

4. 新規事業案

当会の現場での大きな活動方針は、「自助努力しているグループを技術的に支援する」ことである。途上国の現場にいる村人は、「外部の人・NGO が来たら、自分たちが何もせずともすぐに発展する」という勝手な思い込みをしている人も多いが、そのようなマインドセットではどのような活動をして成功することはない。組合や村の開発・発展は、現地の人々の努力によってこそ起こるものである。今回受益者候補として訪問・調査をした組合は、全組合が程度の差はあるが設立後自助努力を継続していることを確認することができ、当会の活動方針に合うと考える。

もう1つの主な活動方針は、対個人ではなく、組合等のグループを通して支援活動を行うことである。組合事業の拡大には運営・経営能力の向上が必要だが、今回の訪問・視察を通して、一部のリーダーを除きほとんどの組合員が組合運営や法的地位の継続に必要な事項を知らないことが判明した。組合開発能力の向上に資する活動も必要である。

ダイヤモンド産出地域にいる人々は、仮に他者が環境への負荷がある採掘をやめるように言ったところでやめる人はいない。そこにダイヤモンドがあると思う限り、それが違法であっても掘り続ける。同時に、ほとんどの手掘り採掘者は責任ある採掘のコンセプトを知らず、手当たり次第掘れる場所を掘り採掘後の閉山（埋め戻し）も行っていない。これらの理由から、責任ある採掘とは何かを彼らが理解しそれを実践していくことが現実的な打開策と考える。

4.1 事業内容の方針案

- 組合員の収入の低さを是正し、採掘活動にかかる費用を捻出する必要性があることから、農業や副収入活動は必須である。農業/副収入活動→収入→採掘活動に投資→採掘活動での成果（より多くのダイヤモンドの発見）につなげることを目標とする。一方、消費期限がある農産物を新鮮なうちに販売することは、シエラレオネ国内の購買力を考慮すると簡単ではない。消費期限のないハチミツを生産したり、魚であれば乾燥魚にする、フルーツならドライフルーツにする等、現地市場に配慮し工夫する。
- 将来的な国際正規市場へのダイヤモンド流通も考慮し、その際にダイヤモンドの付加価値を高めるためにも、まず責任ある採掘の学習と実践が必要である。採掘場所を選ぶ前に基本的な探査を行い、まだ一度も採掘されていない土地の使用権を得れば、無駄な採掘を減らした上である程度の産出量を見込むことができる。ダイヤモンド原石評価基礎研修は、その後に実施する。
- 組合運営能力向上については、複数の組合を事業対象とすることで、お互いに学び合い切磋琢磨できるような環境をつくる。
- 当会の隣国での経験から、どの研修においてもその後の活動のモニタリングとフォローアップが重要である。組合員が段々自己流の間違った方法で活動を行うようになることが頻繁にあるため、現地スタッフがモニタリングの上、間違っている場合は正しい方法を指導し、進捗が遅れている場合には励ましたりすることが成果を出すために必要である。
- 現地では苦しい立場に置かれている女性達だが、当会の事業が女性のみを対象とすると、村の男性達が嫉妬し、見えないところで女性達に嫌がらせを行う可能性がある。それを防ぐため、研修実施時には、村の男性達のうち希望者をオブザーバーとして受け入れる。

実施時期のイメージ

活動	1 年目	2 年目	3 年目
農業/副収入向上			
責任ある採掘、原石評価			
組合運営能力向上			

4.2 新規事業案

4.2.1 対象地域・受益者案

獲得する資金額に応じ、次の 2 案が考えられる。

- ・コノ県の 3 女性採掘組合（コノ県）
- ・コノ県の 3 女性採掘組合＋ケネマ県の 2 女性採掘組合、合計 5 組合（コノ県、ケネマ県）

4.2.2 相手国関係政府機関

- ・国家鉱物庁
- ・貿易産業省組合同局

4.2.3 プロジェクト・デザイン・マトリックス案

【上位目標】 対象組合において、責任ある農業・副収入活動、責任ある採掘・原石評価活動、組合能力強化活動の実践により、組合及び組合員の収入が向上し、組合組織が強化される。	
【プロジェクト目標】 対象組合の組合員達が、責任ある農業・副収入研修、責任あるダイヤモンド採掘・評価研修、組合能力向上研修を通じて得た知識を実践し、日々の組合活動を改善する。	【社会的変化（アウトカム）指標】 ・対象組合の組合員達が、農業・副収入研修の内容を正しく実践する。 ・対象組合の組合員達が、責任ある採掘・評価研修の内容を正しく実践する。 ・対象組合の組合員達が、組合能力向上研修の内容を正しく実践する。
【アウトプット】 2.6 対象組合の組合員達が研修を通して、責任ある農業・副収入活動（養蜂、魚の養殖）を理解する。 2.7 対象組合の組合員達が研修を通して、責任ある探査・採掘の基礎、ダイヤモンド評価原石評価の基礎を理解する。 2.8 対象組合の組合員達が研修を通して、組合運営に関する重要項目を理解する。	
【活動】 1. 責任ある農業・副収入活動 ・責任ある農業研修 ・養蜂研修 ・魚の養殖研修 ・研修後の活動モニタリング・フォローアップ	【活動結果指標】 1. 責任ある農業・副収入活動 1.1 既存研修プログラムの見直しと改訂、教材 1.2 責任ある農業研修を実施、参加人数、栽培する作物数、植えた種の数、活動記録 1.3 養蜂研修を実施、参加人数、巣箱作成と設置、設置した巣箱数

2. 責任あるダイヤモンド採掘・評価 ・責任あるダイヤモンド探査基礎研修 ・責任あるダイヤモンド採掘基礎研修 ・ダイヤモンド原石評価基礎研修 ・研修後の活動モニタリング 4. 組合運営能力強化 ・組合に関する基礎研修 ・リーダーシップ研修 ・ガバナンス研修 ・記録・帳簿作成研修 ・事業計画作成研修 ・国内ベスト組合の訪問・視察研修 ・研修後の活動モニタリング	1.4 魚の養殖研修を実施、参加人数、造成された養殖池、水入れ、稚魚入れ、餌やり、入れた稚魚数、餌やり回数 1.5 1.2 から 1.4 をモニタリング・フォローアップ実施 2. 責任あるダイヤモンド採掘・評価 2.1 既存研修プログラムの見直しと改訂、教材 2.2 責任ある探査基礎研修を実施、参加人数、探査活動記録 2.3 責任あるダイヤモンド採掘基礎研修を実施、参加人数、採掘活動記録 2.4 ダイヤモンド原石評価基礎研修を実施、参加人数、原石評価記録 2.5 2.2 から 2.4 をモニタリング・フォローアップ 3. 組合運営能力強化 3.1 既存研修プログラムの見直しと改訂、教材 3.2 組合に関する基礎研修を実施、参加人数 3.3 リーダーシップ研修を実施、参加人数 3.4 ガバナンス研修を実施、参加人数 3.5 記録・帳簿作成研修を実施、参加人数 3.6 事業計画作成研修を実施、参加人数 3.7 国内ベスト組合の訪問・視察研修 3.8 3.2 から 3.7 をモニタリング・フォローアップ
【投入】 責任ある農業・副収入活動 ・農業研修講師、農業資材・道具 ・養蜂研修講師、養蜂資材・道具 ・魚の養殖研修講師、養殖資材・道具 ・現地スタッフ（調整、モニタリング・フォローアップ） 責任あるダイヤモンド採掘と売買 ・責任あるダイヤモンド探査研修講師、探査に必要な道具・機材 ・責任あるダイヤモンド採掘研修講師、採掘に必要な道具・機材 ・ダイヤモンド原石評価基礎研修講師、評価に必要な道具・機材 ・現地スタッフ（調整、モニタリング・フォ	【外部条件】 可能性のある阻害要因 ・村の事業対象でない男性達による嫌がらせ ・首長による土地使用許可を得られない ・疾病、パンデミックの発生による活動の停止や遅延 【前提条件】 ・農業、副収入向上活動、採掘に使用する土地の許可を、それぞれの活動開始までに首長から得る ・採掘開始前に手掘り採掘免許を組合が取得する

ローアップ) 組合運営能力向上 ・組合基礎、リーダーシップ、ガバナンス、記録・帳簿作成研修講師 ・現地スタッフ（調整、モニタリング・フォローアップ） 全活動 ・国際スタッフ（全活動の計画、実施監理・監督、モニタリング）	
---	--

付録1

組合別グループインタビュー結果

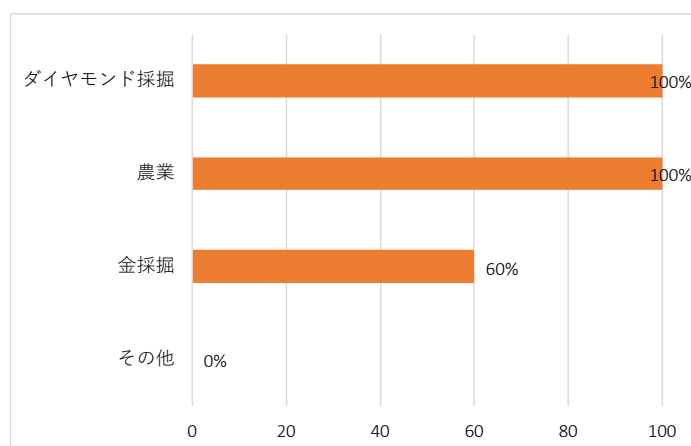
ケネマ県、コノ県で訪問した5組合を対象に、質問票の質問を基にグループインタビューを実施した。質問の内容と回答は、以下のとおりである。

1. 組合の基礎情報

5つの女性採掘組合が調査に回答した。各組合の基本情報は以下の通りである。活動分野については、ダイヤモンド採掘と農業がそれぞれ100%を占め、次いで金採掘が60%であった。

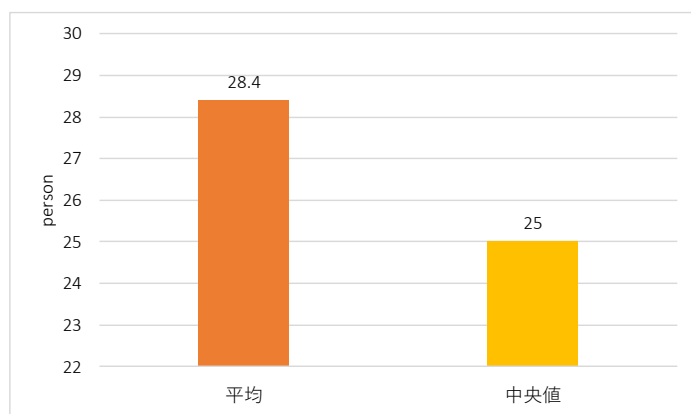
No.	組合名	設立年	組合員数 (2025年12月現在)
1	チョチェンデ	2021年	25名
2	テグロマ	2021年	20名
3	ムアムマ	2022年	30名
4	クウェドンドンヤ	2021年	25名
5	タンコロ	2012年	42名

活動分野 (n=5)



一組合あたりの平均組合員数は28.4名、中央値は25名である。

2025年12月現在の組合員数 (n=5)



2. 質問及び回答

各組合は以下の質問に対して次のように回答した。

2.1 組合を組織した理由

なぜ組合を組織することにしたのですか？（n=5）

主要回答
- 子供たちを養育し、個人の問題を解決するため。 - 権利のために闘うため（権利が侵害されていた）。 - 子供たちが虐待（レイプ）されていた。 - 採掘作業を共同で行うため。 - 貧困、シングルマザー／未亡人なので、協力し合い、貧困と闘いたいから。 - 協力し合い助け合うため。個人では成功が難しいと信じているから。 - 資金提供者からの援助を受けていたため、ダイヤモンドに関して長年だまされてきた。これを避けるため組合を結成した。自前の採掘免許を取得したが、現在は期限切れとなっている。

2.2 組合の目標や夢

「この組合の究極の目標や夢は何ですか？」（n=5）

主要回答
- 私たちは大きなビジネスを行いたい。ガーナや海外へ出張したい。女性は長い期間協力して働けないと他の人々は思っているが、その常識を覆したい。 - 夫の収入が十分でなく、子どもたちを支えたい。 - 子どもの成長を支え、家族が貧困の連鎖を断ち切る手助けをすること。そうすれば子どもたちは将来、自立できるようになる。 - 自分自身を成長させ、村の他の女性たちを支援すること。 - 女性の組合がダイヤモンド輸出免許を保有すること。これにより他の経営者達と会い、ビジネスチャンスを得られるようになる。

2.3 組合の法的地位取得手続き

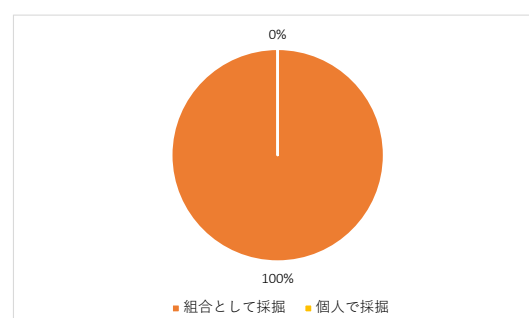
「シエラレオネで組合の法的地位を取得する手続きはどのようなものですか？」（n=5）

主要回答
- 市議会に登録して法的地位を取得する。その後、農業省に登録して農業活動への支援機会を得る。 - 当時の大臣が組合設立費用を支払ったため、法的地位の取得方法を知らない。 - チーフダムを経由し、開発申請書を取得・記入後、鉱山局へ提出。鉱山局が土地を特定した後、地表使用料を支払い、採掘免許を取得する。その後組合は運営可能になる。

2.4 ダイヤモンド採掘

ダイヤモンドを組合として採掘していますか、それとも個人個人で採掘していますか（n=5）

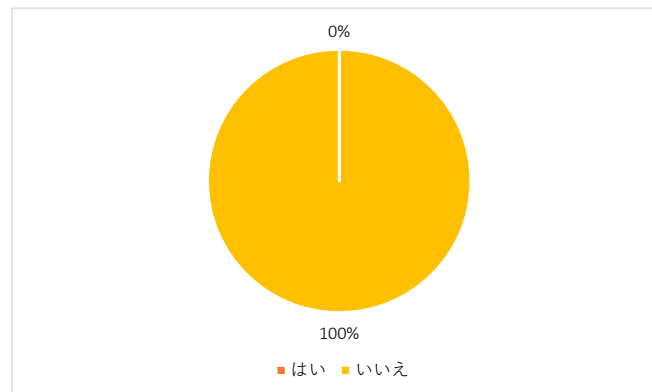
組合として採掘するという回答が 100%であった。



「採掘活動についてより詳しく教えてください」との質問への主要な回答は以下であった。

主要回答	
-	採掘作業員を雇用し賃金を支払い、選鉱作業は組合員が自ら行います。作業員 1 人 1 日あたり 50SLI (約 330 円) を支払い、食事を提供しています。
-	選鉱作業は 5 人単位の小グループで作業するが、繁忙期には砂利の掘削を 10 人単位のグループで行う。
-	組合長の夫の所有地で作業しているが、夫はこの活動を支援していない。ダイヤモンドを発見した場合、土地所有者に分け前を支払う。

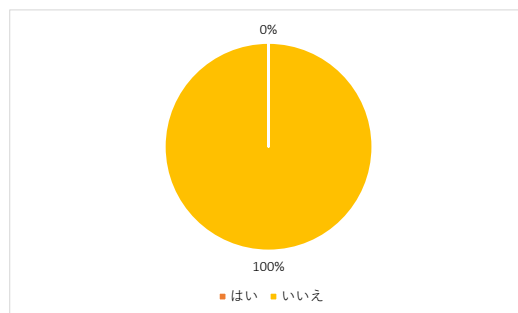
前の質問で「組合で採掘する」と回答した場合、組合は有効な採掘免許を持っていますか (n=5)
 組合でダイヤモンドを採掘していると回答した全組合に対し、組合が有効な採掘免許を保有しているかどうかを尋ねたところ、全組合が「いいえ」と回答した。



いいえの理由	
-	第一段階でパラマウントチーフ（首長）から許可を得る必要があるが、首長は女性への採掘免許発行を拒否した（土地分配は首長が監督する。土地は村の所有だが首長が管理人である。さらに組合員（女性）たちは土地取得のために首長と交渉しなかった）。
-	組合には手続きを進める資金が不足している。
-	家族所有地で作業している。収益の 30% を土地所有者に、70% を組合に分配する。採掘免許を取得せず、単に作業を行っている。
-	採掘免許取得資金がないので、組合としては免許を保有していない。但し、土地所有者は採掘地の採掘免許を保有している。組合は他からの援助を得ず採掘し、見つけたダイヤモンドを販売し、収益の 30% を土地所有者に支払う。
-	以前は採掘免許を保有していたが期限が切れており、更新手続きを行うつもりである。

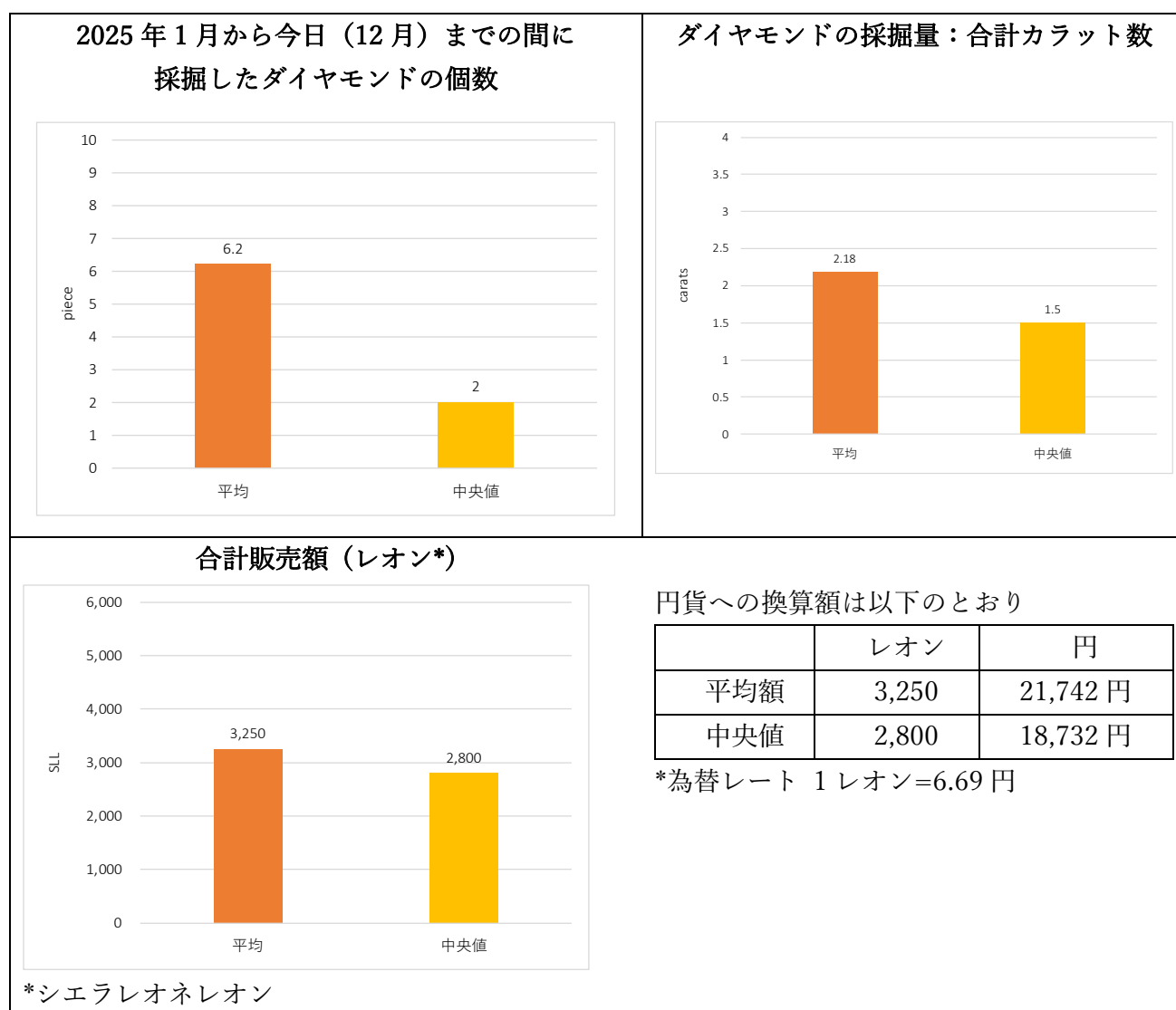
資金提供者：組合は資金提供者の支援を受けて採掘していますか (n=5)

全組合が外部の資金提供者からの支援を受けていないと回答した。



2.5 ダイヤモンドの採掘量

2025 年 1 月から 12 月にかけて、組合が採掘・発見したダイヤモンドの平均個数は 6.2 個、中央値は 2 個であった。これらのダイヤモンドの総カラット数の平均は 2.18 カラット、中央値は 1.5 カラットであった。同期間におけるこれらのダイヤモンドの販売合計額の平均は 3,250 レオン (約 21,742 円)、中央値価格は 2,800 レオン (約 18,732 円) であった。



2025 年にダイヤモンドを採掘または発見した組合は、ダイヤモンドの特徴について以下のように述べた。

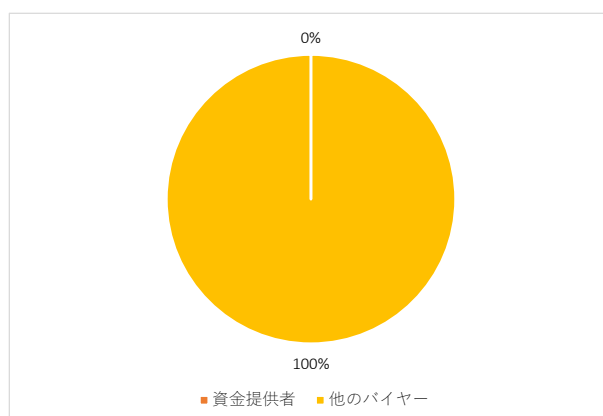
2025 年に採掘したダイヤモンドの特徴(n=5)

回答	
-	ダイヤモンドの一つは 1 カラットほどあったが、もう一つは買い手が教えてくれなかったの で分からない。
-	クリーンなダイヤモンド、黒色、クラックありと聞いたが、自分たちでは判別できない。
-	金 15 個とコルタンが混在していた。ダイヤモンドは見つからなかった。
-	特徴を記録しなかった（ので覚えていない）。

2.5 販売先

全組合が、資金提供者ではなく他のバイヤーにダイヤモンドを販売していると回答した。

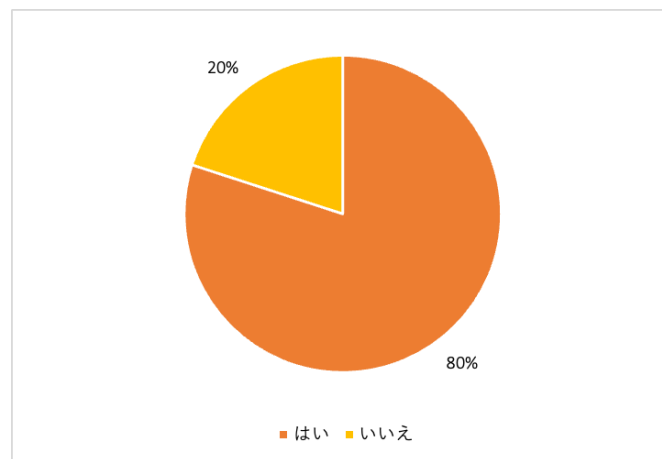
販売：組合は誰にダイヤモンドを販売しますか（n=5）



他のバイヤーに関する説明	
-	この地域でダイヤモンドや金を購入している人物がいますが、売買免許を持っているかどうかは不明です。
-	小さなダイヤモンドの場合ニコニコに販売するが、大きなダイヤモンドを採掘した場合はケネマのバイヤーに販売するか、フリータウンのダイヤモンド輸出業者へ持ち込む。注：ニコニコとは、事務所やライセンスを持たない移動購入業者を指す呼称である。
-	ダイヤモンドを発見すると、ケネマのレバノン系実業家／輸出業者に売却する。ただし買い手が有効な売買免許を所持しているかは確認していない。
-	金とコルタンをニコニコに売却した
-	我々は販売時に選んだ任意の買い手に販売する

全組合のうち 80%は、自ら採掘したダイヤモンドを販売する際に価格交渉を行うと回答した。残りの 20%は、買い手が提示する価格をそのまま受け入れざるを得ないため、価格交渉を行わないと回答した。

販売時にバイヤーと価格を交渉しますか（n=5）

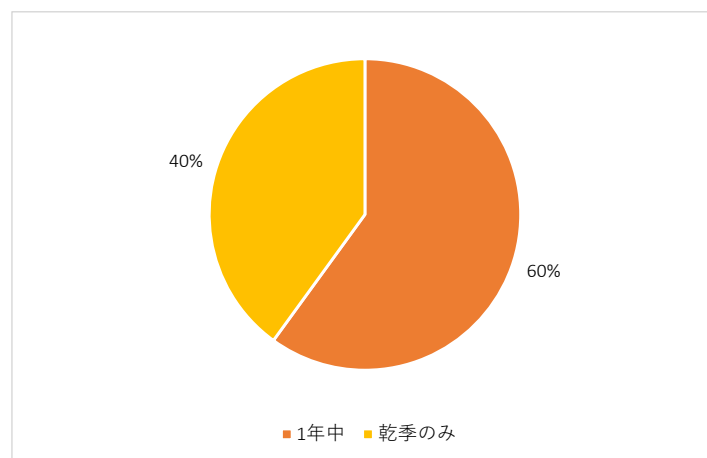


この返答に対し調査チームが「交渉後、価格は上昇するか」と聞いたところ、「上昇しない」や「多少上昇することはあるが、大幅には上昇しない」と答えた。

2.6 採掘する季節

全組合のうち 60%はダイヤモンド採掘を年間を通じて行っていると答え、40%は 11 月頃から 4 月頃の乾季のみ行っていると回答した。上記質問で「年間を通じて」と答えた者は詳細を説明し、「乾季のみ」と答えた組合の一つは 1 月から 5 月と具体的な時期を回答した。

いつ採掘しますか (n=5)



「1 年中」の説明として挙げられた回答

- 雨季には低地で採掘し、乾季には川沿いで採掘する。
- ただし、その年の降雨量によって異なる採掘活動を行う。

「乾季のみ」の説明として挙げられた回答

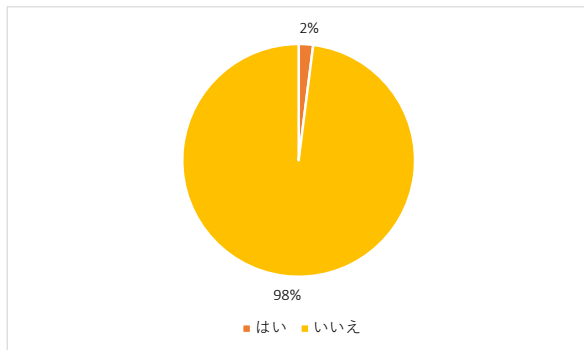
- 1 月から 5 月

2.7 責任ある採掘

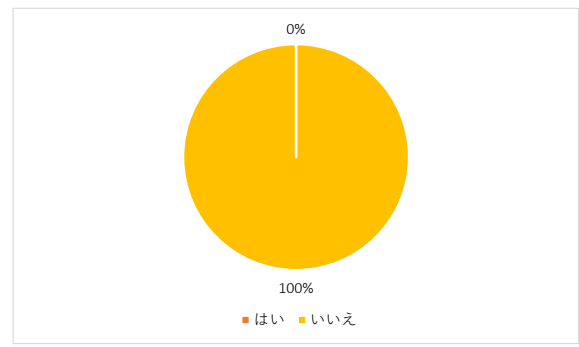
グループインタビュー参加者計 142 人のうち、回答者の 2% (3 名) が、責任あるダイヤモンド採掘に関する「なんらかの」知識があると思うかという質問に「はい」と答え、98%が「いいえ」と回答した。また、回答者全員 (142 名) が、責任あるダイヤモンド採掘に関する「十分な」知識を持っていると思うかという質問に対し「いいえ」と回答した。

責任ある採掘について

あなたはなんらかの知識を持っていますか
(n=142)



あなたは十分な知識を持っていますか
(n=142)



2.8 責任あるダイヤモンド採掘

組合員達が正しい知識を持っているかを確認するため、彼らが思う責任あるダイヤモンド採掘とは何かを説明してもらった。その回答は以下である。

「責任あるダイヤモンド採掘とは何かを説明してください」(n=5)

組合が思う「責任あるダイヤモンド採掘」の内容
- 資金提供者を得て、必要な機材・装備を全て購入し、採掘を開始すること。 - 責任ある採掘とは、労働者を手配し、作業中に食事を提供し、健康管理を行うことである。 - 首長を通じて有効な採掘免許を取得すること。

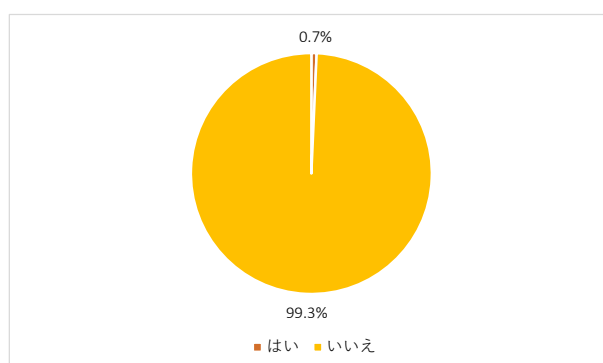
この回答を得た後、調査チームが責任あるダイヤモンド採掘の重要なコンセプトを説明した。説明したコンセプトは以下であり、重要なのは責任ある採掘を行うことで、効率よい採掘且つ人権・環境に配慮した採掘になるという点である。

- ・採掘開始前に、採掘免許を取得する。
- ・やみくもに土地を採掘するのではなく、探査を実施しダイヤモンドがある見込みの高い土地のみを採掘することで、土地へのダメージを最小限にする。
- ・採掘活動において、18歳未満の子どもを働かせない。
- ・採掘活動において、大人であっても強制的に働かせない。
- ・採掘が終わった土地は埋め戻し、農業など他の用途に使用できるようにする。
- ・埋め戻しを効率よく行う手法を導入する。

その後、回答者達に責任ある採掘を実践しているかを質問した。

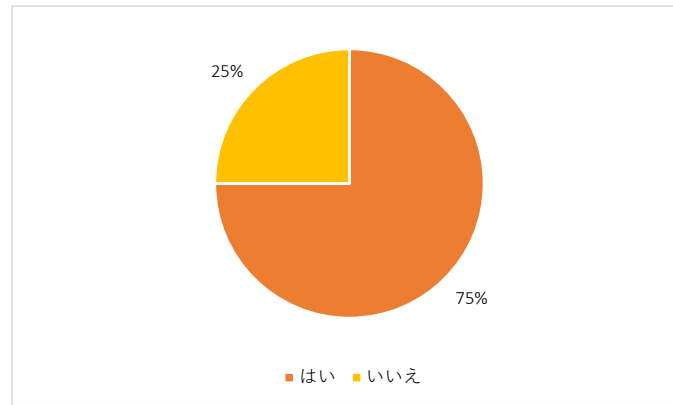
全回答者（142名）のうち、責任あるダイヤモンド採掘を実践しているかとの質問に対し、「はい」と答えたのは0.7%（1名）で、「いいえ」と答えたのは99.3%であった。

あなたは責任ある採掘を実践していますか (n=142)



また、回答者の75%（107名）が、責任あるダイヤモンド採掘について学びたいかという質問に「はい」と答え、25%が「いいえ」と答えた。

あなたは責任ある採掘を学びたいですか (n=142)



「はい」の理由

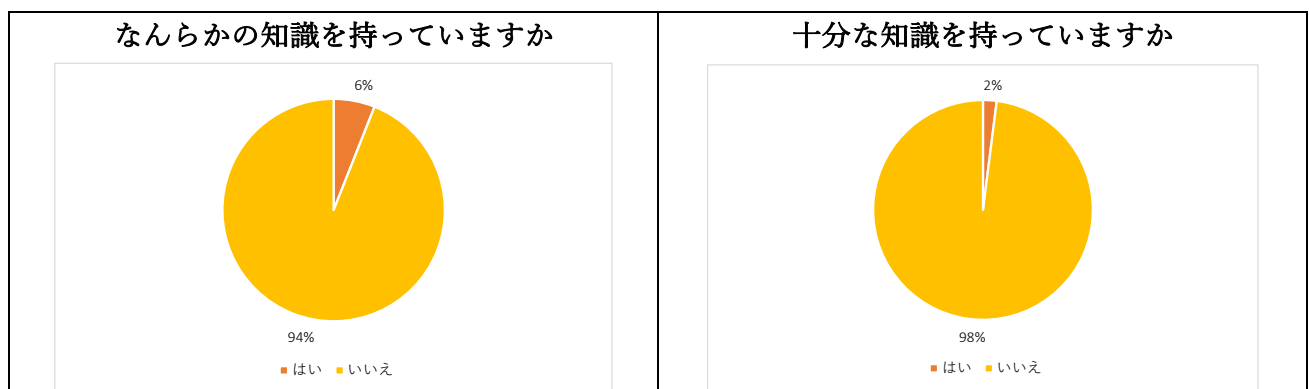
- 労力、費用、労務を削減し、採掘量を増やすために必要だと思うから。
- 私は変化の担い手となり他者に教えることができるから。
- 収入を増やすために学び実践したいから。
- 間違った人物に販売しないことが重要で、必要な手順に従い、良き採掘者になりたいから。
- 採掘に関する理解を深め、適切に採掘できるようになりたいから。
- 安全面も含め、適切な知識を得たいから。
- 正しい知識を得て収入を増やしたいから。夫が3人の妻を持つ場合や年配の夫が家族を支えられないので、自分が子供たちを支えたいから。

「いいえ」の者は理由を述べなかったが、調査チームが回答者達を観察したところ、「採掘免許を得るための資金がない・手間がかかる」と思っている回答者達が多い印象を受けた。

2.9 ダイヤモンド原石の価値評価

回答者の6% (9名) が、ダイヤモンドの評価に関して「なんらかの」知識があると思うかという質問に「はい」と答え、94%が「いいえ」と回答した。また、回答者の2% (3名) が、ダイヤモンドの評価を行うのに「十分な」知識があると思うかという質問に「はい」と答え、98%が「いいえ」と回答した。

ダイヤモンド原石の評価に関する質問(n=142)



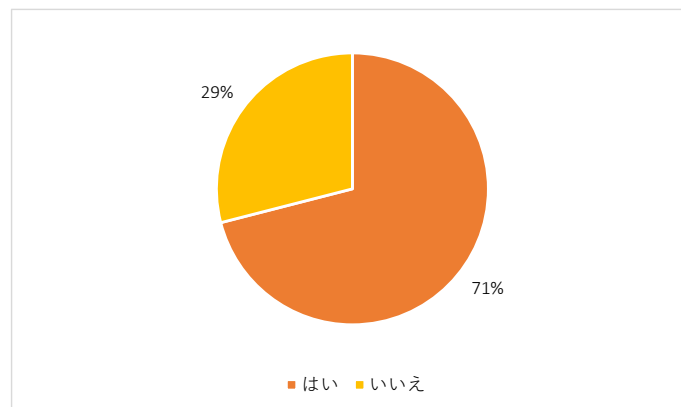
「通常、ダイヤモンドの価値をどのように評価しているかを説明してください。」と質問したところ、5組合は以下のように回答した。

通常のダイヤモンドの価値の評価方法 (n=5)

回答
- ダイヤモンドは他の石とは一線を画すため、見分けがつく。ダイヤモンドかどうかは判別できるが、価値については何も知らない。組合員のうち 2 名は GIZ/GIA による原石評価の研修を受けたことがある。 - 販売開始時に高値を設定して価格を推測しているだけで、実際の価値は把握していない。 - ダイヤモンドを売却する前に家族と価値について相談する。 - 評価を行っておらず、単にダイヤモンドを見て適当に推測するだけである。買い手がダイヤモンドを評価し価格を提示する。女性たち（組合員）は発言権を持っていない。集団で買い手を訪問しても、買い手側は通常 2 名までしか部屋への立ち入りを許可しない。 - カラット、カラー、クラリティは通常の見と経験で判断する。過去の経験をもとに、カラー、クラリティ、シェイプを見てダイヤモンドを評価する。

回答者（142 名）のうち、71%（101 名）がダイヤモンドの価値の評価方法を学びたいと挙手し、その理由を挙げた。

ダイヤモンド原石の価値評価を学びたいですか (n=142)

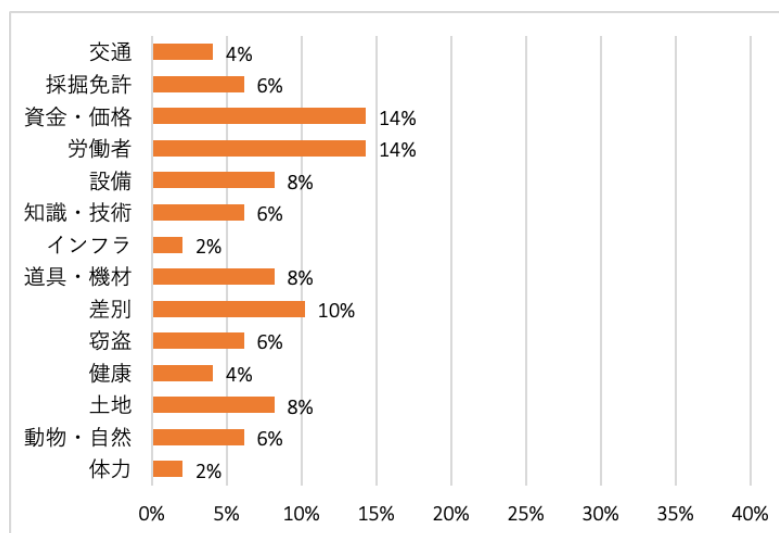


「はい」の理由
- 価格交渉の方法を知り本当に理解したいから。ダイヤモンドの価格設定や販売時に有利になる。 - ダイヤモンドの価値を見極めたい、そうすれば騙されない。その石がダイヤモンドかどうかを判断できる。 - 買い手に対抗できるよう（強い交渉力を持てるよう）知りたい。販売時に時々兄弟に事務所に同行してもらうが、兄弟は私たちの同意なしに自分の取り分を勝手に得る。私たちの中には、家族を養うのに十分な収入のない年配の男性や農民と結婚している者もあり、非常に苦しんでいるから。 - 継続的に騙されたくないから。ダイヤモンドの価値を知っていれば、価格交渉ができるようになる。ダイヤモンド採掘は私たちの生涯の仕事であり、ダイヤモンドの評価を理解することは私たちにとって非常に重要なことです。

2.10 主要な問題・課題

回答者には、村における女性ダイヤモンド採掘者または女性採掘組合が直面している主な問題・課題について尋ね、回答を12の分野に分類した。最も多かった回答の種類は「資金・価格」（14%）と「労働者」（14%）であった。次いで「差別」（10%）、「設備」（8%）、「道具・機材」（8%）、土地（8%）であった。「採掘免許」「知識・技術」「窃盗」「動物・自然」はそれぞれ6%、「交通」「健康」は4%、「インフラ」「体力」は2%だった

主要な問題・課題（n=49）



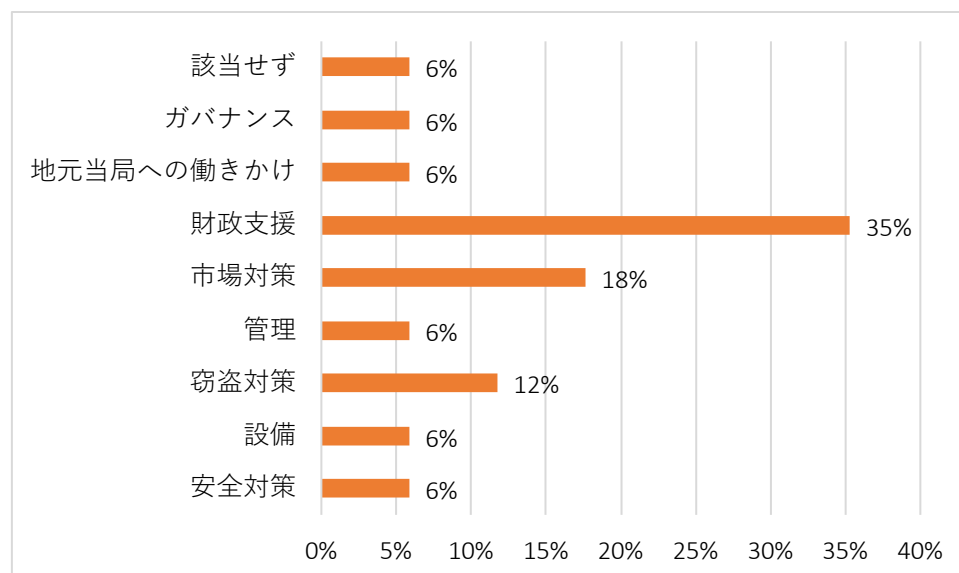
分類	挙げられた問題・課題
採掘免許	- 免許なしで採掘すると、鉱山当局に逮捕される可能性がある - 免許なしで採掘すると、採掘作業を停止させられ、道具を没収される
資金・価格	- ビジネスでの価格下落。予測が難しいため、町に持ち込んだらとにかく売らざるを得ない。 - 資金がない。 - 採掘プロジェクトの資金調達は最大の課題の一つであり、時には自宅にあるものを手放して資金を工面しなければならないこともある。 - 採掘を依頼して男性たちに支払うことが頻繁にあり、これが利益を減らしている。
労働者	- 労働の対価として男性たちに支払うが、彼らは働かない。 - 採掘や農地の草刈りを依頼して男性たちに支払うが、大抵の場合、男たちはお金を受け取るだけで仕事をしない。
設備	- 種子の適切な保管場所がない。 - 農場に柵がない。 - 水問題：村全体で手動ポンプ（井戸）が2基しかない。 - ほとんどの組合員が自宅にトイレを持っていない。
知識・技術	- ダイヤモンドの価値がわからない。 - カカオ栽培のスキルや知識が限られている。カカオを植えたが、すべて枯れてしまった。
インフラ	- キャッサバなど農産物の信頼できる市場が存在しない。

道具・機材	- 作業用具（ナタ、鍬）が不足しており、作業員は常にナタを要求してくる。 - 十分な作業用具がない。
差別	- 私たちは茂みの中で一人で採掘していたから、暴行や性的嫌がらせを受けた。 - 女性が採掘など特定の分野で働くことを認めない差別。女性は従うしか選択肢がない。 - 男性は女性を搾取し、自分たちが土地の所有者だと主張して採掘現場から私たちを追い出す。
窃盗	- 人々が私たちの作業道具や農産物を盗む。
健康	- 採掘作業中は長時間水の中で作業するため、風邪やその他の病気にかかりやすい。
土地	- 既に一度採掘済みの地域で採掘しているため、あまりダイヤモンドが見つからない。 - この村の女性は、首長や当局と協議した上で、村から直接土地を借り受けることができるはずだが、実行していない。
動物・自然	- 野生動物が農場の作物を荒らす。 - 雨が多すぎたことによる不作、落花生など植え付けの遅れ。
体力	- 多くのダイヤモンドを得るには深く掘らねばならず、これは女性採掘者にとって困難な作業である。
交通	- 村の中心部から農場まで 12 マイル（約 19km）あり、農場への移動や道具の輸送は深刻な課題である。

2.11 問題・課題の解決

上記の問題や課題の緩和に関して、組合としてそれらの問題解決のために何を行ったかを質問した。回答を 7 つの領域に分類し、最も多かったのは「財政支援」で 35%であった。次いで「市場対策」（18%）、「窃盗対策」（12%）であった。「ガバナンス」「地元当局への働きかけ」「管理」「設備」「安全対策」はそれぞれ 6%であった。

上で挙げた問題を解決するため、組合はどのような努力をしていますか（n=17）

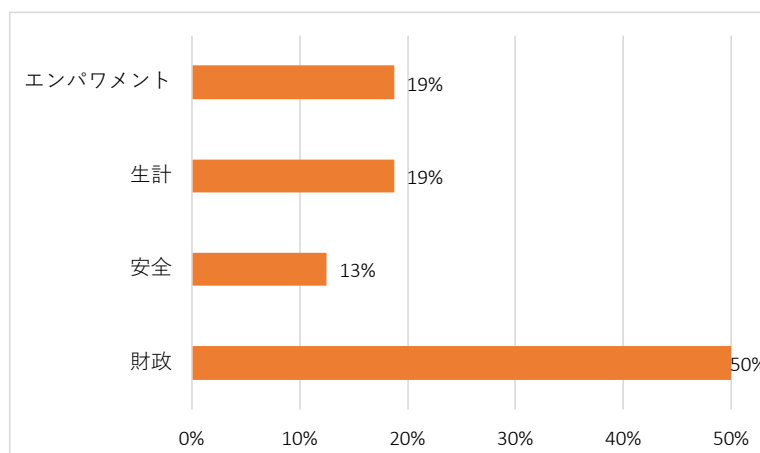


具体的には以下の解決策を実行している（した）とのことであった。

分類	組合が実行している（した）解決策
財政支援	- 地域の採掘パトロール委員会に金銭を渡すことで、委員が私たちの道具を没収したり採掘作業を妨害したりするのを防いでいる。 - 労働者への賃金は、（前払いではなく）作業完了後にのみ支払う。 - 毎週日曜日、採掘用のシャベルや必要な道具を購入するため、各組合員から5レオンを集金する。
ガバナンス	- 政府は違法採掘者を減らすため、チーフダムに資金を還元する。 - 農業については、田舎の方の村の方が窃盗に対する厳しい規則があるため、盗難防止のため村へ移住して耕作することにした。
市場	- 利益が上がらない事業をしていると気づいた時、私たちは行う事業を変える。 - パーム油は安価な時期に買い付け、品薄で価格が高騰した時に販売する。
管理	- 農業：私たちは全収穫物を販売するのではなく、次の農期に植える種をとっておくようにしている。
窃盗対策	- 伝統的なお守りを農場に設置したが、泥棒が尿をかけてお守りの効果を無効化した。盗難を防ぐのは容易ではない。
設備	- 野生動物の畑荒らしを予防するため、農作業時に柵の設置作業をしている。
安全対策	- 採掘時に、チームで行動することでハラスメントやレイブを予防している。

「これらの対策の結果として、どのようなプラスの効果が見られましたか」という質問を行い、得た回答を7つの分野に分類した。最も多かった回答の分類は「財政」で（50%）であった。2番目に多かった回答は「エンパワメント」と「生計」（それぞれ19%）であった。次に、「安全」（13%）であった。

それらの対策の結果、どのようなよい効果がありましたか（n=16）



具体的に挙げられた効果は以下である。

分類	解決策の実行によるよい効果
----	---------------

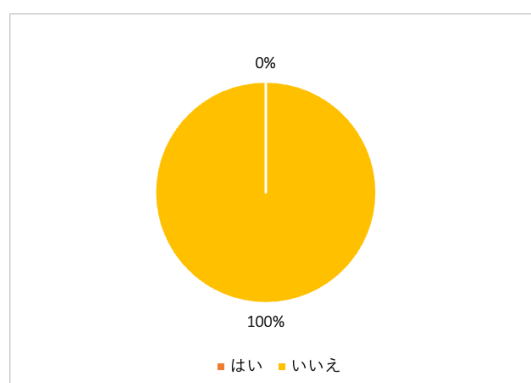
財政	- 利益を分配して子供の学費を支払い、一部を採掘に投資し、組合員に融資する。 - 利益を組合員に分配し、子どもの学費を支払い、その他の問題を解決する。 - 組合員家族の死亡・事故・卒業時などに、組合が組合員を支援する。 - 結束し、収益の分配後、子どもの学費を支払う。 - 採掘による収益を組合の貯金箱に入れ、子どもが学校に入学する際にお互いを支援する。
エンパワメント	- 組合は組合員に融資を行う。これにより、すべての組合員が個々の問題を解決できるよう支援している。 - 私たちは各自の問題を解決している。
生計	- 農産物を売って、子どもを養うお金を稼ぐ。 - 農業により十分な食料を得ている。
安全	- 私たちが立ち向かったおかげでレイプは止んだ。今は組合でチームとして活動している。

2.12 組合活動の資金源

全5組合が、外部者・外部団体、NGO、政治家等の支援を受けて実施した活動やプロジェクトがあるかとの質問に対し、「いいえ」と回答した。

「いいえ」と回答したものの小規模の研修や支援を外部から受けたことがある組合が2組合あることが判明した。

外部（例：政治家、NGO等）からの資金を得て実施した活動やプロジェクトはありますか（n=5）



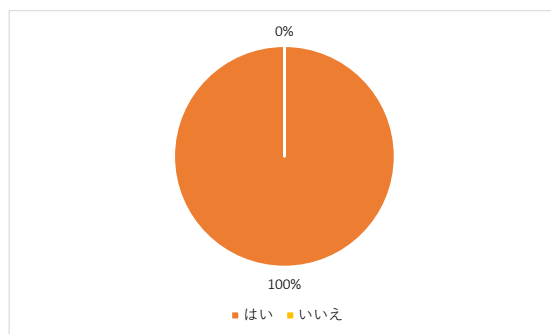
この質問に対して挙げられた詳細は以下のとおりである。

詳細・コメント
- (1) 女性対象の研修（心理社会的支援）、組合の法的地位の取得。 - (2) アイルランド政府機関による援助：貯金箱、帳簿、電卓、定規の購入。 - 私たちは組合員の自力のみで活動を行っています。 - 外部からの支援は一切受けていません。

2.13 DFP プロジェクト

リベリアにおける DFP のプロジェクトと活動方針の説明を行った後、このようなプロジェクトの実施に興味があるかを尋ねたところ、全 5 組合が、理由を添えて自村でも同様のプロジェクトを実施することに関心があると回答した。

DFP がリベリアで実施しているようなプロジェクトをこの村で行いたいですか (n=5)

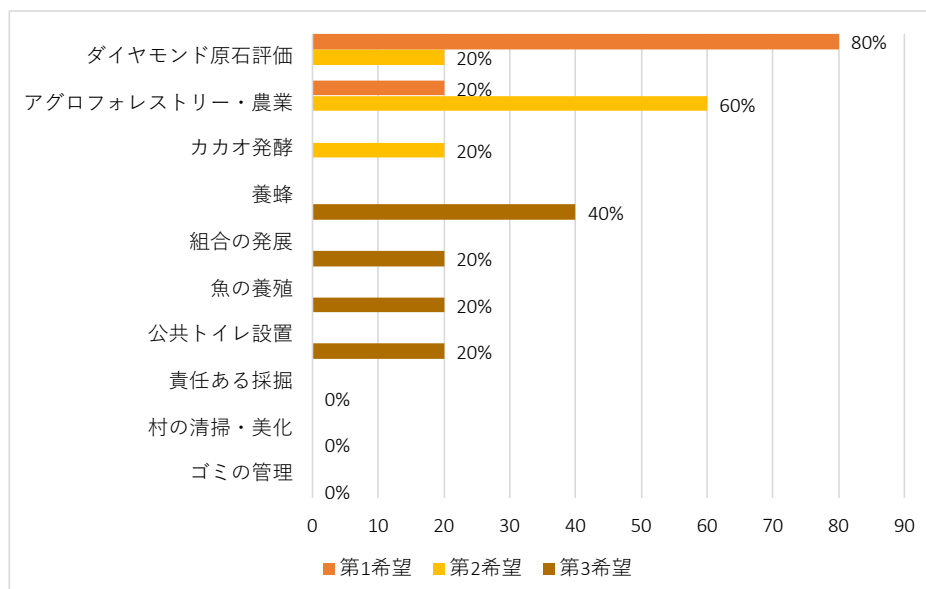


プロジェクトを実施したい理由として以下が挙げられた。

「はい」と回答した理由	
-	責任ある採掘やダイヤモンド原石評価に関する知識を得たい。経済的機会やエンパワーメントを向上させ、正しい方法で活動したい。
-	地域にトイレがない。
-	ダイヤモンド原石評価や採掘の仕組みを理解し、騙されないようにしたい。
-	貧困を減らし、経済的自立力を高めたい。
-	私たちはエンパワーメントされ、他の女性達をエンパワーできるようになりたい。そうすれば、ダイヤモンドを評価できるようになる。採掘は私たちの生計を立てる仕事だからだ。さらに、カカオ畑の雑草を駆除するために使う化学薬品がカカオの木も枯らすという情報を得た。そのため、責任ある農業を学びたい。

5 組合は、最も関心のある DFP プロジェクトの優先順位トップ 3 とその理由を回答した。80% (4 組合) が「ダイヤモンド原石評価」を第 1 優先に選択し、20% (2 組合) が第 2 優先に選択した。次に、「アグロフォレストリー・農業」を第 1 優先事項として選択したのは 20% (1 組合)、第 2 優先事項として選択したのは 80% (4 組合) だった。「カカオ発酵」は 20% (1 組合) が第 2 優先事項として選択した。40% (2 組合) が「養蜂」を第 3 優先事項として選択し、「組合の発展」、「魚の養殖」、「公衆トイレ」は 20% (1 組合) が第 3 優先事項として選択した。

どのプロジェクトに最も興味がありますか (第 1 希望から第 3 希望までを選択) (n=5)



プロジェクトを選択した理由として挙げたのは以下である。

プロジェクト	実施したい理由
ダイヤモンド原石評価	- 価格交渉を有利に進め、十分な利益を得たいから。 - 継続的に騙されたくないから。 - 買い手による長年の搾取から解放されたい。 - ダイヤモンドの評価方法を理解したい。 - 貧困削減を実現するため。 - 採掘方法について適切な意思決定を行いたいから。
アグロフォレストリー・農業	- 知識を得るためのアイデアが欲しい。 - 農業の生産性を高めるため。 - より多くの食料や作物を育て、収入を増やし、子どもたちを支え続けられるようにするため。 - 農業は収益性が高く、常に確実な収入が見込めるから。
カカオ発酵	- 当組合の中にはカカオ栽培に携わる者もいるため、今知らないカカオ発酵について学びたい。
養蜂	- ハチミツを生産し、収益を得たい。
組合の発展	- 土地の利用が恒久的でないため。
魚の養殖	- 魚の養殖により収益をあげたい。また、魚を買わなくても食べることができるから。
公衆トイレの設置	- トイレがないことによる屋外排泄をやめるため。

責任ある採掘を選択した組合がなかったのは、責任ある採掘とダイヤモンド原石評価の違いをあまり理解しておらず、どちらも同じプロジェクトに入るといった組合が多かったためである。

付録2

組合員対象個別インタビュー結果

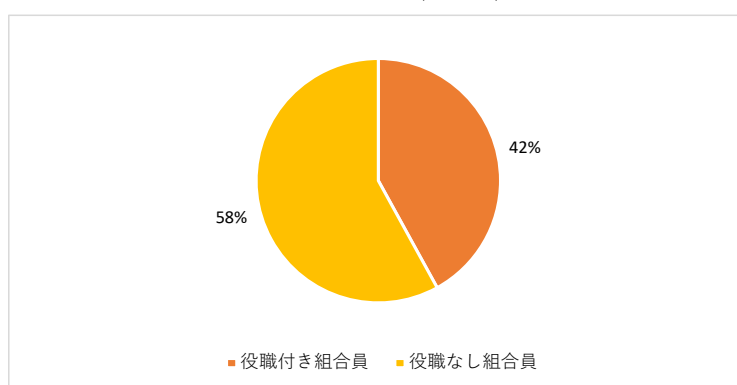
1. 回答者基礎情報

6つの女性採掘組合に所属する50名の会員が、以下に述べる質問に対して回答した。本調査は5組合を主対象としたが、テグロマと常に共に活動をしているテウオ組合の組合員も来場し、「どうしてもインタビューを受けたい」と主張したため、テグロマに割り当てていた10名のうち3名をテウオに割り当てて個別インタビューを実施した。

No.	組合名	和文短縮名	回答人数
1	Muamuma Female Miners Cooperative Society	ムアムマ	10名
2	Tegloma Female Miners Cooperative Society	テグロマ	7名
3	Tewor Female Miners Cooperative Society	テウオ	3名
4	Kwedondonyah Association in Artisanal Mining Cooperative Society	クウェドンドンヤ	10名
5	Tankoro Female Miners Cooperative Society	タンコロ	10名
6	Cho-Chendeh (Fine Dream) Women's Association in Artisanal Mining	チョチェンデ	10名
合計			50名

各組合から個別インタビューされる10名には、役職付きと役職のない組合員及び年齢が低い組合員と年配の組合員の両方を含めることとした。組合における役職について、回答者の42%がリーダーであり、58%が一般組合員であると回答した。

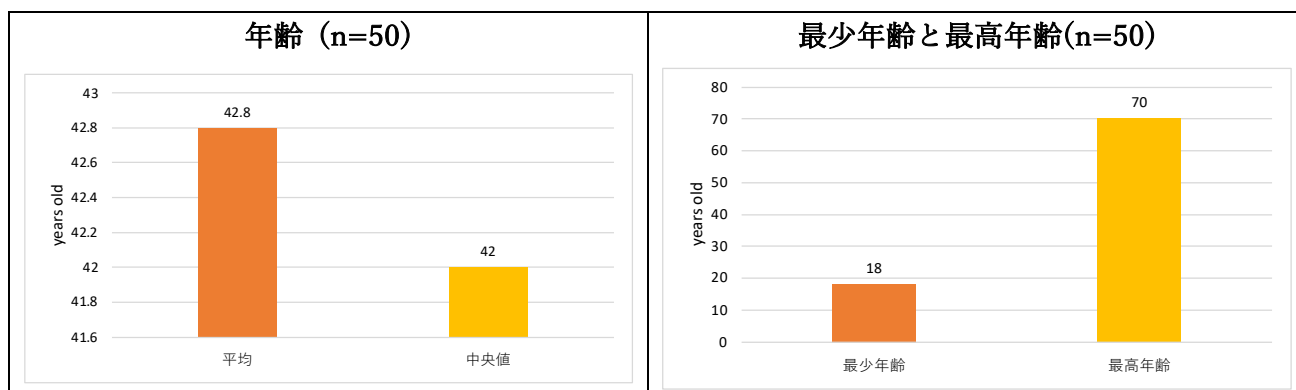
役職の有無 (n=50)



宗教は、50名のうち42%がキリスト教徒、58%がイスラム教徒であった。部族別では、46%がコノであった。次に多いのはメンデで38%であった。テンネは6%、リンバ、キシー、マンディンゴはそれぞれ2%であった。



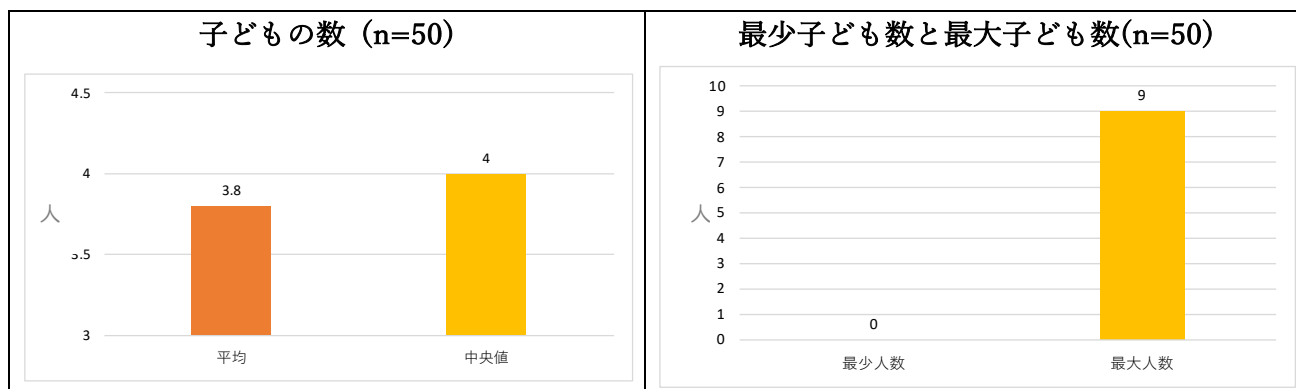
回答者の平均年齢は 42.8 歳、中央値は 42 歳であった。最小年齢は 18 歳、最大年齢は 70 歳であった。



配偶者については、20%が独身、44%が既婚、18%が死別、18%が離婚したと回答した。教育については、56%が教育を一切受けたことがなく、26%が義務教育中退、4%が中学校卒業、8%が高校中退と、1991 年から 2002 年まで続いた内戦の影響もあり、読み書きできる組合員が少ない。

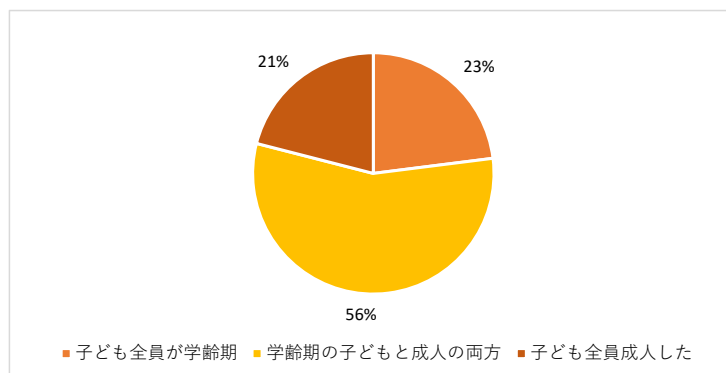


回答者の平均子ども数は 3.8 人、中央値は 4 人であった。最少数子ども数は 0 人、最大は 9 人であった。



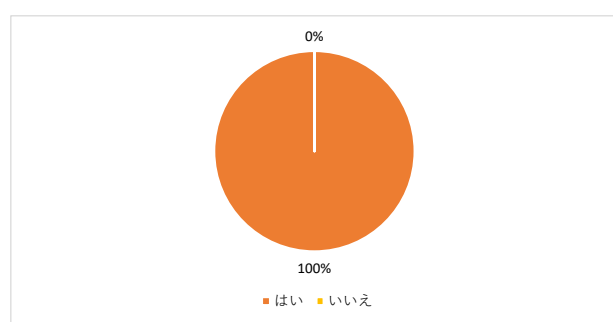
子供がいる回答者のうち、56%が「子供のうち何人かはすでに成人しており、他は依然として学齢期（18歳未満を指す）」と回答した。23%が「全員が学齢期」と回答し、21%が「全員が成人した」と回答した。

子どもの年齢（n=48）

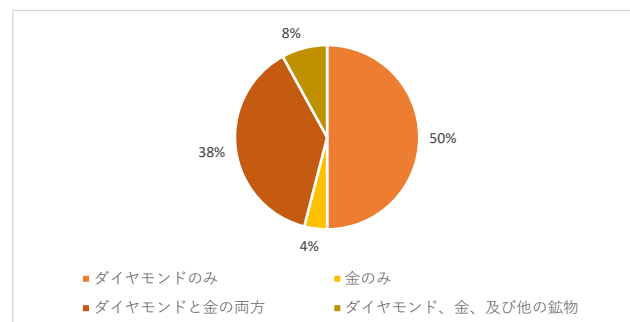


100%の回答者が採掘活動を行っていると回答した。採掘鉱物については、50%がダイヤモンドのみと回答した。次いで38%がダイヤモンドと金、4%が金のみと回答し、8%がダイヤモンド・金・その他の鉱物を採掘していると回答した。

採掘をしていますか（n=50）



はいの場合、何の鉱物を採掘していますか（n=50）

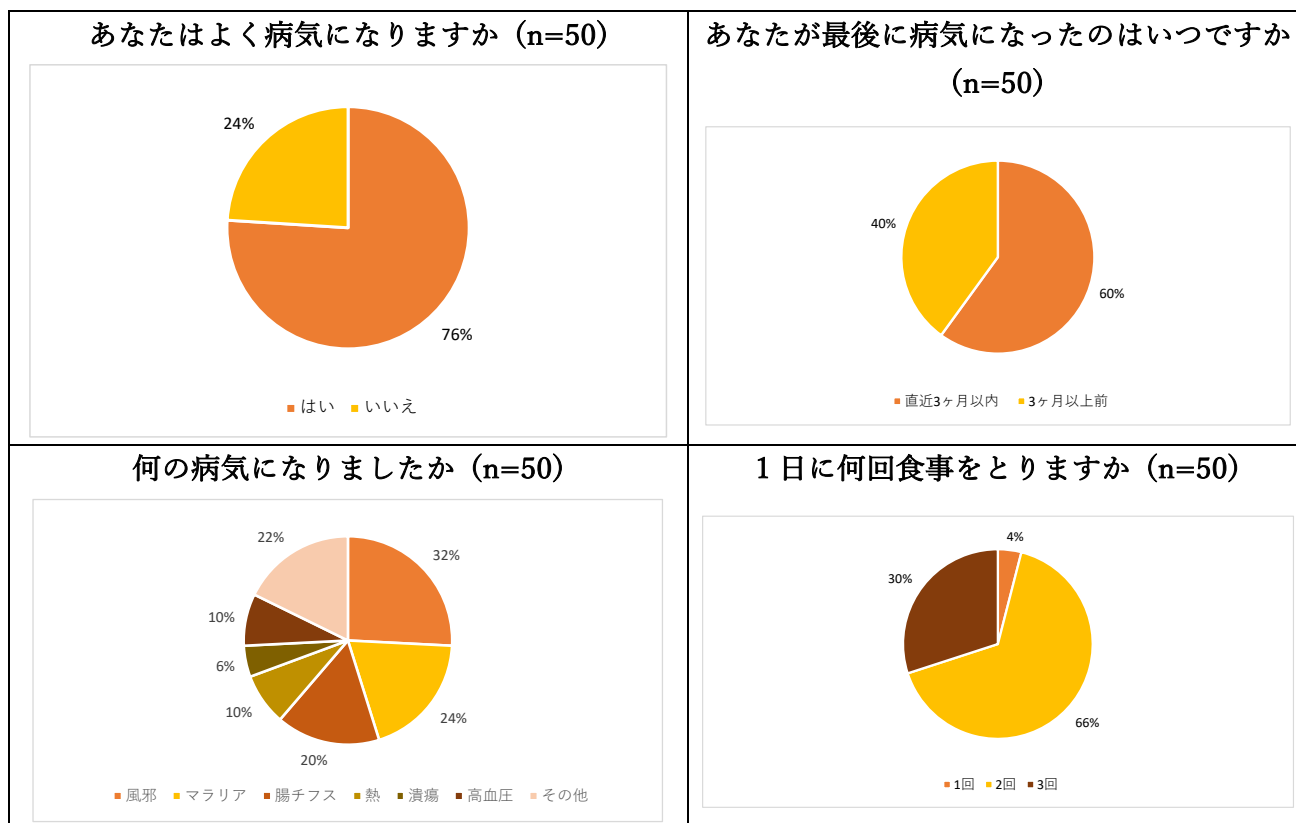


2. 生活状況

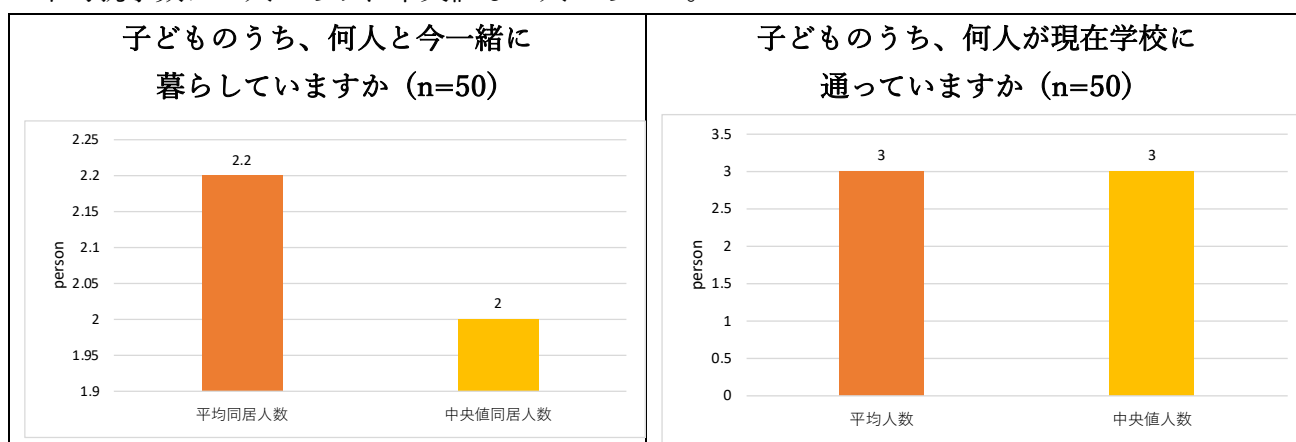
回答者の76%が「よく体調を崩す」と答え、24%が「そうではない」と答えた。過去3ヶ月間に実際に体調を崩した回答者は60%、体調を崩さなかった回答者は30%であった。先の回答結果と比較すると、最近（過去3ヶ月以内）に体調を崩した回答者の数は、自己認識よりも低い。

回答者が最も多く罹患した病気は「風邪」（32%）で、次いで「マラリア」（24%）であった。「その他」は22%を占め、その内訳は歯痛、側腹痛、腹痛、眼痛、頭痛、腰痛、足のむくみ、糖尿病、片頭痛などであった。次に「腸チフス」が20%、「発熱」と「高血圧」がそれぞれ10%であった。「潰瘍」は6%であった。

食事について、回答者の66%は通常1日2食と答え、30%は1日3食と回答した。1日1食と答えたのは4%であった。

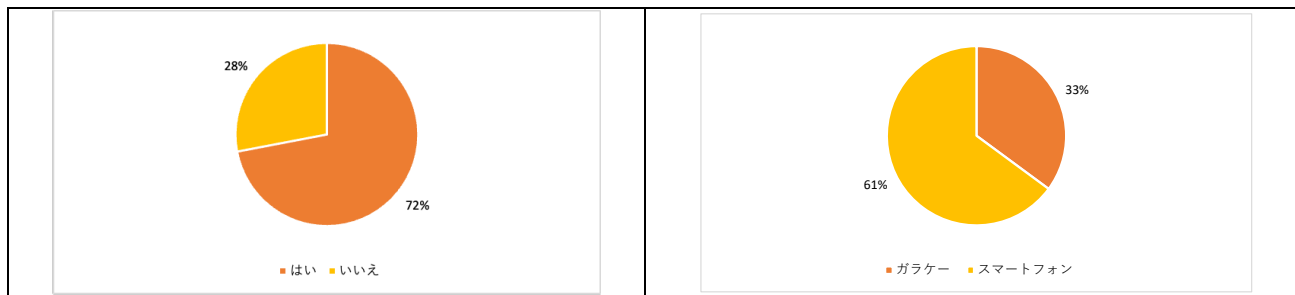


回答者と同居している子供の平均数は 2.2 人、中央値は 2 人であった。回答者の子供の回答時点での平均就学数は 3 人であり、中央値も 3 人であった。



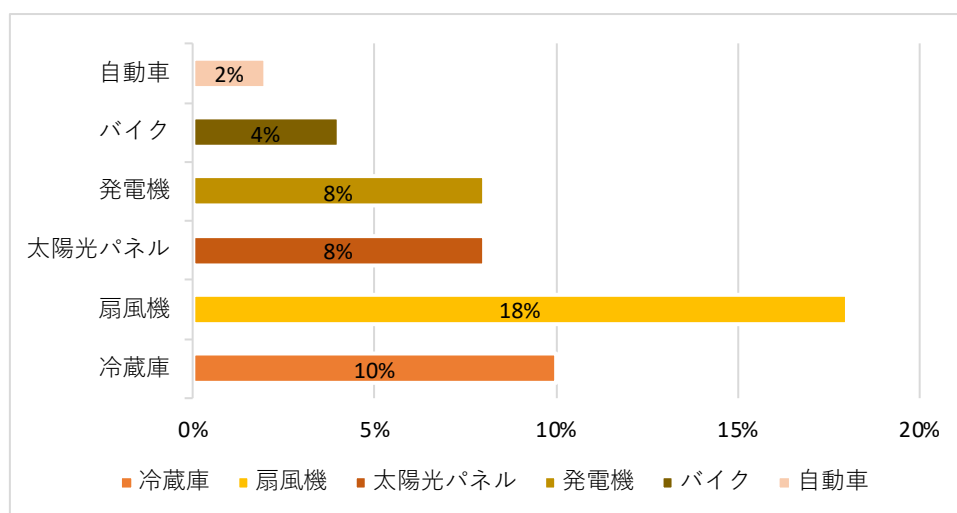
回答者の 72% (36 人) が携帯電話の所有について「はい」と答え、28%が「いいえ」と回答した。携帯電話を所有する回答者のうち、33%がベーシックな携帯電話（ガラケー）を、61%がスマートフォンを所有している。調査チームが見たところ、アンドロイドの安価なスマートフォンを持つ者が多いようであった。

電話を持っていますか (n=50)	はいと答えた場合、どの種類の電話を持っていますか (n=36)
---------------------------------	---

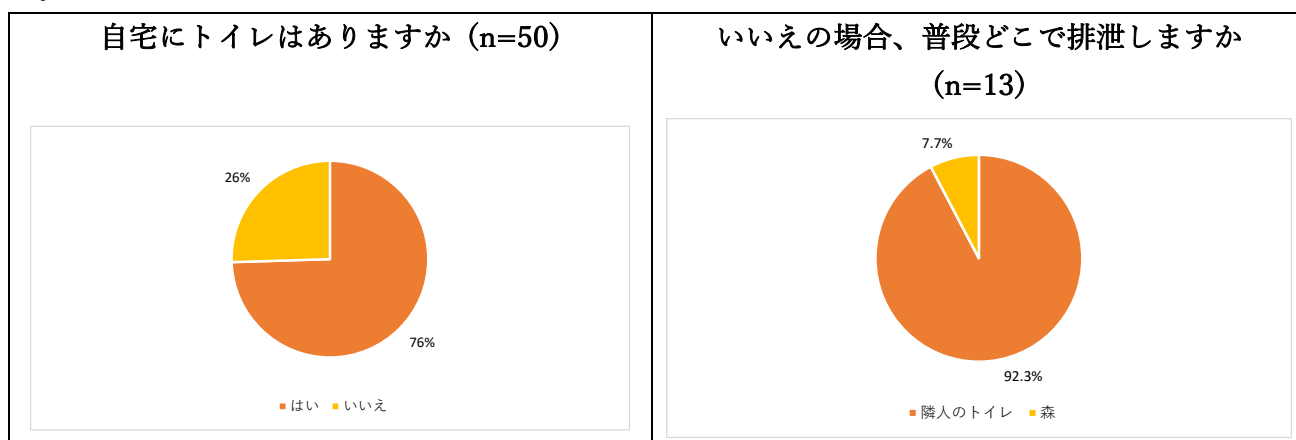


回答者またはその配偶者が所有しているものを質問したところ、最も多いのが「扇風機」(18%)、次に「冷蔵庫」(10%)であった。「ソーラーパネル」と「発電機」がそれぞれ8%を占めた。「バイク」は4%で、最も普及率が低かったのは「自動車」(2%)であった。また、隣国のリベリアとは異なり地方の村まで電気が通っていることが多いので、発電機やソーラーパネルがなくても生活に大きな支障はない様子であった。

あなたまたはあなたの配偶者が持っている品物を教えてください (複数選択可) (n=50)

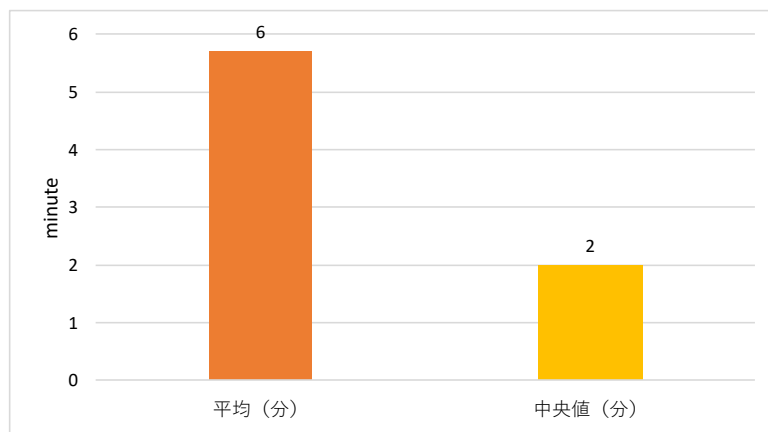


自宅にトイレがあるかとの質問に回答者の76%が「はい」と答え、26%が「いいえ」と回答した。自宅にトイレがない回答者のうち、92%は隣人のトイレで排泄し、7.7%は茂みで排泄すると回答した。

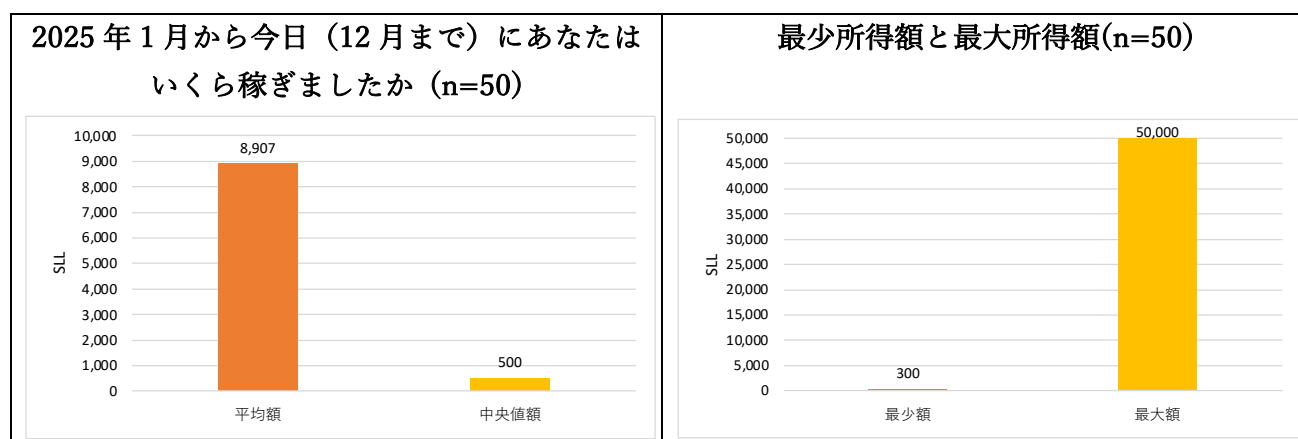


回答者の自宅から最寄りの井戸までの平均所要時間(分)は6分、中央値は2分であった。

一番近い井戸まで自宅から何分かかりますか (n=50)



2025 年 1 月から 12 月までの所得（組合員自身が稼いだ金額）を質問したところ、平均所得は 8,907 レオンで、中央値は 500 レオンであった。最低所得は 300 レオン、最高所得は 50,000 レオンであった。またそれらの額を米ドル、日本円に換算した金額を下表にまとめた。平均額と中央値の乖離が大きいことから、少数の高額所得者が平均を押し上げていることが分かる。



他通貨への換算額

	レオン (SLL)	日本円	USD
平均額	8,907	59,587	387.27
中央値額	500	3,345	21.74
最少額	300	2,007	13.04
最大額	50,000	334,500	2174.00

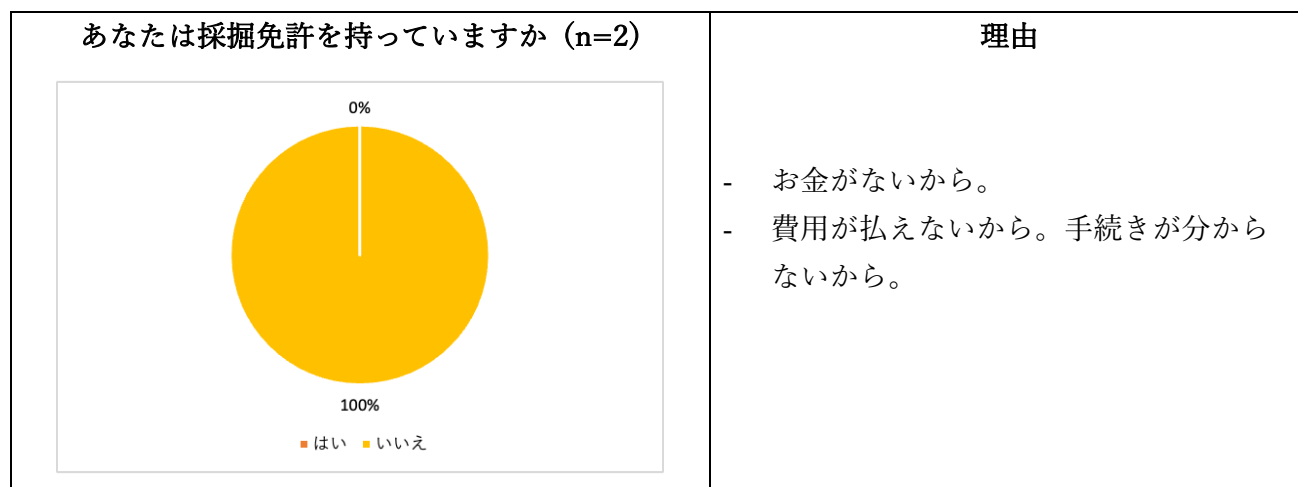
1 レオン=0.04348 米ドル、1 レオン=6.69 円で算出した。

3. ダイヤモンド採掘（個人で採掘している場合に回答）

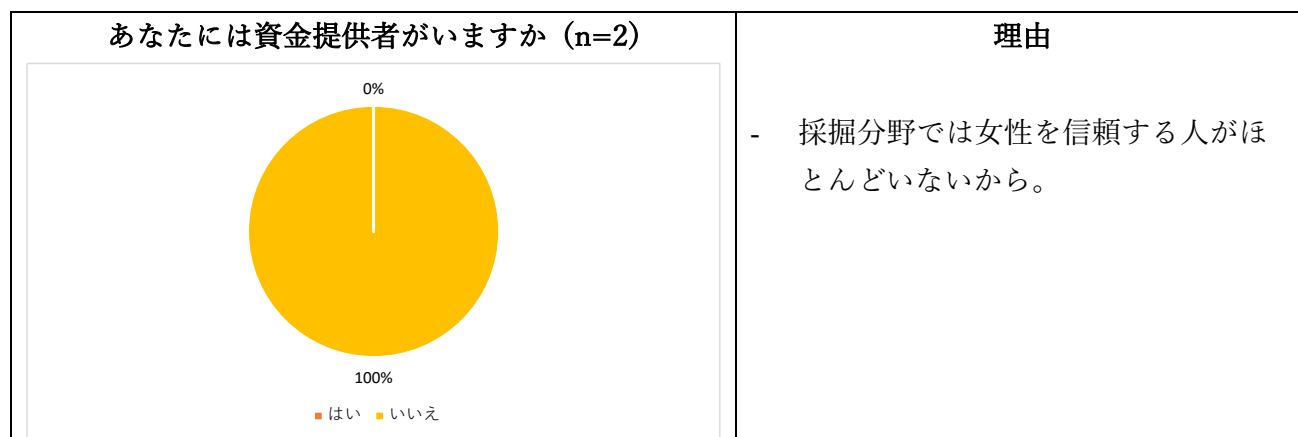
ここでは、個人で採掘しているという 2 名のみが回答した。組合として採掘している場合の回答は、グループインタビュー結果を参照されたい。

3.1 採掘免許

採掘免許について、100%（回答者 2 名）が採掘免許を所持していないと回答した。理由として、「費用がない」「手続きがわからない」ことが挙げられた。



資金提供者について質問したところ、100%（回答者 2 名）が「いない」と回答した。その理由として「女性採掘者を信頼する人はほとんどいない」ことが挙げられた。これは、肉体的な強さが求められる点だけでなく、大きなダイヤモンドを見つけた時には高額を得ることができる採掘は男性の仕事であると現地では見なされていることを物語っている。



3.2 ダイヤモンドの産出量

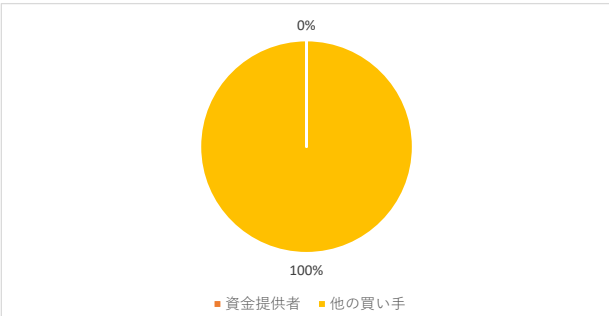
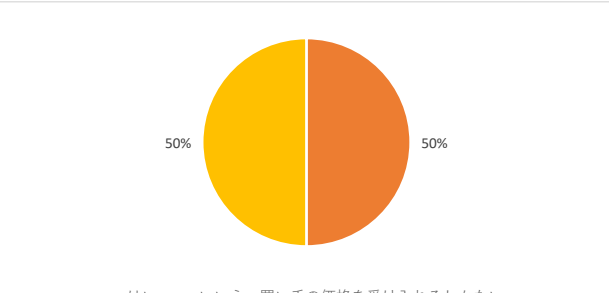
個人でも採掘すると回答した 2 名のうち 1 名の回答者が、ダイヤモンドの収量に関する質問に以下のように回答した。

2025 年 1 月から今日（12 月）までの間に、どのくらいのダイヤモンドを見つけましたか (n=1)

個数	1
合計カラット数	0.10 carat
合計販売価格	2,000SL (13,520 円、86.96 USD)
ダイヤモンドの特徴	カラー：ホワイト 透明度：非常に透明 形状：丸形

1 レオン = 0.04348 米ドル、1 レオン = 6.69 円を用いて算出した。

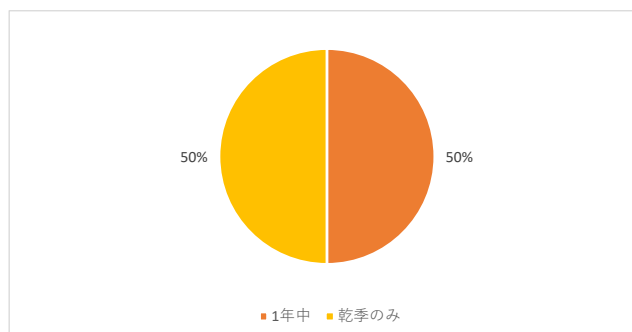
販売に関して質問したところ、個人でも採掘すると回答した 2 名が回答した。販売先に関して、100%（回答者 2 名）は通常、ダイヤモンドを「その他の買い手」に販売すると回答した。
50%（回答者 1 名）は自ら採掘したダイヤモンドを販売する際、「価格交渉を行う」と回答し 50%（回答者 1 名）は「価格交渉をしない」と回答した。買い手が提示する価格を受け入れざるを得ないためである。

通常、誰にダイヤモンドを売りますか (n=2)  0% 100% ■ 資金提供者 ■ 他の買い手	販売先 - Amondy というダイヤモンドの買い手 - 父親
ダイヤモンド販売時、買い手と価格と交渉しますか (n=2)  50% 50% ■ はい ■ いいえ、買い手の価格を受け入れるしかない	「はい」の理由 - 宝石に関する自身の知識に基づいて価格を設定する。長い議論の末、最終的な価格の合意に至る。 「いいえ」の理由 - 買い手が支払いたい金額を支払うだけだから。

3.3 採掘する季節

回答者の 50%（1 名）は一年中ダイヤモンドを採掘していると答え、50%（1 名）は乾季のみ採掘していると答えた。

いつダイヤモンドを採掘しますか (n=2)



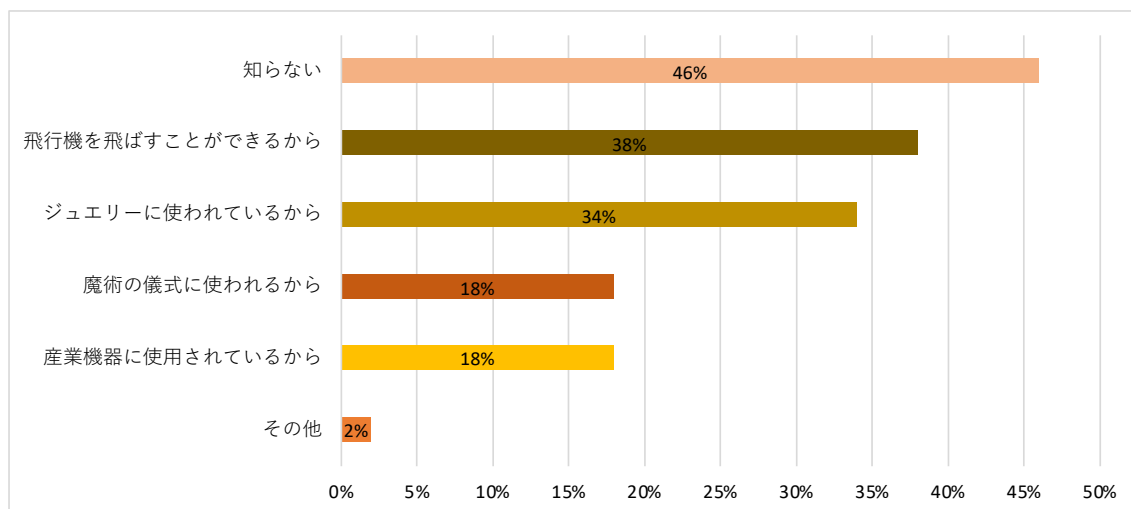
3.4 ダイヤモンドに関する知識・技術

回答者の知識を確認するため、本質問以降は 50 名全員が回答した。

「ダイヤモンドはなぜ価値があるのか？」という質問に対し、回答者は 6 つの選択肢から当てはまると思うものを選んだ（複数回答可）。最も多かった回答は「わからない」で 46%、次いで多かったのは「飛行機を飛ばすために使われるから」で 38%であった。次に「宝飾品に使用されるから」(34%)

が選ばれた。「工業用工具・機械に使用されるから」と「魔法的な目的で使用されるから」はそれぞれ18%だった。「その他の理由」を選んだのは2%だった。

なぜダイヤモンドには価値があるのですか（複数回答可）（n=50）

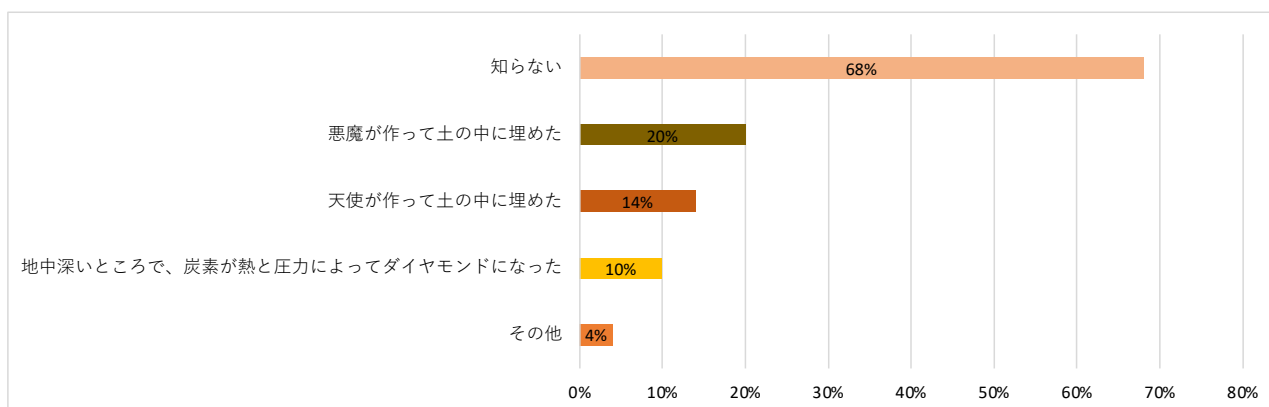


その他の回答に挙げられた内容

- 鏡（ガラス鏡）だから。

回答者はまた、「ダイヤモンドはどのようにして形成されるのか？」という質問に対し、5つの選択肢から回答を選択した（複数回答可）。68%が「わからない」と回答した。次に「悪魔が作り土の中に埋めた」（20%）、「天使が作り土の中に埋めた」（14%）が選択された。正しい回答である「地中深くで炭素が加熱・加圧された」は10%であり、最も回答率が低かったのは「その他の理由」（4%）だった。

3.6.2 ダイヤモンドはどのように形成されましたか（n=50）

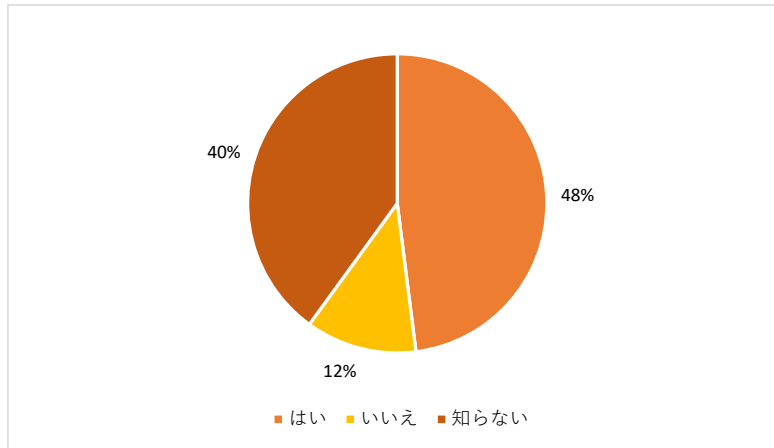


その他

- 神が創造した。

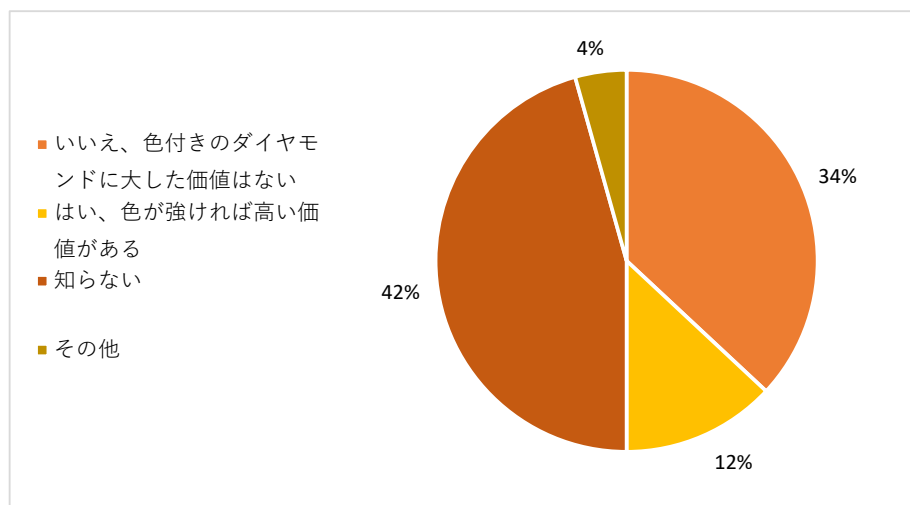
「ダイヤモンドの中には水があるか？」という質問に回答者の48%が「はい」と答えた。40%が「わからない」と回答し、正しい回答である「いいえ」を選択したのは12%であった。

ダイヤモンドの中には水が入っていますか (n=50)



「カラーダイヤモンド（赤、青など）は価値が高いですか？」という質問に対し、回答者の 42%が「わからない」、34%が「いいえ、カラーダイヤモンドはあまり価値がない」と回答した。12%が「はい、色が濃い場合は価値が高い」と答え、「その他」を選択したのは 4%だった。ここでも正しい回答を選択したのは 12%に留まり、知識不足を裏付ける結果となった。

色がついているダイヤモンド（レッド、ブルーダイヤモンド等）に高い価値はありますか (n=50)

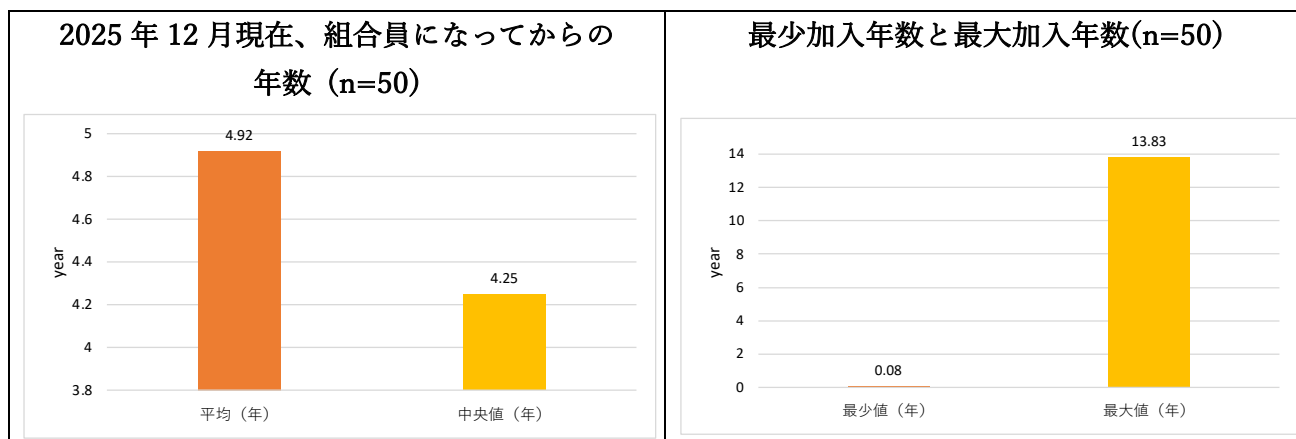


その他

- 無色の白いダイヤモンドだけが、高い価値がある。
- 赤いダイヤモンドと青いダイヤモンドには、価値がある。
- 青いダイヤモンドだけが、価値がある。

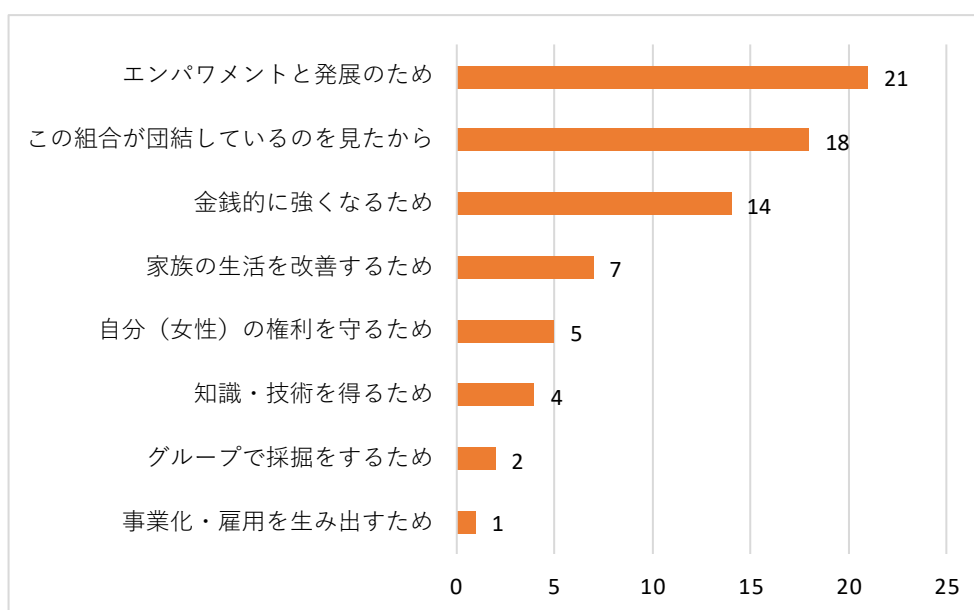
4. 組合活動

組合活動に関して、2025 年 12 月時点での回答者の組合加入平均年数は 4.92 年、中央値は 4.25 年であった。最小加入年数は 0.08 年、最大加入年数は 13.83 年であった。



回答者に組合に加入した理由を尋ね、その回答を 14 の分野に分類した。最も多かった回答は「エンパワメントと発展のため」(21 人)であった。次に「この組合が団結しているのを見たから」(18 人)、「金銭的に強くなるため」(14 人)、「家族の生活を改善するため」(7 人)、「自分(女性)の権利を守るため」(5 人)と続いた。「知識・技術を得るため」は 4 人、「グループで採掘をするため」が 2 人、「事業化・雇用を生み出すため」が 1 人であった。

なぜあなたは組合員になったのですか (n=50)の分類結果

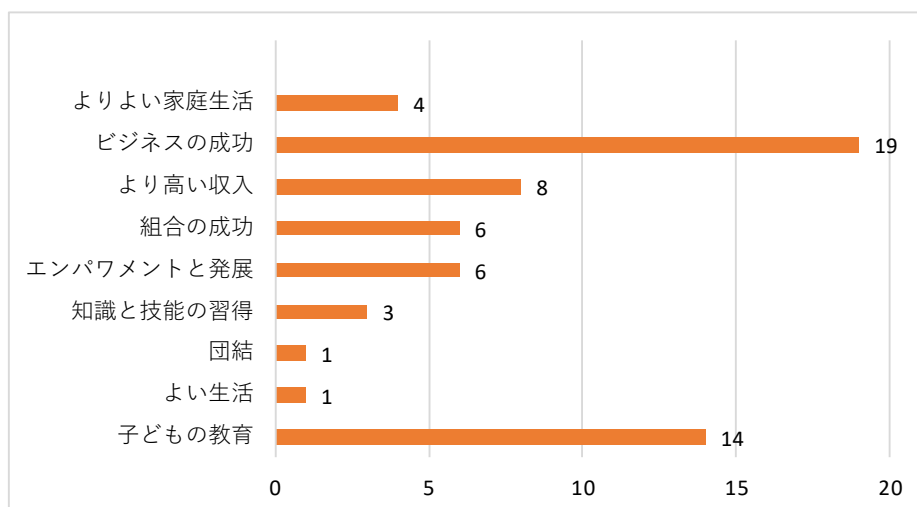


主要な回答	
-	個々の問題を解決するため
-	グループ活動が成長に役立つと信じているため
-	グループメンバーが経済的・精神的に支え合う姿を見たから
-	融資の機会を得るため
-	子供たちを支えられるようになるため
-	男性による私たち女性への性的虐待、暴力防止するため
-	ダイヤモンドと農業に関する知識を深めるため

制約がない場合の夢を大きな目標を質問しその回答を 9 分野に分類した。「ビジネスの成功」が 19 人で最も多く、「子どもの教育」が 14 人と続いた。次に「より高い収入」が 8 人、「組合の成功」

「エンパワメントと発展」がそれぞれ 6 人、「よりよい家庭生活」が 4 人、「知識と技能の習得」が 3 人、「団結」「よい生活」がそれぞれ 1 人であった。

もしあなたに制約がないとしたら、あなたの夢・大きな目標は何ですか (n=50)

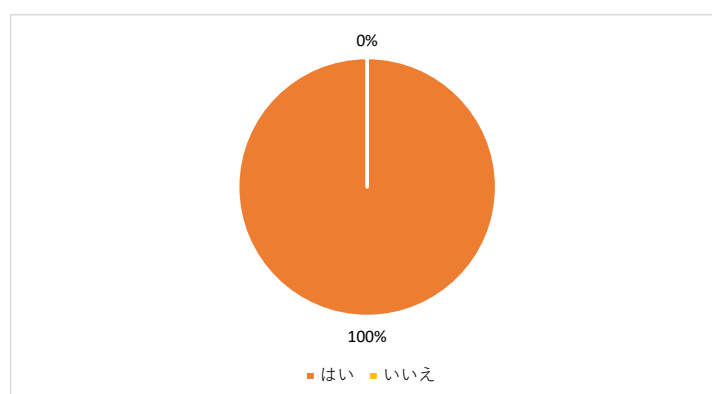


主要な回答

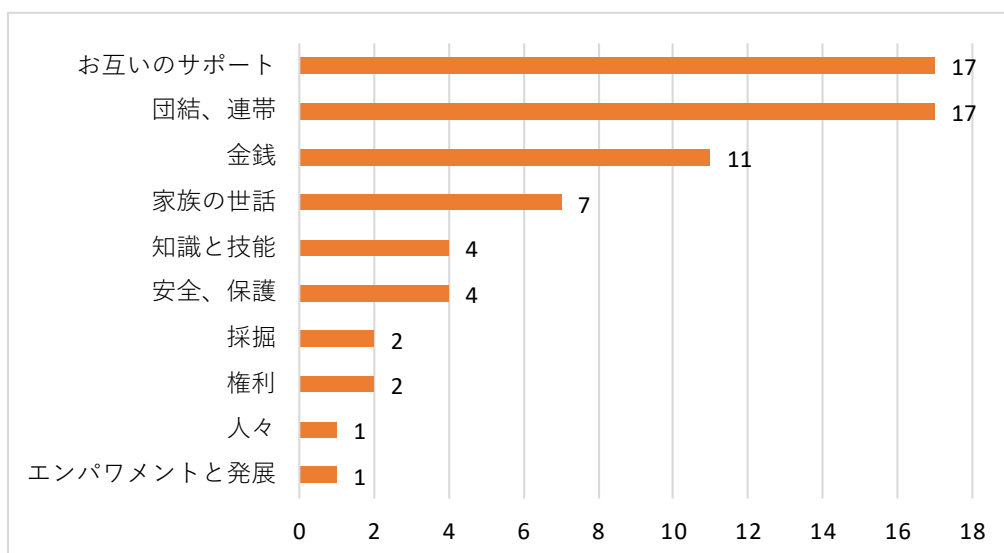
- 大物のビジネスマンになりたい
- グループのための国際ビジネスを再開したい。
- グループの収入を増やしたい。
- 町で最大かつ最も成功したグループになりたい。
- ダイヤモンド採掘と農業で成長し、子供たちに良い教育を受けさせるためにお金を稼ぎたい。
- ダイヤモンドの価値をもっと知りたい
- 最大の農業農場を持ちたい。

組合に加入してよかったかを質問したところ、100%が組合に加入してよかったと答えた。その理由を 12 の分野に分類したところ、最も多かったのが「お互いのサポート」「団結、連帯」でそれぞれ 17 人、次に「金銭」が 11 人、「家族の世話」が 7 人、「知識と技能」「安全と保護」がそれぞれ 4 人、「採掘」「権利」がそれぞれ 2 人、「人々」「エンパワメントと発展」がそれぞれ 1 人であった。

組合に入ってよかったと思いますか (n=50)



回答の分類結果

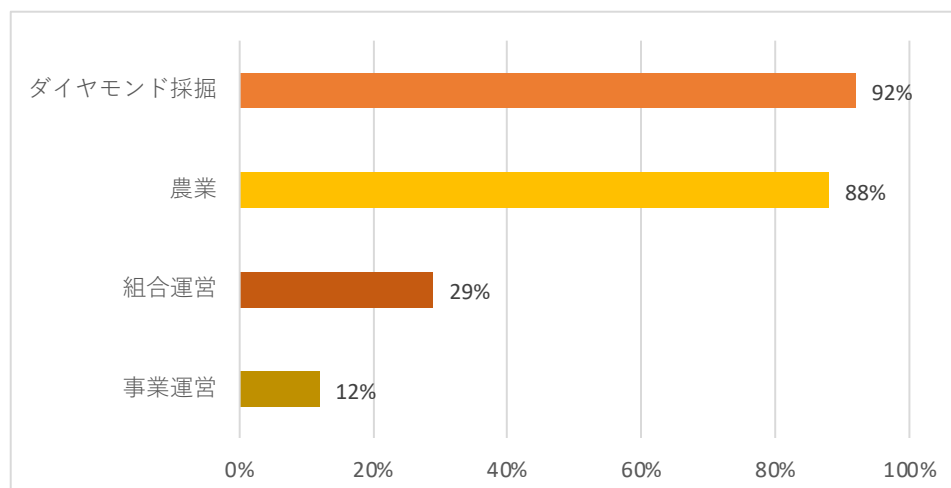


主要な回答

- 私は安全がなかったためにレイプされたが、今は組合のおかげで安全で守られていると感じるから。
- 互いに助け合っているから。
- 組合を通じて、私はダイヤモンド採掘業から経済的な利益を得ることができ、問題も解決することができたから。
- 組合は、農業活動の拡大や女性間の団結の促進に役立っているから。
- 家族や採掘について多くのアイデアを得ることができるから。
- 組合は団結して、組合員をサポートしているから。

回答者自身が関わっている上位 3 つの組合活動と、自分自身が組合の中で果たす役割について質問した。従事活動に関して最も多かった回答は「ダイヤモンド採掘」(92%)、2 番目に多かった回答は「農業」(88%)であった。回答者の 29% が「組合運営」に関わっており、12% が「事業運営」に関わっていると回答した。

様々な組合活動のうち、あなたが従事している活動は何ですか (n=50)

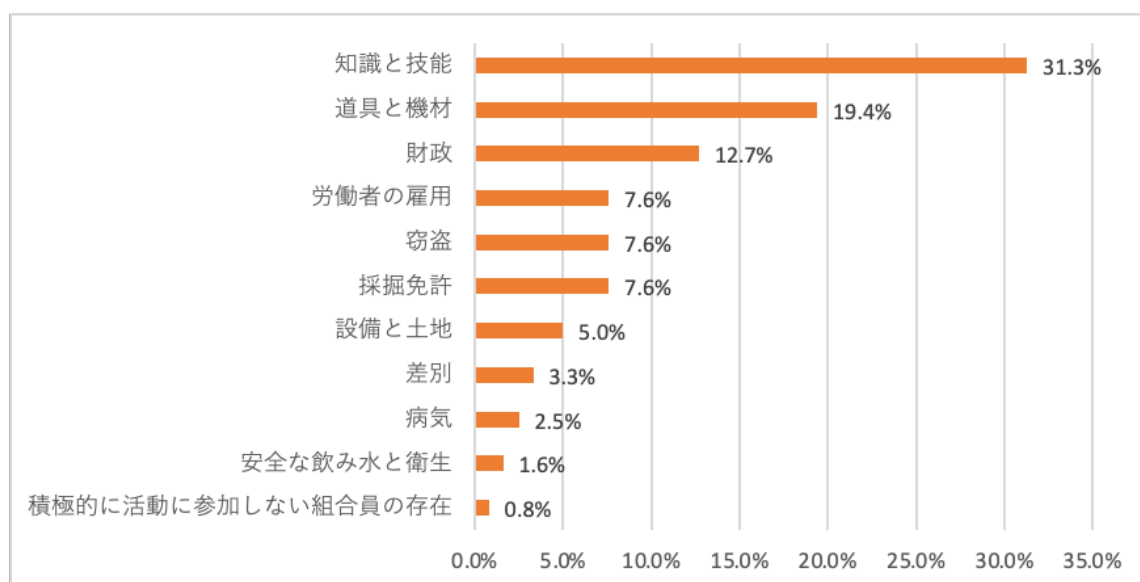


従事活動	回答者が従事している主要な作業
ダイヤモンド採掘	- 砂利の洗浄 - 砂利の運搬 - 砂利の加工
農業	- 食料の準備 - 苗、稲、作物、キャッサバの植え付け
組合運営	- 毎週、組合員から貸付金を回収する - 会議を主催し、組合員に結束を保つよう助言する - 組合の規則や規定を教える
事業運営	- お金を貯める箱の管理を行い、資金が安全に保管されるようにする - 事業全体の監督

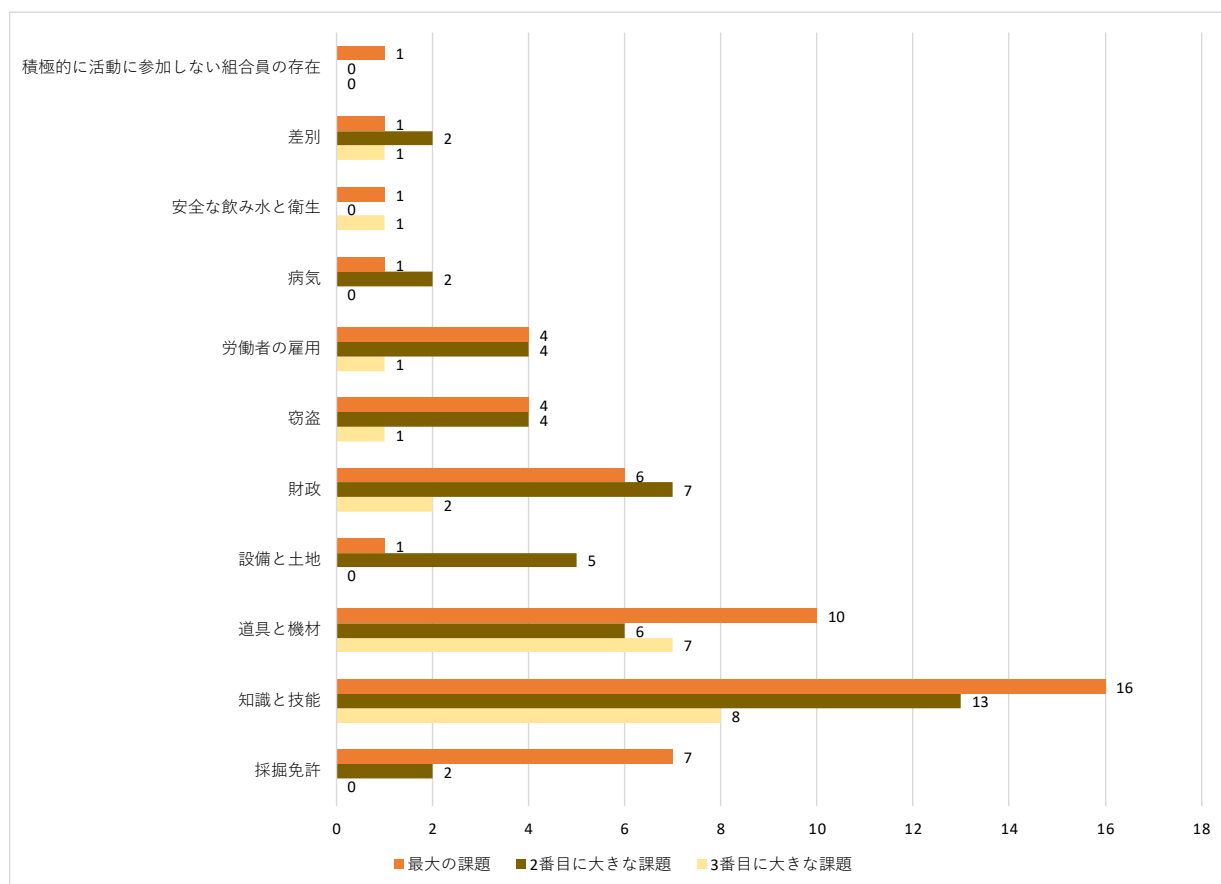
5. 問題・課題

次に、回答者には緊急に対処すべき問題や課題について尋ねた。回答者は「最大の問題・課題」「2番目に大きな問題・課題」「3番目に大きな問題・課題」を理由とともに回答した。これらの回答を11の分野に分類したところ、全回答（第1位から第3位の問題・課題の合計）で最も多かったのは「知識・技能」（31.3%）で、次いで「道具と機材」（19.4%）、「財政」（12.7%）、「労働者の雇用」「窃盗」「採掘免許」（各7.6%）、「設備と土地」（5%）であった。続いて「差別」「病気」（各3%）、「安全な飲み水と衛生」（1.6%）、「積極的に活動に参加しない組合員の存在」（0.8%）であった。

緊急に対応すべき問題・課題（1番目から3番目の合計）



緊急で対応すべき問題・課題は何ですか（1 番目、2 番目、3 番目を明示）（n=50）

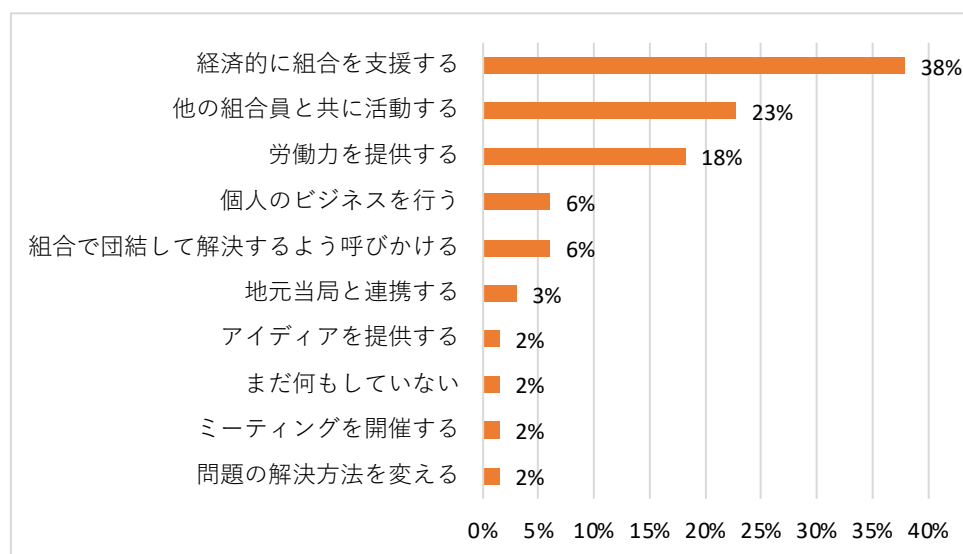


主要な回答	
採掘免許	- 許可がなく、自由に採掘できない。 - 採掘許可がないため、首長や鉱山当局とのトラブルがある。
知識と技能	- 適正な価格で売るために、価値の見極め方を理解する必要がある。 - ダイヤモンドの評価方法が分からない結果、取引で騙されてしまった。
道具と機材	- 道具がなければ、組合がプロジェクトを実施することは不可能だから。 - 農業活動の促進のために必要。
設備と土地	- 盗難防止と収穫後の廃棄防止のための設備が必要。
財政	- 一部の組合員は融資の返済が難しい状況にある。
窃盗	- 窃盗により、結局何も得られない。
労働者の雇用	- 男性に働いてもらうためにお金を払うと、彼らはその金を受け取って働くことを拒む。
病気	- 労働者たちは痛みを訴えている。
安全な飲み水と衛生	- ほとんどの住民は近くの茂みや川で用を足している。
差別	- 食事の準備を整えた後しか回答を得られない。
積極的に活動に参加しない組合員の存在	- 個人的な仕事と病気の子供の世話のために活動に参加しない組合員がいる。

6. 問題・課題の解決・緩和

上に挙げられた問題や課題の解決・緩和について、個人的にどのような取り組みを行っているかを尋ね、得た回答を 10 の分野に分類した。最も多かった回答は「経済的に組合を支援する」で 38% だった。次に「他の組合員と共に活動する」(23%)、「労働力を提供する」(18%)が続いた。「個人のビジネスを行う」と「組合で団結して解決するよう呼びかける」は、それぞれ 6%、「地元当局と連携する」は 3%、「アイデアを提供する」「まだ何もしていない」「ミーティングを開催する」、「問題の解決方法を変える」は、それぞれ 2% だった。

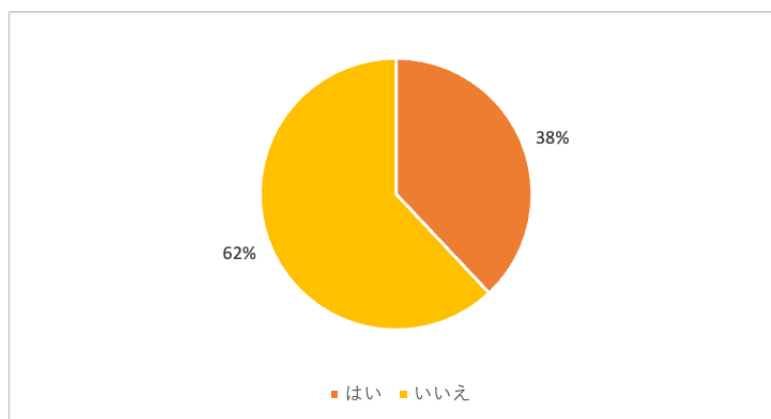
上に述べた問題・課題を解決するために、「あなた」は何をしていますか (n=50)



主要な回答	
経済的に組合を支援する	- 毎週、金銭的な寄付を行う。
他の組合員と共に活動する	- 他の組合員と共に、首長や一部の当局者との連携を図っている。
労働力を提供する	- 農業活動で互いに支え合っている。
個人のビジネスを行う	- 揚げパンを売っている。
組合で団結して解決するよう呼びかける	- 組合内のメンバーへ協力を呼びかけている。
地元当局と連携する	- 地方自治体やチーフダムと連携し、窃盗防止のための規則を制定する。
アイデアを提供する	- 組合に自分が考えたアイデアを提供している。
まだ何もしていない	- 特にまだ何もしていない。
ミーティングを開催する	- 組合のミーティングを開催する。
問題の解決方法を変える	- 問題の解決方法を変える。

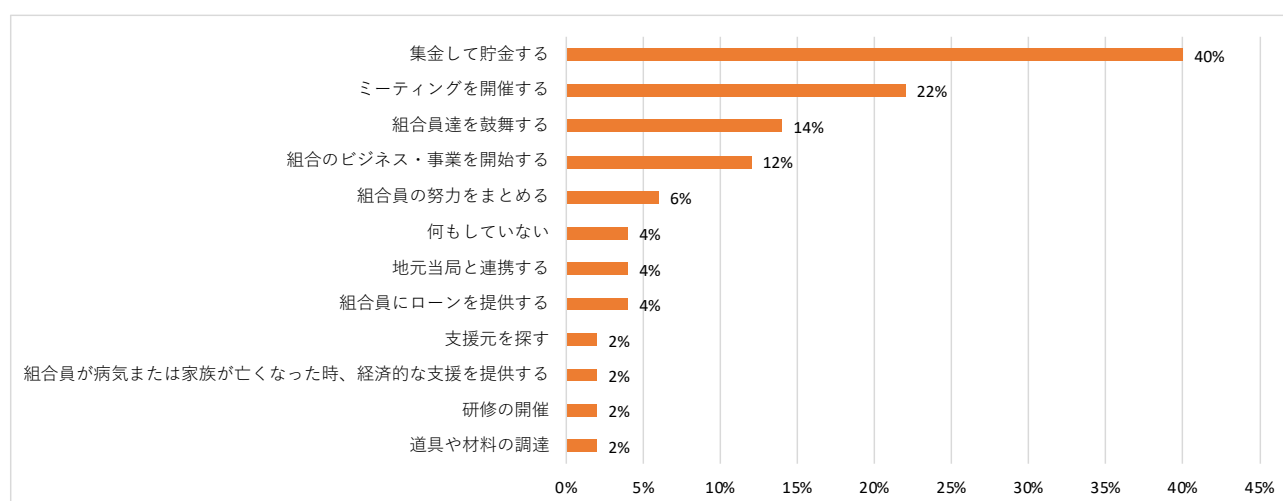
また、これらの個人の努力は十分だと思うかと質問したところ、「はい」は 38%、「いいえ」は 62% の回答であった。多くの回答者がさらなる努力の余地があると感じていることを示唆している。

問題・課題解決のためのあなたの努力は十分だと思いますか（n=50）



次に、上述の問題や課題解決のために組合がどのような取り組みを行っているかについて質問した。得た回答を12の分野に分類したところ、最も多かった回答は「集金して貯金する」で40%だった。次に「ミーティングの開催」が22%、「組合員達を鼓舞する」が14%、「組合のビジネス・事業を開始する」が12%だった。続いて「組合員の努力をまとめる」が6%、「何もしていない」、「地元当局と連携する」、「組合員にローンを提供する」が各4%だった。最も回答率が低かったのは「支援元を探す」、「組合員が病気または家族が亡くなった時、経済的な支援を提供する」、「研修の開催」、「道具や材料の調達」がそれぞれ2%だった。

上に述べた問題・課題を解決するため、「組合」は何をしていますか（n=50）

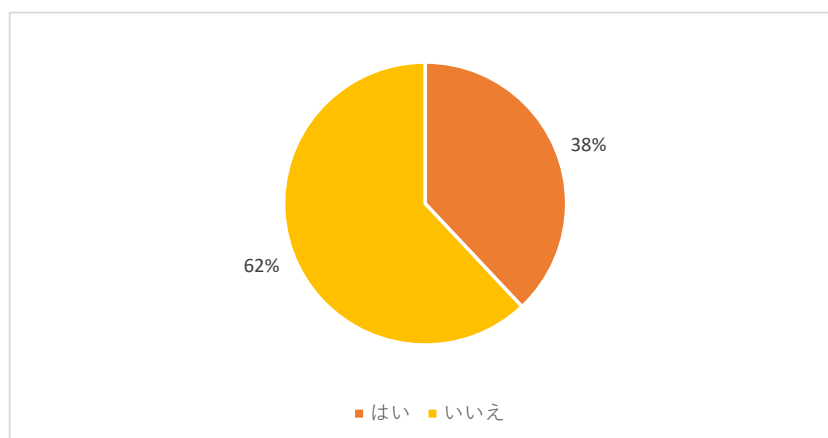


主要な回答	
集金して貯金する	- 作業用具の提供を支援するため、資金を調達する。 - 問題解決のための資金を貯める。 - 財産が損なわれていないか頻繁に確認する。
ミーティングを開催する	- 毎週会議を行い、プログラムを計画、実施する。 - 問題解決策のために議論する。
組合員達を鼓舞する	- プロセスへのコミットメントをメンバーに促す
組合のビジネス・事業を開始する	- 収入を創出するためのプロジェクト（パイナップルと落花生栽培）に取り組む。
組合員の努力をまとめる	- 組合員の取り組みを調整し、大きな進展を図っている。

何もしていない	- 何もしていない。
地元当局と連携する	- 採掘権を取得するために地元当局と交渉する。
組合員にローンを提供する	- 組合員の家族を支援するためにローンを提供する。
支援元を探す	- 技術支援を見つけるために取り組んでいる。
組合員が病気または家族が亡くなった時、経済的な支援を提供する	- 組合員が病気または家族が亡くなった時、経済的な支援を提供する
研修の開催	- 組合の問題解決能力向上のための研修を実施する。
道具や材料の調達	- ドア用南京錠を購入する。

これらの組合の努力は十分だと思うかと質問したところ、「はい」が回答者の 38%、「いいえ」は 62%であった。この回答から、組合の努力にも改善の余地があることが読み取れる。

問題・課題を解決するための組合の努力は十分だと思いますか (n=50)

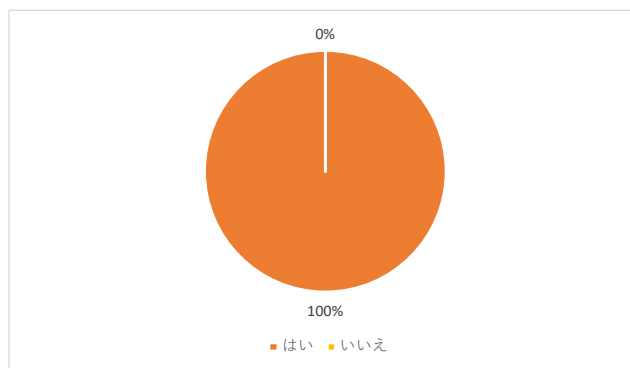


主要な回答	
はい	- 自分のお金を使う時こそ、道具を大切に扱うから。 - 採掘免許を持ち、ダイヤモンドを理解する方法を知っていて、取引の仕方が分かるから。
いいえ	- 問題が非常に多く、解決が困難であるため。 - 資金面で大きく貢献できていないため。

7. DFP プロジェクト

リベリアで実施中のダイヤモンド・フォー・ピース（DFP）プロジェクトの説明後、その実施に興味があるかを尋ねたところ、回答者の 100%が自身の村でも同様のプロジェクトを実施することに興味があると回答した。

この村で DFP のプロジェクトを実施することに興味がありますか (n=50)



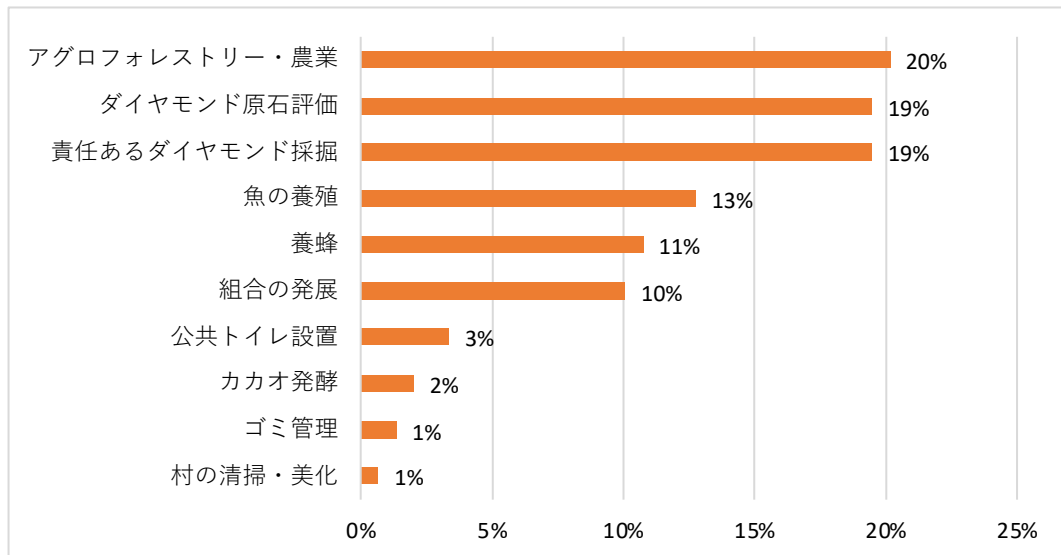
代表的な理由

- DFP のプロジェクトは、ダイヤモンド採掘と農業ビジネスへの理解を深める助けになると信じているから。
- 自分の人生を発展させ、子供たちを支える方法について、より多くのアイデアを得たいから。
- 女性たちが労働から収入を得て、収入源を創出できるようになりたいから。
- 組合に関する基本的なスキルや知識が不足しているから。

上記の質問に「はい」と答えた人々に、最も関心のある優先順位の高い 3 プロジェクトを質問した。最も多かった回答は「アグロフォレストリー・農業」が 20%で、2 番目に多かった回答は「ダイヤモンド原石評価」と「責任あるダイヤモンド採掘」がそれぞれ 19% であった。次に「魚の養殖」が 13%、「養蜂」は 11%、「組合の発展」は 10% だった。「公共トイレ設置」は 3%、「カカオ発酵」は 2%だった。最も回答が少なかったのは「ゴミ管理」と「村の清掃・美化」で、それぞれ 1% だった。

これらの回答から、採掘と農業活動が 2 大関心プロジェクトであることが判明した。

はいの場合、この村で実施したいプロジェクトを最大3つ挙げてください(n=50)



付録3

組合対象グループインタビュー質問票

Group Interview

Team Member Name: _____

1. Basic Information

Name of the Cooperative	
Community Name	
District	Kenema / Kono
Date of the Visit	
Time of the Discussion	

2. About the Cooperative

Month/Year of Establishment	
Name of the Chairperson or Representative	
Other Leaders	Co-Chair: Secretary: Other position (): Other position (): Other position ():
Purpose of the Cooperative	
Operational Areas	☐ Diamond mining ☐ Gold Mining ☐ Agriculture What major crops are they growing? ☐ Others specify:
No of Cooperative Members as of December 2025	

3. Group Interview Questions

Note: Please ask questions based on their answers so that we can understand them better.

3.1 Why did you decide to organize yourselves into a cooperative?

3.2 What is the ultimate goal or dream of this cooperative?

3.3 What is the procedure to get a legal status of the cooperative in Sierra Leone?

3.4 Do you mine diamonds collectively with the cooperative members or individually?

☐ Collectively

☐ Individually (go to Q3.6 after elaborating the answer)

Please elaborate on your answer.

3.5 License

3.5.1 If you answered “collectively” in the last question, does this cooperative have a valid mining license?

☐ Yes

The type of license: _____

No of license this cooperative has: _____

The license is valid until: 1) _____ 2) _____ 3) _____

Where is the mining claim? 1) _____ 2) _____ 3) _____

☐ No --> Reason

3.5.2 Supporter

a) Does this cooperative have a supporter? Yes / No

If yes, please describe the supporter.

(How does s/he support the mining projects? Does this cooperative have to sell its diamonds to the supporter? What other obligations/agreements do you have with the supporter?)

b) If this cooperative has a supporter, do you want to keep depending on supporters?

Yes / No / N.A. (Doesn't have a supporter)

Please give us the reasons for your answer:

3.5.3 Yield of Diamonds

How much diamonds has this cooperative mined/found this year from January 2025 up to today?

a) No of pieces: _____ b) Total carats: _____

c) Total Sales Price: SLL _____ or USD _____

d) Please describe the characteristics of diamonds you've mined/found this year
e.g. average carats, color, clarity, shape

3.5.4 Sales

a) To whom does this cooperative usually sell its diamonds?

☐ The supporter

Does the supporter have the license to buy and sell diamonds? Yes / No / Don't know

☐ Other buyers (specify: _____)

b) Do you negotiate the price of diamonds when you sell the diamonds mined by this cooperative?

☐ Yes

☐ No, we have to accept any price the buyer offers.

☐ No with other reasons:

Please elaborate the reasons for your answer:

3.5.5 Mining Season

When does this cooperative mine diamonds?

☐ All year

☐ Dry season only (around November to April)

☐ Other months (please specify which months: _____)

3.6 If you answered “cooperative members mine diamonds individually” in 3.4

Please skip and go to 3.7 if the cooperative mines collectively.

3.6.1 How many of you are involved in diamond mining? _____

3.6.2 Among those who are involved in diamond mining, how many of you have valid mining license?

3.6.3 How many of you are involved in other mineral mining e.g. gold mining? _____

We'll ask you about more details of the diamonds in the individual interview.

3.7 Knowledge on Responsible Diamond Mining

3.7.1 Please raise your hands if you think you have **some** knowledge on responsible diamond mining.

No of members who raised their hands: _____

3.7.2 Please raise your hands if you think you have **enough** knowledge on responsible diamond mining.

No of members who raised their hands: _____

3.7.3 Please explain what responsible diamond mining is:

(After their answers, DFP explains what responsible diamond mining is.)

3.7.4 How many of you are practicing responsible diamond mining? _____

3.7.5 How many of you want to learn responsible diamond mining? _____

Please explain the reasons you want to learn responsible diamond mining:

3.8 Knowledge in Grading and Valuation of Diamonds

3.8.1 Please raise your hands if you think you have **some** knowledge to grade and value diamonds.

No of members who raised their hands: _____

3.8.2 Please raise your hands if you think you have **enough** knowledge to grade and value diamonds.

No of members who raised their hands: _____

3.8.3 Please explain how you usually grade and value diamonds:

3.8.4 How many of you want to learn how to grade and value diamonds? _____

Please explain the reasons you want to learn grading and valuation:

3.9 Problems / Issues

3.9.1 What do you think are the major problems/issues you are facing as women diamond miners/diggers or a women cooperative in this community? Please elaborate each problem/issue.

3.10 Alleviation of the Problem/Issues

3.10.1 What & When have you done to help solve the problem mentioned earlier as a cooperative?

3.10.2 What positive impacts have you seen as results of these activities/projects?

3.10.3 Who financed the activities/projects you mentioned?

Is there any activity/project that this cooperative has done (or has been doing) **without** the support of outsiders / a NGOs / politicians?

3.11 DFP Projects

DFP explains what DFP has done and has been doing in Liberia and DFP's policy.

3.11.1 Are you interested in having similar projects in this community? Yes / No

Reason:

3.11.2 Which projects are you interested in most? Please prioritize the top 3.

[Options]

Basic Training on Responsible Diamond Mining

Basic Training on Rough Diamond Grading and Valuation

Training on Cooperative Development

Beekeeping

Fish Pond

Agroforestry / Responsible Agriculture

Basic Training on Cacao Fermentation

Building and Maintenance of Public Toilet Facility

Education on Trash Management

Cleaning your Community

First priority:

Reason:

Second priority:

Reason:

Third priority:

Reason:

3.12 Observations

DFP team member writes his/her own observations about this cooperative.

(end)

付録 4

組合員対象個別インタビュー質問票

Individual Interviews

Note: Please encourage the interviewee to provide the honest answers.

1. Basic Info

Date	
Name of the Interviewer (DFP Team Member's Name)	
Name of the Cooperative	
Name of the Interviewee	
Position in the Cooperative	
Gender	Female / Male
Religion	Christian / Muslim / Other (specify:)
Tribe	
Age	
Marital Status	Single / Married / Widowed / Separated
Education Level	Never attended school / Elementary drop out / Elementary completed / High school drop out / High school completed / University or College drop out / University or College completed Other (specify:)
No of Children you have	
The ages of your children	
Are you mining?	Yes / No If yes, what mineral are you mining?:

2. Living Conditions

2.1 Do you often become sick? Yes / No

2.2 When was the last time you became sick? Month_____Year_____
What disease/sickness did you have? _____

2.3 How many times do you usually have meals per day? (Give the average number)

- ☐ Once
☐ Twice
☐ 3 times

2.4 Among the children you have, how many of them live with you? _____

2.5 Among the children you have, how many of them are going to school? _____
Please give the reasons if not all her children of school age are going to school:

2.6 Do you have a phone? Yes / No (Note: DFP doesn't intend to give any phone).

If yes, what type of phone?

- ☐ Basic phone ☐ Smart phone

2.7 Do you or your spouse have any following items? Please tick the items you or your spouse has at home. (Note: DFP doesn't intend to give any items below).

- | | |
|--|------------------------------------|
| ☐ Fridge (Refrigerator) | ☐ Fan |
| ☐ Solar panel | ☐ Generator |
| ☐ Motorbike | ☐ Car |

2.8 Do you have a toilet at home? Yes / No

If no, where do you usually defecate?

2.9 How long does it take you to the closest water pump from your home? _____minutes

2.10 About how much money have you earned this year from January to today?

Note: If you don't remember, rough estimate is okay. You can answer **either** in SLL or USD.

SLL(Leone):_____ or USD_____

3. Your Current Diamond Mining

If the Cooperative answered "members mine diamonds individually" in the group interview, please ask the following questions. If the Cooperative members mine collectively or she doesn't mine diamonds according to the questions in the Basic Info, skip this section and go to Q4.

3.1 Do you have a mining license?

☐ Yes

The type of license: _____

No of license you have: _____

The license is valid until: 1) _____ 2) _____ 3) _____

Where is the mining claim? 1) _____ 2) _____ 3) _____

☐ No What is the reason?

3.2 Supporter

3.2.1 Do you have a supporter? Yes / No

If yes, please describe about the arrangements with your supporter.

(How does s/he support your mining projects? Do you have to sell its diamonds to the supporter? What other obligations/agreements do you have with the supporter?)

3.2.2 If yes in 3.2.1, do you want to keep depending on supporters?

Yes / No / N.A. (Don't have a supporter)

Please give us the reasons for your answer:

3.3 Yield of Diamonds

How much diamonds have you mined/found this year from January 2025 up to today?

3.3.1 No of pieces: _____

3.3.2 Total carats: _____

3.3.3 Total Sales Price: SLL _____ or USD _____

3.3.4 Please describe the characteristics of diamonds you've mined/found this year:

e.g. average carats, color, clarity, shape

3.4 Sales

3.4.1 To whom do you usually sell your diamonds?

☐ The supporter

Does your supporter have the license to buy and sell diamonds? Yes / No / Don't know

☐ Other buyers (specify her major buyers: _____)

3.4.2 Do you negotiate the price of diamonds when you sell your diamonds?

☐ Yes

☐ No, I have to accept any price the buyer offers.

☐ No with other reasons:

Please elaborate the reasons for your answer:

3.5 Mining Season

When do you mine diamonds?

- ☐ All year
- ☐ Dry season only (around November to April)
- ☐ Other months (please specify which months: _____)

3.6 Knowledge

3.6.1 Why are diamonds valuable?

- ☐ Because they are used to fly airplanes ☐ Because they are used for industrial tools/machines
- ☐ Because they are used for jewelry ☐ Because they are used for magical purposes
- ☐ I don't know ☐ Other reason (specify: _____)

3.6.2 How are diamonds created?

- ☐ A devil has created them and put them in the soil
- ☐ An angel has created them and put them in the soil
- ☐ Carbon was heated and pressured deep down in the earth
- ☐ I don't know
- ☐ Other reason (specify: _____)

3.6.3 Diamonds have water inside?

- ☐ Yes
- ☐ No
- ☐ I don't know

3.6.4 Do colored diamonds (red, blue diamonds etc.) have high value?

- ☐ No, colored diamonds don't have much value.
- ☐ Yes, colored diamonds have high value if the color is strong.
- ☐ I don't know.
- ☐ Other (specify: _____)

4. Cooperative Activities

4.1 When did you join this cooperative?

Month: _____ Year: _____

4.2 Why did you join this cooperative?

4.3 What is your dream or a big goal if you don't have any restrictions?

4.4 Are you happy that you've joined this cooperative? Yes / No

Please elaborate the reasons:

4.5 Among activities this cooperative has, which activities are you involved heavily with what role?

Activity 1:

Your role:

Activity 2:

Your role:

Activity 3:

Your role:

5. Problems / Issues

Among the problems/issues we discussed in the group interview, what problems/issues do you think need to be addressed **urgently**? Please raise **3 maximum**.

5.1 The biggest problem/issue:

Why?

5.2 The second biggest problem/issue:

Why?

5.3 The third biggest problem/issue:

Why?

6. Alleviation of the Problems / Issues

6.1 What initiatives are **you** taking **personally** to help solve the problems/issues you mentioned in the previous section?

6.2 Do you think the level of **your personal efforts** is good enough to help solve the problems /issues?

Yes / No

Please explain the reasons for your answer:

6.3 What initiatives has **this cooperative** taken to help solve the problems/issues you mentioned?

6.4 Do you think the level of **this cooperative's efforts** is good enough to help solve the problems /issues? Yes / No

Please explain the reasons for your answer:

7. DFP Projects

7.1 Are you interested in having DFP project in this community? Yes / No

Why?

7.2 If yes, among the activities/projects DFP has implemented in Liberia, which ones are you interested in the most? Please tick **3 projects maximum** you'd like to have in this community.

(If no in 7.1, skip this question).

- ☐ Basic Training on Responsible Diamond Mining
- ☐ Basic Training on Rough Diamond Grading and Valuation
- ☐ Training on Cooperative Development
- ☐ Beekeeping
- ☐ Fish Pond
- ☐ Agroforestry / Responsible Agriculture
- ☐ Basic Training on Cacao Fermentation
- ☐ Building and Maintenance of Public Toilet Facility
- ☐ Education on Trash Management
- ☐ Cleaning your Community

7.3 If you have any idea on other projects not mentioned in 7.2 but this cooperative or this community needs urgently, please tell me your idea of a project. e.g. Having water pumps

8. Observation

The Interviewer writes his/her own observation about the interviewee.